

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|------------|--|------------------------|-------------------------|---------------------------------|--|------------|---|-------------------------|
| | | | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 福岡県バス対策協議会 | 堀川バス(株) 昭和自動車(株) 西鉄バス佐賀(株) 西鉄バス佐賀(株)・西鉄バス久留米(株) 西鉄バス久留米(株) 西鉄バス筑豊(株) 西鉄バス宗像(株) 西鉄バス大牟田(株) 西鉄バス北九州(株) 西鉄バス二日市(株) JR九州バス(株) (株)甘木観光バス | 51系統 ※詳細は別添一次評価のとおり | 別添一次評価のとおり | A評価：36系統 B評価：15系統 C評価：0系統 | 【参考：前年度】 A評価：13系統 B評価：26系統 C評価：11系統 | 別添一次評価のとおり | <p>コロナの影響が残る中、また人手不足の影響が大きくなる中においても、企画乗車券の販売、イベントとのタイアップ、バスの乗り方教室の開催、時刻表や沿線情報チラシの配布を行う等利用促進に取り組まれていること、路線やダイヤの再編・見直しを行い利便性の向上、観光需要の取り込み、運行の効率化に取り組まれていることを評価します。</p> <p>目標達成に向けた今回の取組みについては、具体的な取組みの結果やその効果に加え、工夫した内容などについても記録されると、より効果的な改善につながるものと思慮されます。</p> <p>目標を達成できた系統と達成できていない系統がありますが、それぞれの要因について分析し、評価書に記録することは重要です。多くの系統において人口減少やコロナ・燃料高騰の影響を受けていますが、地域の実情を考慮のうえ、その他に原因がないかどうかについても分析し、その他要因への改善点を検討いただくと、より効果的な改善につながることを期待されます。</p> <p>さらに、目標を達成できた系統、要因の分析や取組みの改善が良くできている系統については、他系統においても参考・活用されることを期待します。</p> <p>今後は、アフターコロナを見据えた目標設定や評価指標の見直しも検討いただきながら、県と市町村が連携を図り事業者や住民と共に地域の生活交通の実情のニーズを的確に把握しつつ、地域の特性・実情に最適な交通手段が確保・維持されることを期待します。</p> | 評価指標 【収支率】 【輸送人員】 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月31日

協議会名: 福岡県バス対策協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|------------------|--|--------------------|---|--|
| 堀川バス株式会社 | 羽犬塚～ゆめタウン前～福島～黒木 | 「通学定期券補助事業」や交通系ICカード購入及び利用を学校や家庭へ呼びかけ、チラシの配布を実施した。沿線学校へ訪問し、通学利用者、小中高生の休日の利用呼びかけや、チラシ配布を実施した。イベント時にバスの体験乗車会を実施し、バス利用の呼びかけを行った。筑後船小屋駅で利用促進の周知のチラシやノベルティの配布を行った。公共交通マップを作成し、利用周知を図った。 | A 計画通り適切に実施された。 | A 【目標】収支率30.1% 輸送人員64,425人 【実績】収支率35.6% 輸送人員80,477人 コロナ禍後により、利用者が一部回復し収支率及び輸送人員の目標を達成した。 | 引き続き、「通学定期券補助事業」、交通系ICカードの導入や割引サービス等HPやチラシ配布等での周知を図り、利用促進の呼びかけを行う。乗合タクシーとの接続を図り利便性を高め、利用促進の呼びかけを行う。バス体験乗車会を実施し、バス利用の呼びかけを行う。 |
| 堀川バス株式会社 | 羽犬塚～蒲原～黒木～柴庵 | 「通学定期券補助事業」や交通系ICカード購入及び利用を学校や家庭へ呼びかけ、チラシの配布を実施した。沿線学校へ訪問し、通学利用者、小中高生の休日の利用呼びかけや、チラシ配布を実施した。イベント時にバスの体験乗車会を実施し、バス利用の呼びかけを行った。筑後船小屋駅で利用促進の周知のチラシやノベルティの配布を行った。公共交通マップを作成し、利用周知を図った。 | A 計画通り適切に実施された。 | B 【目標】収支率37.9% 輸送人員69,353人 【実績】収支率35.0% 輸送人員73,765人 コロナ禍後により、利用者の一部回復の動きもあり、輸送人員の目標は達成できたが、収支率は物価高騰等による経費の増加により、目標を達成できなかった。 | 引き続き、「通学定期券補助事業」、交通系ICカードの導入や割引サービス等HPやチラシ配布等での周知を図り、利用促進の呼びかけを行う。乗合タクシーとの接続を図り利便性を高め、利用促進の呼びかけを行う。バス体験乗車会を実施し、バス利用の呼びかけを行う。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|--------------------|--|--------------------|--|--|
| 堀川バス株式会社 | 福島～釜水・西鉄久留米～久留米駅 | 路線バスの情報チラシ(時刻表等)を作成し、沿線住民に対して配布し利用促進を行った。路線情報を掲載した公共交通マップを配布し、交通系ICカードの購入や利用の呼びかけを行った。 | A 計画通り適切に実施された。 | A 【目標】収支率55.6% 輸送人員48,892人 【実績】収支率55.8% 輸送人員52,944人 コロナ禍後により、利用者が一部回復し収支率及び輸送人員の目標を達成した。 | 引き続き、交通系ICカードの導入や割引サービス等HPやチラシ配布等での周知を図り、利用促進の呼びかけを行う。 |
| 堀川バス株式会社 | 福島～田ノ原～十笥車庫前 | 「通学定期券補助事業」やICカード購入及び利用を学校や家庭へ呼びかけ、チラシの配布を実施した。沿線学校へ訪問し、通学利用者、小中高生の休日の利用呼びかけや、チラシ配布を実施した。イベント時にバスの体験乗車会を実施し、バス利用の呼びかけを行った。 | A 計画通り適切に実施された。 | B 【目標】収支率37.0% 輸送人員57,916人 【実績】収支率32.8% 輸送人員53,986人 コロナ禍後により、利用者の一部回復の動きもあったが収支率及び輸送人員の目標を達成できなかった。 | 引き続き、「通学定期券補助事業」、交通系ICカードの導入や割引サービス等HPやチラシ配布等での周知を図り、利用促進の呼びかけを行う。乗合タクシーとの接続を図り利便性を高め、利用促進の呼びかけを行う。バス体験乗車会を実施し、バス利用の呼びかけを行う。 |
| 堀川バス株式会社 | 瀬高駅前～西鉄柳川～亀の井ホテル柳川 | 柳川市及びみやま市のコミュニティバスに接続する幹線バスの周知を行った。市報やチラシ配布等でバス事業者が行う免許返納等の取組について紹介し、バス利用の呼びかけを実施した。沿線学校や沿線住民に対し交通系ICカードの購入や利用の呼びかけを実施した。 | A 計画通り適切に実施された。 | A 【目標】収支率41.0% 輸送人員92,03人 【実績】収支率44.7% 輸送人員115,592人 コロナ禍後により、利用者が一部回復し収支率及び輸送人員の目標を達成した。 | 引き続き、交通系ICカードの導入や割引サービス等HPやチラシ配布等での周知を図る。無料バスを実施しバス利用の機会を設けて利用促進の呼びかけを行う。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|--------------------------------|---|----------------------|--|--|
| 昭和自動車(株) | 前原～前原駅前・加布里～芥屋の運行 R5 車両購入なし | 福岡～糸島線の往復チケットと糸島半島の一般路線が乗り放題になるデジタルチケットをマルチモーダルモビリティアプリ「マイルート」にて販売し利用促進に努めた他、福岡地区で弊社公式LINEアカウントを立ち上げ、ダイヤ改正情報やバスロケーションシステム、運行情報の提供を行い利便性の向上を図った。 | A 概ね計画通り事業は適切に実施された。 | A 【目標】収支率28.6% 輸送人員44,964人 【実績】収支率37.7% (昨年度比+7.6%) 輸送人員63,715人 利用人員は昨年度と比較して13,091人の利用増となった。 昨年度と比較し人件費や燃料費が増加したものの、輸送人員が増加したことにより目標収支率を達成することができた。 | 新型コロナウイルス感染症の影響が緩和された後も、ライフスタイルや行動の変化によりコロナ前の水準に戻ることは考えにくく、沿線地域とともに交通計画に基づいた路線の適正化を図っていく。 また、当該地域はオンデマンド交通「チョイソコよかまちみらい号」を展開しており利用が好調であるため、オンデマンド交通を含めた路線の再構築を協議していく。 |
| 昭和自動車(株) | 前原～師吉公民館前・初～船越の運行 R5 車両購入なし | 福岡～糸島線の往復チケットと糸島半島の一般路線が乗り放題になるデジタルチケットをマルチモーダルモビリティアプリ「マイルート」にて販売し利用促進に努めた他、福岡地区で弊社公式LINEアカウントを立ち上げ、ダイヤ改正情報やバスロケーションシステム、運行情報の提供を行い利便性の向上を図った。 | A 概ね計画通り事業は適切に実施された。 | B 【目標】収支率21.0% 輸送人員25,366人 【実績】収支率20.5% (昨年度比+2.7%) 輸送人員29,650人 利用人員は昨年度と比較して2,983人の利用増となった。 他の系統と同様、昨年度と比較し運送収入が増加したものの人件費や燃料費の増大に伴う経費増を上回ることはできなかった。 | 新型コロナウイルス感染症の影響が緩和された後も、ライフスタイルや行動の変化によりコロナ前の水準に戻ることは考えにくく、沿線地域とともに交通計画に基づいた路線の適正化を図っていく。 また、当該地域はオンデマンド交通「チョイソコよかまちみらい号」を展開しており利用が好調であるため、オンデマンド交通を含めた路線の再構築を協議していく。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|------------------------------------|---|-------------------------|---|--|
| 昭和自動車(株) | 前原～師吉公民館前・野北～伊都営業所の運行 R5 車両購入なし | 福岡～糸島線の往復チケットと糸島半島の一般路線が乗り放題になるデジタルチケットをマルチモーダルモビリティアプリ「マイルート」にて販売し利用促進に努めた他、福岡地区で弊社公式LINEアカウントを立ち上げ、ダイヤ改正情報やバスロケーションシステム、運行情報の提供を行い利便性の向上を図った。 | A 概ね計画通り事業は適切に実施された。 | A 【目標】収支率16.1% 輸送人員21,119人 【実績】収支率19.9% (昨年度比+2.2%) 輸送人員27,459人 利用人員は昨年度と比較して4,087人の利用増となった。 昨年度と比較し人件費や燃料費が増加したものの、輸送人員が回復し運送収入が増加したことにより目標収支率を達成することができた。 | 新型コロナウイルス感染症の影響が緩和された後も、ライフスタイルや行動の変化によりコロナ前の水準に戻ることは考えにくく、沿線地域とともに交通計画に基づいた路線の適正化を図っていく。 また、当該地域はオンデマンド交通「チョイソコよかまちみらい号」を展開しており利用が好調であるため、オンデマンド交通を含めた路線の再構築を協議していく。 |
| 昭和自動車(株) | 前原駅北口～波多江～九大東ゲートの運行 | 福岡～糸島線の往復チケットと糸島半島の一般路線が乗り放題になるデジタルチケットをマルチモーダルモビリティアプリ「マイルート」にて販売し利用促進に努めた他、福岡地区で弊社公式LINEアカウントを立ち上げ、ダイヤ改正情報やバスロケーションシステム、運行情報の提供を行い利便性の向上を図った。 | A 概ね計画通り事業は適切に実施された。 | A 【目標】収支率38.7% 輸送人員47,635人 【実績】収支率46.1% (昨年度比+7.7%) 輸送人員65,377人 利用人員は昨年度と比較して12,035人の利用増となった。 昨年度と比較し人件費や燃料費が増加したものの、輸送人員が回復し運送収入が増加したことにより目標収支率を達成することができた。 | 新型コロナウイルス感染症の影響が緩和された後も、ライフスタイルや行動の変化によりコロナ前の水準に戻ることは考えにくく、沿線地域とともに交通計画に基づいた路線の適正化を図っていく。 また、当該地域はオンデマンド交通「チョイソコよかまちみらい号」を展開しており利用が好調であるため、オンデマンド交通を含めた路線の再構築を協議していく。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|---------------------|---|--|--|--|
| 昭和自動車(株) | 周船寺小学校～高田～九大東ゲートの運行 | 福岡～糸島線の往復チケットと糸島半島の一般路線が乗り放題になるデジタルチケットをマルチモーダルモビリティアプリ「マイルート」にて販売し利用促進に努めた他、福岡地区で弊社公式LINEアカウントを立ち上げ、ダイヤ改正情報やバスロケーションシステム、運行情報の提供を行い利便性の向上を図った。 | A 概ね計画通り事業は適切に実施された。 | B 【目標】収支率50.9% 輸送人員41,502人 【実績】収支率49.9% (昨年度比+7.6%) 輸送人員70,479人 利用人員は昨年度と比較して16,800人の利用増となった。 他の系統と同様、昨年度と比較し運送収入が増加したものの人件費や燃料費の増大に伴う経費増を上回ることはできなかった。 | 新型コロナウイルス感染症の影響が緩和された後も、ライフスタイルや行動の変化によりコロナ前の水準に戻ることは考えにくく、沿線地域とともに交通計画に基づいた路線の適正化を図っていく。 また、当該地域はオンデマンド交通「チョイソコよかまちみらい号」を展開しており利用が好調であるため、オンデマンド交通を含めた路線の再構築を協議していく。 |
| 西鉄バス佐賀(株) | JR久留米～久留米警察署～西鉄鳥栖 | ◇実施できたこと ・路線バス車内にイベントチラシの吊り下げ、公共交通マップの配布 ・利用促進イベント(こども50円バス)の実施、令和4年11月久留米市内においてイベント実施、令和5年2月九州旅客鉄道(株)と連携し、イベント実施。 ・バスの乗り方教室の実施 令和4年10月11日 鳥栖市立基里小学校にてバスの乗り方教室を実施。 ◇実施できなかったこと 沿線住民へのポスティング | B 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった 屋外イベント実施・PRに注力し、沿線住民へのポスティングの実施は見送った。 | A 【目標】(令和3年度実績) ・収支率62.7% ・輸送人員131,952人 【実績】(対:令和3年度実績) 収支率69.96%(+8.26%) 輸送人員197,332人 (+65,380人) | 令和6補助年度福岡県MaaSの取り組みに参加。令和5年12月15日より、自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「久留米GoGo!きつぷ」の発売を開始。発売にあたり、各関係者からのリリース・チラシの掲出等PRを行った。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|-----------------------|---|---|---|---|
| 西鉄バス佐賀(株) | 鳥栖駅～綾部・国立東佐賀病院前～西鉄久留米 | <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス車内にイベントチラシの吊り下げ、公共交通マップの配布 ・利用促進イベント(こども50円バス)の実施、令和4年11月久留米市内においてイベント実施、令和5年2月九州旅客鉄道(株)と連携し、イベント実施。 ・バスの乗り方教室の実施 令和4年10月11日 鳥栖市立基里小学校にてバスの乗り方教室を実施。 <p>◇実施できなかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿線住民へのポスティング | <p>B</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった</p> <p>屋外イベント実施・PRに注力し、沿線住民へのポスティングの実施は見送った。</p> | <p>A</p> <p>【目標】(令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率41.5% ・輸送人員70,235人 <p>【実績】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 収支率43.63%(+3.13%) 輸送人員106,018人(+35,783人) | <p>令和6補助年度福岡県MaaSの取り組みに参加。令和5年12月15日より、自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「久留米GoGo!きっぷ」の発売を開始。発売にあたり、各関係者からのリリース・チラシの掲出等PRを行った。</p> |
| 西鉄バス佐賀(株) | 佐賀第二合同庁舎～寄人橋～西鉄久留米 | <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス車内にイベントチラシの吊り下げ、公共交通マップの配布 ・利用促進イベント(こども50円バス)の実施、令和4年11月久留米市内においてイベント実施、令和5年2月九州旅客鉄道(株)と連携し、イベント実施。 令和5年1月～2月の毎週水曜日および日曜日を対象に、佐賀県内のバス停で降車する場合に限り、バス運賃が無料になる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施。 <p>◇実施できなかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿線住民へのポスティング | <p>B</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった</p> <p>屋外イベント実施・PRに注力し、沿線住民へのポスティングの実施は見送った。</p> | <p>A</p> <p>【目標】(令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率52.4% ・輸送人員117,134人 <p>【実績】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 収支率58.72%(+7.32%) 輸送人員187,134人(+70,000人) | <p>令和6補助年度福岡県MaaSの取り組みに参加。令和5年12月15日より、自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「久留米GoGo!きっぷ」の発売を開始。発売にあたり、各関係者からのリリース・チラシの掲出等PRを行った。</p> <p>その他の特記事項として、令和5年10月に改善基準見直し対応のダイヤ改正を実施。</p> |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-------------------------|------------------------|--|--|---|---|
| 西鉄バス佐賀(株) 西鉄バス久留米(株) | 佐賀第二合同庁舎～目達原～ 西鉄久留米 | <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス車内にイベントチラシの吊り下げ、公共交通マップの配布 ・利用促進イベント(こども50円バス)の実施、令和4年11月久留米市内においてイベント実施、令和5年2月九州旅客鉄道(株)と連携し、イベント実施。令和5年1月～2月の毎週水曜日および日曜日を対象に、佐賀県内のバス停で降車する場合に限り、バス運賃が無料になる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施。 <p>◇実施できなかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿線住民へのポスティング | B 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった 屋外イベント実施・PRに注力し、沿線住民へのポスティングの実施は見送った。 | A 【目標】(令和3年度実績) ・収支率60.4%から収支改善1.0%以上 ・輸送人員132,994人 【実績】(対:令和3年度実績) 収支率66.59%(+7.19%) 輸送人員245,153人(+112,159人) | 令和6補助年度福岡県MaaSの取り組みに参加。令和5年12月15日より、自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「久留米GoGo!きっぷ」の発売を開始。発売にあたり、各関係者からのリリース・チラシの掲出等PRを行った。その他の特記事項として、令和6年3月に改善基準見直し対応のダイヤ改正を実施予定。 |
| 西鉄バス久留米(株) | 早津江～布橋～西鉄柳川 | <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通マップの配布 ・利用促進イベント(こども50円バス)の実施 ・バス車内での近隣イベント情報の吊り下げ <p>◇実施できなかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組計画を予定していた市内商業施設でのチラシの配布ができなかった。 | B 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった 屋外イベント実施・PRに注力し、商業施設での利用促進PRは見送った。 | A 【目標】(対:令和3年度実績) ・収支率29.3% ・輸送人員40,241人 【実績】(対:令和3年度実績) 収支率39.31%(+11.00%) 輸送人員73,971人(+33,730人) | 令和6補助年度にて、福岡県MaaSの取り組みに参加。有明エリア(大牟田・柳川・みやま)の自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券を造成予定。今後PRを行い、利用促進を図る。その他の特記事項として、令和5年10月に改善基準見直し対応のダイヤ改正を実施。減便はないものの、約30分最終バスを繰り上げし、乗務員労務時間の改善を行った。そのため、令和6補助年度においては、今年度と比較し輸送人員が減少することが考えられる。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|------------|---------------------------|--|--|---|---|
| 西鉄バス久留米(株) | 大野島農協前～堤・水田天満宮 恋木神社～羽犬塚駅前 | <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係自治体の筑後市において、「筑後市公共交通マップ」が作成され、窓口での配布ができた。 令和4年12月に筑後市公共交通キャンペーンに参加し、筑後船小屋駅においてPRを行った バスの運賃表示機を活用し、恋の木神社へのアクセスPRを継続して行った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | <p>【目標】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 収支率25.3% 輸送人員30,693人 <p>【実績】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 収支率24.16%(△0.16%) 輸送人員40,343人(+9,650人) <p>輸送人員が増加し収入が増加したものの、それ以上に運行経費が増加したため、収支率は目標を下回った。</p> | 大木町・大川市でのPR等が行えていないため、今後は2市町とも利用促進の連携を行いたい。また、JR線とバスの接続が一部できていないとの利用者からの意見があるため、ダイヤの見直しを検討したい。 |
| 西鉄バス久留米(株) | 大川橋～下林・大善寺～JR久留米 | <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 路線バス車内にイベントチラシの吊り下げ、公共交通マップの配布 利用促進イベント(こども50円バス)の実施、令和4年11月久留米市内においてイベント実施、令和5年2月九州旅客鉄道(株)と連携し、イベント実施。 バスの乗り方教室の実施 令和5年5月長門石地区 高齢者向けバス乗り方説明会 <p>◇実施できなかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内商業施設での利用促進PR | B 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。 屋外イベント実施・PRに注力し、商業施設での利用促進PRは見送った。 | <p>【目標】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 収支率38.4% 輸送人員79,524人 <p>【実績】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 収支率40.14%(+2.76%) 輸送人員122,164人(+42,640人) | <p>令和6補助年度福岡県MaaSの取り組みに参加。令和5年12月15日より、自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「久留米GoGo!きっぷ」の発売を開始。発売にあたり、各関係者からのリリース・チラシの掲出等PRを行った。</p> <p>その他の特記事項として、令和5年10月に改善基準見直し対応のダイヤ改正を実施。1往復の減便を行い、乗務員労務時間の改善を行った。そのため、令和6補助年度においては、今年度と比較し輸送人員が減少することが考えられる。</p> |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|------------|----------------|---|---|---|--|
| 西鉄バス久留米(株) | 今村天主堂～北野～西鉄久留米 | <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通マップの配布 ・利用促進イベント(こども50円バス)の実施 <p>◇実施できなかったこと</p> <p>今村天主堂乗入のPRが長期間の改修工事を行っているため、できなかった。</p> | <p>B</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。</p> <p>今村天主堂が長期の耐震強化補修工事のため、内部見学は中止されており、PRができなかった。</p> | <p>A</p> <p>【目標】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率47.6% ・輸送人員43,552人 <p>【実績】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 収支率51.50%(+4.92%) 輸送人員65,693人(+22,141人) | <p>令和6補助年度福岡県MaaSの取り組みに参加。令和5年12月15日より、自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「久留米GoGo!きっぷ」の発売を開始。発売にあたり、各関係者からのリリース・チラシの掲出等PRを行った。</p> <p>その他の特記事項として、今村天主堂の改修工事が工事期間は2021年より8年～10年を予定されている。</p> |
| 西鉄バス久留米(株) | 上原～草野駅前～JR久留米 | <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス車内にイベントチラシの吊り下げ、公共交通マップの配布 ・利用促進イベント(こども50円バス)の実施、令和4年11月久留米市内においてイベント実施、令和5年2月九州旅客鉄道(株)と連携し、イベント実施。 ・バスの乗車体験会の実施 令和5年5月道の駅ぐるめ乗務員募集チラシを配布 | <p>A</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおりに、適切に実施された</p> | <p>B</p> <p>【目標】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率71.3% ・輸送人員85,266人 <p>【実績】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 収支率70.07%(△0.27%) 輸送人員126,366人(+41,100人) <p>輸送人員が増加したため、収入も増加したものの、運行経費増加により、収支率は目標を下回った。</p> | <p>令和5年7月大雨の影響により、迂回運行を行い、竹野小学校前バス停通過、5分の遅延が発生した。</p> <p>令和5年11月24日より通常運行再開。</p> <p>運行営業所の吉井支社エリアにおいては、特に乗務員の採用が集まらない状況にある。今後の路線維持のためにも採用活動・PRに力を入れていきたい。</p> |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|------------|--------------------|--|---|---|--|
| 西鉄バス久留米(株) | JR久留米～久留米市役所～羽犬塚駅前 | <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係自治体の筑後市において、「筑後市公共交通マップ」が作成され、窓口での配布ができた。 令和4年11月久留米市内においてイベント実施、令和5年2月九州旅客鉄道(株)と連携し、イベント実施。 <p>◇実施できなかったこと</p> <p>福岡教育大付属久留米小学校へのバス利用の呼びかけを継続的に行い、利用者の増を図る。</p> <p>◇その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿線学校でのバスの乗り方教室の実施令和5年10月筑後市水洗小学校(R6補助年度) | <p>B</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。</p> <p>乗務員が不足しており、学校に直接バスを持って行つての出前授業ができなかった。</p> | <p>A</p> <p>【目標】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 収支率55.2% 輸送人員43,554人 <p>【実績】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 収支率59.67%(+5.47%) 輸送人員60,502人(+16,948人) | <p>令和6補助年度福岡県MaaSの取り組みに参加。令和5年12月15日より、自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「久留米GoGo!きっぷ」の発売を開始。発売にあたり、各関係者からのリリース・チラシの掲出等PRを行った。</p> <p>その他の特記事項として、令和5年10月に関係自治体の筑後市とバス営業所内でのバス教室を実施した。乗務員不足により出前授業は近年難しくなっているため、モデルケースの1つとして引き続き利用促進に取り組みたい。</p> |
| 西鉄バス久留米(株) | 上原～草野駅前～西鉄久留米 | <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 路線バス車内にイベントチラシの吊り下げ、公共交通マップの配布 利用促進イベント(こども50円バス)の実施、令和4年11月久留米市内においてイベント実施、令和5年2月九州旅客鉄道(株)と連携し、イベント実施。 バスの乗車体験会の実施令和5年5月道の駅くるめ乗務員募集チラシを配布 | <p>A</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおりに、適切に実施された</p> | <p>A</p> <p>【目標】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 収支率39.4% 輸送人員39,382人 <p>【実績】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 収支率41.11%(+2.76%) 輸送人員64,968人(+25,586人) | <p>令和5年7月大雨の影響により、迂回運行を行い、竹野小学校前バス停通過、5分の遅延が発生した。</p> <p>令和5年11月24日より通常運行再開。</p> <p>運行営業所の吉井支社エリアにおいては、特に乗務員の採用が集まらない状況にある。今後の路線維持のためにも採用活動・PRに力を入れていきたい。</p> |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|------------|-------------------|--|--|---|--|
| 西鉄バス久留米(株) | 筑後船小屋～筑後市役所～JR久留米 | <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係自治体の筑後市において、「筑後市公共交通マップ」が作成され、窓口での配布ができた。 令和4年11月久留米市内においてイベント実施、令和5年2月九州旅客鉄道(株)と連携し、イベント実施。 <p>◇実施できなかったこと</p> <p>福岡教育大付属久留米小学校へのバス利用の呼びかけを継続的に行い、利用者の増を図る。</p> <p>◇その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿線学校でのバスの乗り方教室の実施令和5年10月筑後市水洗小学校(R6補助年度) | <p>事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。</p> <p>B 乗務員が不足しており、学校に直接バスを持って行つての出前授業ができなかった。</p> | <p>A</p> <p>【目標】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 収支率71.4% 輸送人員98,843人 <p>【実績】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 収支率78.51%(+8.16%) 輸送人員170,667人(+71,824人) | <p>令和6補助年度福岡県MaaSの取り組みに参加。令和5年12月15日より、自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券「久留米GoGo!きっぷ」の発売を開始。発売にあたり、各関係者からのリリース・チラシの掲出等PRを行った。</p> <p>その他の特記事項として、令和5年10月に関係自治体の筑後市とバス営業所内でのバス教室を実施した。乗務員不足により出前授業は近年難しくなっているため、モデルケースの1つとして引き続き利用促進に取り組みたい。</p> |
| 西鉄バス筑豊(株) | 飯塚～小竹上町～赤池工業団地 | <p>①公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図る。</p> <p>②近隣の伏原地区の住民(200人)に対して利用を呼びかけ、バス利用者の増を図る。</p> <p>③こども50円バスを定期的の実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる。</p> | <p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p> | <p>B</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 収支率 54.8% 輸送人員 84,298人 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 収支率 44.58%(▲9.22%) 輸送人員 89,535人(+5,237人) <p>輸送人員の増に伴い収入も増加しているが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。</p> | <p>利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。</p> |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|------------------|--|---------------------------------|---|---|
| 西鉄バス筑豊(株) | 直方～五反田・鞍手車庫～遠賀川駅 | <p>①沿線学校や企業への通勤・通学、病院への通院利用者に対して利用の呼びかけを行うことで、利用者の増を図る。</p> <p>②地域住民との意見交換や各種イベントなどで公共交通利用への意識醸成を図る。</p> <p>③出前講座における路線バスのPR</p> <p>④こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる。</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | C <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 40.4% ・輸送人員 74,433人 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 28.43%(▲10.97%) ・輸送人員 83,603人(+9,170人) <p>輸送人員の増に伴い収入も増加しているが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。</p> | 利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。 |
| 西鉄バス筑豊(株) | 遠賀川駅～新入～直方 | <p>①沿線学校や企業への通勤・通学、病院への通院利用者に対して利用の呼びかけを行うことで、利用者の増を図る。</p> <p>②地域住民との意見交換や各種イベントなどで公共交通利用への意識醸成を図る。</p> <p>③出前講座における路線バスのPR</p> <p>④こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる。</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 32.6% ・輸送人員 42,071人 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 22.95%(▲8.65%) ・輸送人員 41,603人(▲468人) <p>輸送人員は回復傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症の影響前2019年度と比べると戻り切っていない。人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。</p> | 利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|----------------------|--|---------------------------------|--|---|
| 西鉄バス筑豊(株) | 西鉄後藤寺～夏吉・金田駅～西鉄後藤寺 | <p>①社会保険田川病院の利用者や田川後藤寺駅周辺、バス営業所、当該路線沿線の施設、団地等での利用促進チラシの配布、バス車内の利用促進の広報などを行うことで、利用者の増を図る。</p> <p>②イベント等での利用の呼びかけを行うことで、利用者の増を目指す。</p> <p>③市広報紙等での利用啓発に向けたPR</p> <p>④こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる。</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 24.1% ・輸送人員 27,456人 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 18.93%(▲4.17%) ・輸送人員 30,254人(+2,798人) <p>輸送人員の増に伴い収入も増加しているが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。 なお、当路線は乗務員不足対策として2023年10月1日に路線廃止を実施。</p> | 利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。 |
| 西鉄バス筑豊(株) | 真岡～西鉄後藤寺・メルクス～金田平原団地 | <p>①社会保険田川病院の利用者や田川後藤寺駅周辺、バス営業所、当該路線沿線の施設、団地等での利用促進チラシの配布、バス車内の利用促進の広報などを行うことで、利用者の増を図る。</p> <p>②イベント等での利用の呼びかけを行うことで、利用者の増を目指す。</p> <p>③市広報紙等での利用啓発に向けたPR</p> <p>④こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる。</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 28.1% ・輸送人員 36,520人以上 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 21.23%(▲5.87%) ・輸送人員 36,863人(+343人) <p>輸送人員の増に伴い収入も増加しているが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。 なお、当路線は乗務員不足対策として2023年10月1日に路線廃止を実施。</p> | 利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|------------|---|---------------------------------|--|---|
| 西鉄バス筑豊(株) | 西鉄大隈～漆生～飯塚 | <p>①観光施設・沿線商店街等へのバス時刻表等の配架および市内各種イベントにおいてノベルティ等の配架を行うことで、バス利用を呼びかける。また、公共施設内でのポスター掲示やバス利用を呼び掛けるチラシの配架を行うとともに、地域住民に対して公共交通機関の利用促進を呼びかけるチラシを全戸配布する。</p> <p>②公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図る。</p> <p>③沿線の高校等(飯塚高校等)の生徒に対し、バス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図る。</p> <p>④市バスとの乗り継ぎを強化、沿線住民の方々への利用促進の呼びかけを行う。</p> <p>⑤普通第二種運転免許取得にかかる費用の一部補助及び、乗務員募集の広報を行い、乗務員不足の解消を図る。</p> <p>⑥こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる。</p> <p>⑦定期券購入補助制度を広報し通学時におけるバス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図る。</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | C <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 54.3% ・輸送人員 112,903人 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 42.60%(▲10.7%) ・輸送人員 133,140人(+20,237人) <p>輸送人員の増に伴い収入も増加しているが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。</p> | 利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|-------------|--|---------------------------------|---|---|
| 西鉄バス筑豊(株) | 西鉄大隈～桂川駅～飯塚 | <p>①観光施設・沿線商店街等へのバス時刻表等の配架および市内各種イベントにおいてノベルティ等の配架を行うことで、バス利用を呼びかける。また、公共施設内でのポスター掲示やバス利用を呼び掛けるチラシの配架を行うとともに、地域住民に対して公共交通機関の利用促進を呼びかけるチラシを全戸配布する。</p> <p>②公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図る。</p> <p>③定期券購入補助制度を広報し通学時におけるバス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図る。</p> <p>④市バスとの乗り継ぎを強化、沿線住民の方々への利用促進の呼びかけを行う。</p> <p>⑤普通第二種運転免許取得にかかる費用の一部補助及び、乗務員募集の広報を行い、乗務員不足の解消を図る。</p> <p>⑥こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる。</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | C <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 59.5% ・輸送人員 44,590人 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 40.59%(▲17.91%) ・輸送人員 40,757人(▲3,833人) <p>輸送人員は回復傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症の影響前2019年度と比べると戻り切っていない。また、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。また、当路線の運行する飯塚市、嘉麻市等の人口も年々減少傾向にあるため今後もこのような状況が続くと考えられる。</p> | 利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|-------------|---|-------------------------------------|---|--|
| 西鉄バス筑豊(株) | 山野住宅～上三緒～飯塚 | <p>①沿線の高校等(飯塚高校等)の生徒に対しバス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図る。</p> <p>②市報・市HP等に利用促進の記事を掲載し、観光施設・沿線商店街等へのバス時刻表等の配架を行うことで、バス利用を呼びかける。また、地域住民に対して公共交通機関の利用促進を呼びかけるチラシを全戸配布する。</p> <p>③公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図る。</p> <p>④普通第二種運転免許取得に係る費用の一部補助及び、乗務員募集の広報を行い、乗務員不足の解消を図る。</p> <p>⑤こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる。</p> <p>⑥定期券購入補助制度を広報し通学時におけるバス利用の呼びかけを行い、バス利用者の増を図る。</p> | <p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p> | <p>B</p> <p>【目標】 ・収支率 56.7% ・輸送人員 52,104人</p> <p>【実績】 ・収支率 48.89%(▲6.81%) ・輸送人員 56,408人(+4,304人)</p> <p>輸送人員の増に伴い収入も増加しているが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。</p> | <p>利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。</p> |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|----------------|--|---------------------------------|---|---|
| 西鉄バス筑豊(株) | 西鉄後藤寺～川崎～添田町工場 | <p>①当該路線沿線の病院や学校に向けて、利用促進チラシの配布を行うことで、利用者の増を図る。また、イベント開催時に、路線バス・コミュニティバスを含めた周知を行い、利用者の増を図る。</p> <p>②沿線病院等への時刻表の配布と併せて、幹線と接続しているコミュニティバスの便について周知することでバス利用者の増を図る。</p> <p>③市広報紙等での利用啓発に向けたPR(田川市)</p> <p>④こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる。</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 43.5% ・輸送人員 68,829人 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 37.22%(▲5.28%) ・輸送人員 66,456人(▲2,373人) <p>輸送人員は回復傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症の影響前2019年度と比べると戻り切っていない。また、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。また、当路線の運行する田川市、川崎市、添田町の人口も年々減少傾向にあるため今後もこのような状況が続くと考えられる。</p> | 利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。 |
| 西鉄バス筑豊(株) | 赤坂橋～有井～飯塚 | <p>①公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図る。</p> <p>②こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる。</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 74.2% ・輸送人員 42,157人 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 64.16%(▲9.04%) ・輸送人員 54,114人(+11,957人) <p>輸送人員の増に伴い収入も増加しているが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。</p> | 利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|----------------|---|---------------------------------|--|---|
| 西鉄バス筑豊(株) | 明治抗～飯塚～明星寺団地 | <p>①公共施設内でのポスター掲示やチラシの配架を行い、市内各種イベントにおいてノベルティ等の配布を行うことで、バス利用を呼びかけ、路線収益の増加を図る。</p> <p>②こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる。</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 77.3% ・輸送人員 123,057人 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 70.52%(▲5.78%) ・輸送人員 158,553人(+35,496人) <p>輸送人員の増に伴い収入も増加しているが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。</p> | 利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。 |
| 西鉄バス筑豊(株) | 宮田バス停～鞍手車庫～鞍手駅 | <p>①市民を対象とした出前講演等において、公共交通の維持の重要性等を説明し、公共交通の利用促進を図る。</p> <p>②こども50円バスを定期的実施し、バスに乗るきっかけ作りや将来のバス利用につなげる</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 27.3% ・輸送人員 20,443人 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 22.82%(▲3.48%) ・輸送人員 20,816人(+373人) <p>輸送人員の増に伴い収入も増加しているが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。</p> | 利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|---------------------|---|---------------------------------|---|--|
| 西鉄バス筑豊(株) | 直方～引野口～黒崎 | <p>①時刻表や路線を掲載したバスガイドを、沿線の病院や商業施設等に配布し、路線バス利用者の増を目指す。</p> <p>②定期的に開催するイベントとの提携(公共交通利用によるイベントへの参加の奨励など)、イベントでのチラシの配布。利用促進に向けた広報での周知。</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 68.0% ・輸送人員 135,341人 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 66.10%(▲0.9%) ・輸送人員 159,506人(+24,165人) <p>輸送人員の増に伴い収入も増加しているが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。</p> | 利用促進に向け、赤字路線である本路線を利用してもらうために、広報活動のさらなる強化を行う。 |
| 西鉄バス宗像(株) | 東郷駅～波止場・福間海岸～光陽台六丁目 | <ul style="list-style-type: none"> ・「福津市内バス乗継券」の導入し、「ふくつミニバス」より当路線に乗り継ぐ利用者に対し、100円の割引を行う。 ・学生向け商品(ワイドエコルカード)および高齢者向け商品(グランドパス)のチラシ配布並びに未来のバスユーザー獲得に向け、小児の利用者が一律50円で乗車できる「こども50円バス」を期間限定で実施した。実施前には、宗像市・福津市と連携し、各小学校にチラシの配布も行った。 ・福岡県観光振興課・JR九州・西鉄で企画し、『むなかた・ふくつミニたび巡ルメきっぷ』を発売し、観光利用促進に努めた。 | A 計画通り事業は適切に実施された。 | A <p>【目標】収支率59.1% 輸送人員72,059人</p> <p>【実績】収支率61.4% (+2.3%) 輸送人員 94,720人 (+22,661人)</p> | 沿線利用者に対しては、定期券のPRを継続し、更なる利用者増に努める。また、観光需要も徐々に回復しつつあるので、観光エリアを絡めた当該路線のPRを積極的に行い収支改善を図る。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|----------------------|--|-----------------------|---|--|
| 西鉄バス宗像(株) | 東郷駅～宗像大社～神湊波止場 | <p>・学生向け商品(ワイドエコルカード)および高齢者向け商品(グランドパス)のチラシ配布並びに未来のバスユーザー獲得に向け、小児の利用者が一律50円で乗車できる「こども50円バス」を期間限定で実施した。実施前には、宗像市と連携し、各小学校にチラシの配布も行った。</p> <p>・福岡県観光振興課・JR九州・西鉄で企画し、『むなかた・ふくつミニたび巡ルメきっぷ』を発売し、観光利用促進に努めた。</p> | A 計画通り事業は適切に実施された。 | A 【目標】収支率46.8% 輸送人員28,307人 【実績】収支率65.6% (+18.8%) 輸送人員 49,742人 (+21,435人) | 沿線利用者に対しては、定期券のPRを継続し、更なる利用者増に努める。また、観光需要も徐々に回復しつつあるので、観光エリアを絡めた当該路線のPRを積極的に行い収支改善を図る。 |
| 西鉄バス宗像(株) | 鐘崎車庫～宗像コモン・東郷～東郷駅 | <p>・学生向け商品(ワイドエコルカード)および高齢者向け商品(グランドパス)のチラシ配布並びに未来のバスユーザー獲得に向け、小児の利用者が一律50円で乗車できる「こども50円バス」を期間限定で実施した。実施前には、宗像市と連携し、各小学校にチラシの配布も行った。</p> | A 計画通り事業は適切に実施された。 | B 【目標】収支率47.9% 輸送人員79,854人 【実績】収支率45.3% (▲2.6%) 輸送人員 98,565人 (+18,711人) 輸送人員の増に伴い収入も増加しているが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。 | 沿線利用者に対しては、定期券のPRを継続し、更なる利用者増に努める。また、未来のバスユーザー獲得に向けた施策も更に発展させることができないか模索し、取り組んでいく。 |
| 西鉄バス宗像(株) | 鐘崎車庫～ネオポリス・宗寿園～赤間営業所 | <p>・学生向け商品(ワイドエコルカード)および高齢者向け商品(グランドパス)のチラシ配布並びに未来のバスユーザー獲得に向け、小児の利用者が一律50円で乗車できる「こども50円バス」を期間限定で実施した。実施前には、宗像市と連携し、各小学校にチラシの配布も行った。</p> | A 計画通り事業は適切に実施された。 | B 【目標】収支率43.9% 輸送人員85,046人 【実績】収支率42.8% (▲1.1%) 輸送人員 105,690人 (+20,644人) 輸送人員の増に伴い収入も増加しているが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。 | 沿線利用者に対しては、定期券のPRを継続し、更なる利用者増に努める。また、未来のバスユーザー獲得に向けた施策も更に発展させることができないか模索し、取り組んでいく |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|------------|---------------------------|---|---|--|---|
| 西鉄バス大牟田(株) | 西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山 | <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント、バス教室を通したバス出展やチラシの配布 ・利用促進事業の実施 ・おおむた1日乗り放題きっぷの発売延長 ・デジタルスタンプラリーの実施 ・シーズン毎のバス車内装飾 <p>◇実施できなかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿線住民へのポスティング | <p>B</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。</p> <p>イベントでのチラシ配布・商業施設へのチラシの持ち込みに注力し、沿線住民へのポスティングの実施は見送った。</p> | <p>A</p> <p>【目標】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率23.0% ・輸送人員19,818人 <p>【実績】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率30.40%(+8.4%) ・輸送量28,861人(+9043人) | <p>令和6補助年度にて、福岡県MaaSの取り組みに参加。有明エリア(大牟田・柳川・みやま)の自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券を造成予定。今後PRを行い、利用促進を図る。</p> |
| 西鉄バス大牟田(株) | 西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・新大牟田駅～南関 | <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント、バス教室を通したバス出展やチラシの配布 ・利用促進事業の実施 ・おおむた1日乗り放題きっぷの発売延長 ・デジタルスタンプラリーの実施 ・新大牟田駅での電車接続の見直し ・シーズン毎のバス車内装飾 <p>◇実施できなかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿線住民へのポスティング | <p>B</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。</p> <p>イベントでのチラシ配布・商業施設へのチラシの持ち込みに注力し、沿線住民へのポスティングの実施は見送った。</p> | <p>A</p> <p>【目標】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率35.7% ・輸送人員101,429人 <p>【実績】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率37.47%(+2.77%) ・輸送量112,830人(+11,401人) | <p>令和6補助年度にて、福岡県MaaSの取り組みに参加。有明エリア(大牟田・柳川・みやま)の自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券を造成予定。今後PRを行い、利用促進を図る。</p> |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|------------|---------------|---|---|---|---|
| 西鉄バス大牟田(株) | 荒尾駅～右京町～久福木団地 | <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント、バス教室を通したバス出展やチラシの配布 ・利用促進事業の実施 ・おおむた1日乗り放題きっぷの発売延長 ・デジタルスタンプラリーの実施 ・シーズン毎のバス車内装飾 <p>◇実施できなかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿線住民へのポスティング | <p>B</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。</p> <p>イベントでのチラシ配布・商業施設へのチラシの持ち込みに注力し、沿線住民へのポスティングの実施は見送った。</p> | <p>A</p> <p>【目標】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率62.1% ・輸送人員120,640人 <p>【実績】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率65.17%(+4.07%) ・輸送量117,169人(△3,471人) | <p>令和6補助年度にて、福岡県MaaSの取り組みに参加。有明エリア(大牟田・柳川・みやま)の自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券を造成予定。今後PRを行い、利用促進を図る。</p> |
| 西鉄バス大牟田(株) | 荒尾駅～天領橋～三池中町 | <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント、バス教室を通したバス出展やチラシの配布 ・利用促進事業の実施 ・おおむた1日乗り放題きっぷの発売延長 ・デジタルスタンプラリーの実施 ・シーズン毎のバス車内装飾 <p>◇実施できなかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿線住民へのポスティング | <p>B</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。</p> <p>イベントでのチラシ配布・商業施設へのチラシの持ち込みに注力し、沿線住民へのポスティングの実施は見送った。</p> | <p>A</p> <p>【目標】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率56.7% ・輸送人員88,660人 <p>【実績】(対:令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率68.26%(12.56%) ・輸送量116,207人(+27,547人) | <p>令和6補助年度にて、福岡県MaaSの取り組みに参加。有明エリア(大牟田・柳川・みやま)の自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券を造成予定。今後PRを行い、利用促進を図る。</p> |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|------------|---------------------------|--|--|---|---|
| 西鉄バス北九州(株) | 香月営業所～鳥森・JR中間駅～筑鉄中間の運行 | <ul style="list-style-type: none"> ・中間市庁舎に時刻表を設置するとともに、HPに当該路線を利用して行くことができるイベントの案内を行った。(中間市) ・公共交通の維持の重要性を説明する出前講演を行った。(北九州市) ・子どもが50円、または無料で乗車できる期間を設け、将来を見据えた新規ユーザー獲得に努めた。(西鉄バス北九州) ・長期的な路線維持を見据えた、運行規模やダイヤ改定及び検討会を実施した。(中間市・西鉄バス北九州) ・公共交通機関利用機会創出のため1日無料デーを実施し、新規ユーザーの獲得に努めた。(北九州市・中間市・西鉄バス北九州) | <p>B</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおりに実施されていない点があった。</p> <p>【実施されていない理由】 新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、学校訪問等の利用促進イベントを行うことができない時期があり、一部計画通りに事業を実施できなかったため。</p> | <p>B</p> <p>【目標】 収支率41.3% 輸送人員39,995人 【実績】 収支率33.0%(−8.3%) 輸送人員38,198人</p> <p>収支率については、収益改善はあったものの、待遇改善及び燃料価格高騰等による費用増を受け、目標達成には至らなかった。 輸送人員については、出控えやテレワークの推進および沿線の大型商業施設立替等の影響で落ち込んだ利用が回復しきれていない状況。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続きモビリティマネジメント(バスの乗り方講習会等)を実施し、利用促進および新規ユーザー獲得を図る。 ・引き続き香月営業所周辺での各種イベントと併せて当該路線の利便性を中間市HPでPRし、利用促進を図る。 ・長期的に運行を維持するため、事業者及び関係機関による運行規模の見直しや、沿線の学校へのヒアリングを含めたダイヤ改定の検討・協議を引き続きおこなう。 |
| 西鉄バス北九州(株) | 行橋営業所～九州労災病院の運行 車両購入2台 | <ul style="list-style-type: none"> ・各所において利用促進を呼びかけるチラシを配布した。また、SNSでも当該路線の周知活動を行った。(北九州市・行橋市・苅田町・西鉄バス北九州) ・公共交通の維持の重要性を説明する出前講演を行った。(北九州市) ・子どもが50円、または無料で乗車できる期間を設け、そのタイミングに合わせて小学校へチラシを配布した。(苅田町・西鉄バス北九州) ・公共交通機関利用機会創出のため1日無料デーを実施し、新規ユーザーの獲得に努めた。(北九州市・行橋市・苅田町・西鉄バス北九州) | <p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p> | <p>A</p> <p>【目標】 収支率24.9% 1日輸送人員235人 【実績】 収支率27.5% 1日輸送人員199人</p> <p>収支率については、目標自体は達成できているものの、待遇改善、燃料価格高騰等の理由により前年の31.5%を4.0%下回る結果となった。 幹線系統認定前の輸送人員を維持する目標を立てていたが、出控えやテレワークの推進等で落ち込んだ利用が回復していない状況。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続きJR行橋駅や九州労災病院でのチラシ配布や、関係機関HPやSNSでPRを行い、当該路線の認知度向上を図る。 ・関係機関による長期的な路線維持を見据えたダイヤの検討、他交通網との接続の見直しを行う。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|------------|------------------------|--|-----------------------|--|---|
| 西鉄バス二日市(株) | 西鉄二日市駅東口～太宰府高校入口～西鉄五条駅 | <ul style="list-style-type: none"> ・こどもを対象とした50円バスの案内など、周知、PRを実施した。 ・ダイヤ改正を実施し、運行の効率化を図った。 ・今後、沿線住民や通勤・通学者への利用促進を図っていく。 | A 計画通り事業は適切に実施された。 | A 【目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 72.4% ・輸送人員 238,981人 【実績】 <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 73.1%(+0.7%) ・輸送人員 349,874人(+110,893人) | <ul style="list-style-type: none"> ・沿線の地域住民や学校、企業への通勤・通学および病院への通院利用に対して、利用の呼びかけ(チラシの配布等)を市との連携を強化して行く。 |
| 西鉄バス二日市(株) | 太宰府市役所前～宇美営業所 | <ul style="list-style-type: none"> ・こどもを対象とした50円バスの案内など、周知、PRを実施した。 ・今後、沿線住民や通勤・通学者への利用促進を図っていく。 | A 計画通り事業は適切に実施された。 | B 【目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 44.7% ・輸送人員 71,315人 【実績】 <ul style="list-style-type: none"> ・収支率 41.5%(△3.2%) ・輸送人員 107,583人(+36,268人) 輸送人員の増に伴い収入も増加しているが、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・増収策として、JR宇美駅への乗り入れを検討。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|--------------------------------------|---|---------------------------------|--|---|
| JR九州バス(株) | 山の神～久山～博多の運行 H30年・R5年 車両購入1台/年 | 沿線バス停から最寄りの店舗や施設等とお得な乗車券の情報・時刻表を掲載したパンフレットを沿線住民に配布し、利用促進を図った。 また、久山町の公共交通に関する総合時刻表(冊子)に町のコミュニティバスとJR九州バスの乗継情報及びJR九州バスの全ダイヤを掲載し、4月上旬に町内全世帯に配布した。 子供たちにバスに慣れ親しんでもらえるよう、夏休み期間中に子供運賃無料の日を設定した。 その他、公共交通イベントに積極的に参加し、「い2DAYも(いつでも)おでかけきっぷ」のチラシをイベント参加者に配布しPRした。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B 【目標】収支率52.5% 輸送人員67,735人 【実績】収支50.5%(−2.0%) 輸送人員77,596人 ※経常収益は、運行継続支援金や要件緩和等の措置がほぼなくなり、経常費用は、燃料高騰等で費用は増加し、収支率が下がった。 | 引き続き、バスの利用促進活動に取り組む。また、ご利用状況による見直し等、効率的な運行の検討や沿線自治体と連携して持続可能な交通体系を検討していく。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|--|---|---------------------------------|---|---|
| JR九州バス(株) | 直方～鞍手高校前～博多の運行 H30年・R5年 車両購入1台/年 | 沿線バス停から最寄りの店舗や施設等とお得な乗車券の情報・時刻表を掲載したパンフレットを沿線住民に配布し、利用促進を図った。 また、久山町の公共交通に関する総合時刻表(冊子)に町のコミュニティバスとJR九州バスの乗継情報及びJR九州バスの全ダイヤを掲載し、4月上旬に町内全世帯に配布した。 宮若市で毎年開催される宮若全国俳句大会の入選した作品をバス車内に展示した。 また、宮若市乗合バス時刻表・料金表(冊子)に市のコミュニティバスとJR九州バスの主要バス停のダイヤを掲載し、1月上旬に市内全世帯に配布した。 子供たちにバスに慣れ親んでもらえるよう、夏休み期間中に子供運賃無料の日を設定した。 その他、公共交通イベントに積極的に参加し、「い2DAYも(いつでも)おでかけきっぷ」のチラシをイベント参加者に配布しPRした。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | A 【目標】収支率47.1% 輸送人員128,579人 【実績】収支率47.8% (+0.7%) 輸送人員199,345人 ※経常収益は、運行継続支援金や要件緩和等の措置がほぼなくなり、経常費用は、燃料高騰等で費用は増加し、収支率が下がった。 | 引き続き、バスの利用促進活動に取り組む。また、ご利用状況による見直し等、効率的な運行の検討や沿線自治体と連携して持続可能な交通体系を検討していく。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|--|--|---------------------------------|---|---|
| JR九州バス(株) | 直方～鞍手高校前～福丸の運行 H30年・R5年 車両購入1台/年 | 沿線バス停から最寄りの店舗や施設等とお得な乗車券の情報・時刻表を掲載したパンフレットを沿線住民に配布し、利用促進を図った。 宮若市で毎年開催される宮若全国俳句大会の入選した作品をバス車内に展示した。 また、宮若市乗合バス時刻表・料金表(冊子)に市のコミュニティバスとJR九州バスの主要バス停のダイヤを掲載し、1月上旬に市内全世帯に配布した。 子供たちにバスに慣れ親んでもらえるよう、夏休み期間中に子供運賃無料の日を設定した。 その他、公共交通イベントに積極的に参加し、「い2DAYも(いつでも)おでかけきっぷ」のチラシをイベント参加者に配布しPRした。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | C 【目標】収支率70.9% 輸送人員103,277人 【実績】収支率59.0% (-11.9%) 輸送人員90,276人 ※輸送人員・運送収入の減は、ダイヤ改正を行い、目標値の設定時より大幅減便を行ったため。 | 引き続き、バスの利用促進活動に取り組む。また、ご利用状況による見直し等、効率的な運行の検討や沿線自治体と連携して持続可能な交通体系を検討していく。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-------------|--|--|--|--|--|
| 株式会社 甘木観光バス | <p>甘鉄甘木駅～朝倉医師会病院 /小田～田主丸中央病院</p> <p>・車両更新 1台納車(R5/9)</p> | <p>・関係自治体と連携して、広報誌やホームページ等を活用して、地域住民へ働きかけたが、輸送人数は減少した。</p> <p>・令和5年4月から12:00～17:00の(利用客が減少する)時間帯の運行回数を2往復、減便致しました。又運行ダイヤも地元高等学校の要望に合うように、改定した。</p> | <p>B</p> <p>・自社としても、ホームページ、QRコード、学期定期、ニューライフ60(高齢者割引制度)等で路線バス促進を進めている。</p> <p>・朝倉市役所主催の大型商業施設での路線バス利用促進キャンペーンは今年も開催されなかった。</p> <p>・今年9月、1台ノンステップ車両を更新した。</p> | <p>B</p> <p>【目標】 収支率32.88% 輸送人数74,136人以上</p> <p>【実績】 収支率24.43% 輸送人数59,116人(令和5年度)</p> <p>※輸送人員は回復傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症の影響前と比べると戻り切っていない。また、人件費・燃料費など各種費用の高騰があり、収支率の改善には至らなかった。</p> | <p>・自治体と連携して、広報誌やホームページ等を活用して、地域住民へ働きかける。営業窓口での対応時、QRコード付ティッシュをくばる。</p> <p>・現在、運賃は現金、回数券、定期券が現行であり、電子化には、予算の問題が課題。</p> |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|-----------------|---|------------------------|-------------------------|--------------------------------|---|------------|--|-------------------------|
| | | | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 佐賀県地域公共交通活性化協議会 | 昭和自動車(株) 佐賀市交通局 祐徳自動車(株) 西鉄バス佐賀(株) 西鉄バス佐賀(株)・西鉄バス久留米(株) 西肥自動車(株) JR九州バス(株) 有ジョイックス交通 | 45系統 ※詳細は別添一次評価のとおり | 別添一次評価のとおり | A評価:45系統 B評価:0系統 C評価:0系統 | A評価:18系統 B評価:25系統 C評価:2系統 【参考:前年度】 A評価:10系統 B評価:12系統 C評価:23系統 | 別添一次評価のとおり | <p>コロナの影響が残る中、また人手不足の影響が大きくなる中においても、県下一斉バス無料デーの開催、ICカードの周知活動、MaaSアプリを活用した企画乗車券の販売、ラッピングバスの運行、沿線自治体と連携した総合時刻表やチラシの配布、デジタルサイネージ等を活用した乗り場の再編による情報発信等利用促進に取り組まれていることを評価します。</p> <p>目標達成に向けた今回の取組みについては、具体的な取組みの結果やその効果に加え、工夫した内容などについても記録されると、より効果的な改善につながるものと思慮されます。</p> <p>目標を達成できた系統と達成できていない系統がありますが、それぞれの要因について分析し、評価書に記録することは重要です。多くの系統において人口減少やコロナ・燃料高騰の影響を受けていますが、地域の実情を考慮のうえ、その他に原因がないかどうかについても分析し、その他要因への改善点を検討いただくと、より効果的な改善につながることを期待されます。</p> <p>さらに、目標を達成できた系統、要因の分析や取組みの改善が良くできている系統については、他系統においても参考・活用されることを期待します。</p> <p>今後は、アフターコロナを見据えた目標設定や評価指標の見直しも検討いただきながら、県と市町村が連携を図り事業者や住民と共に地域の生活交通の実情のニーズを的確に把握しつつ、地域の特性・実情に最適な交通手段が確保・維持されることを期待します。</p> | 評価指標 【収支率】 【輸送人員】 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月22日

協議会名:佐賀県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) | |
|---------------------|---|---|-----------|------------|---|--|
| 昭和自動車(株) 伊万里線 | <p>大手口～徳須恵～伊万里系統の運行。</p> <p>R5 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>R4 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>R3 車両購入2台 (伊万里、唐津・佐賀に導入)</p> <p>R1 車両購入1台 (伊万里・北波多に導入)</p> <p>H30 車両購入1台 (伊万里・北波多に導入)</p> <p>H25 車両購入1台</p> | <p>【前回の事業評価結果】</p> <p>沿線市町の人口減少やモータリゼーションの進行、新型コロナウイルス感染症の影響により輸送人員の減少及び収支率の悪化を引き起こしていることが明らかとなったため、ICカード普及活動やバス運行情報のオープンデータ化及びバスロケーションシステムの広報を行い、利用促進事業や利便性向上による輸送人員の増加を図る必要がある。</p> <p>また、収支率の改善のためには、輸送人員の減少が見込まれるとしても、バス路線の再編・最適化が必要となる。</p> | A | B | <p>利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成し、収支率も目標の達成はできなかったものの、昨年度より収支率の改善が見られた。</p> <p>【収支率】 (R5)目標:47.1% 実績:37.4%(B) (R4)目標:40.3% 実績:34.2%(C) (R3)目標:50.5% 実績:46.1%(C)</p> <p>【輸送人員】 (R5)目標:42,890人 実績:44,239人(A) (R4)目標:45,753人 実績:39,681人(C) (R3)目標:69,958人 実績:42,890人(C)</p> | <p>輸送人員は基準年度を上回ったが、収支率が基準年度を下回っているため、引き続き利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を検討し、収支率の改善を目指す。</p> |
| 昭和自動車(株) 野元・呼子線 | <p>唐津～野元～呼子の運行。</p> <p>R5 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>R4 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>R3車両購入1台 (野元・呼子、小加倉・呼子に導入)</p> <p>R2車両購入1台 (野元・呼子、小加倉・呼子に導入)</p> <p>R1車両購入1台 (野元・呼子、小加倉・呼子に導入)</p> | <p>【反映状況(反映したものに★)】</p> <p>■生産性向上及び収支率改善に資する取組</p> <p>(1)各自治体と協力し、フォトコンテストの開催</p> <p>(2)乗り方教室やICカードの講習会の開催</p> <p>(3)SAGA Mobility Laboを通して、JRとの連携を図っていく</p> <p>(4)時刻表へのノンステップバス表記</p> <p>(5)佐賀駅バスセンター乗り場再編および先行番号の導入(★)</p> <p>(6)通学フリー乗車券(紙)をWEB定期券化(可能な高校を対象)</p> <p>(7)各地区長会等の折に、公共交通の利用を促すようお願いを行う</p> <p>(8)通学定期について、中学校3年生及び高校1・2年生を対象に年度末に、中学校全学年を対象に夏季休業前に、それぞれチラシ配布を行う</p> <p>(9)乗車証明書などにより飲食店での優待や割引サービスのほか、沿線の観光資源に協力を呼び掛けていく</p> <p>(10)地元消費促進事業「伊万里で買Buy!!がBuyさがん運動2022」と連携した公共交通利用促進キャンペーン実施</p> <p>(11)佐賀市バス路線マップの更新及び配布</p> <p>(12)バスの時刻、運賃等についてホームページ等で周知</p> <p>(13)複数事業者間で乗り継げるデジタルチケットを企画販売する(★)</p> <p>(13)佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★)</p> <p>(14)唐津くんち開催期間中に合わせ、唐津市及び玄海町にてバス運賃無料DAYを実施する(★)</p> <p>(15)令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★)</p> <p>(16)LINEを活用し、バスの運行情報やお知らせをタイムリーに発信する(★)</p> <p>(17)地元企業からのラッピングバスへの広告掲載を募る(★)</p> | A | B | <p>他路線と同様の利用促進事業や利便性向上の取組を実施したものの、輸送人員が減少していることから、バス路線の再編・最適化が必要である。</p> <p>【収支率】 (R5)目標:41.1% 実績:36.0%(B) (R4)目標:46.6% 実績:38.9%(C) (R3)目標:58.6% 実績:40.1%(C)</p> <p>【輸送人員】 (R5)目標:18,225人 実績:17,146人(C) (R4)目標:19,222人 実績:18,165人(C) (R3)目標:22,856人 実績:18,225人(C)</p> | <p>バス路線の再編・最適化を検討し、収支率等の改善を目指す。</p> |
| 昭和自動車(株) 小加倉・呼子線 | <p>唐津～小加倉～呼子の運行。</p> <p>R5 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>R4 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>R3車両購入1台 (野元・呼子、小加倉・呼子に導入)</p> <p>R2車両購入1台 (野元・呼子、小加倉・呼子に導入)</p> <p>R1車両購入1台 (野元・呼子、小加倉・呼子に導入)</p> | <p>(8)通学定期について、中学校3年生及び高校1・2年生を対象に年度末に、中学校全学年を対象に夏季休業前に、それぞれチラシ配布を行う</p> <p>(9)乗車証明書などにより飲食店での優待や割引サービスのほか、沿線の観光資源に協力を呼び掛けていく</p> <p>(10)地元消費促進事業「伊万里で買Buy!!がBuyさがん運動2022」と連携した公共交通利用促進キャンペーン実施</p> <p>(11)佐賀市バス路線マップの更新及び配布</p> <p>(12)バスの時刻、運賃等についてホームページ等で周知</p> <p>(13)複数事業者間で乗り継げるデジタルチケットを企画販売する(★)</p> <p>(13)佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★)</p> <p>(14)唐津くんち開催期間中に合わせ、唐津市及び玄海町にてバス運賃無料DAYを実施する(★)</p> <p>(15)令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★)</p> <p>(16)LINEを活用し、バスの運行情報やお知らせをタイムリーに発信する(★)</p> <p>(17)地元企業からのラッピングバスへの広告掲載を募る(★)</p> | A | B | <p>他路線と同様の利用促進事業や利便性向上の取組を実施したものの、輸送人員が減少していることから、バス路線の再編・最適化が必要であるが、前年度は改善の傾向が見られたことから、再編等についても沿線市町の人口減少やモータリゼーションの状況を慎重に分析する必要がある。</p> <p>【収支率】 (R5)目標:45.3% 実績:41.1%(B) (R4)目標:50.6% 実績:48.9%(B) (R3)目標:59.1% 実績:44.3%(C)</p> <p>【輸送人員】 (R5)目標:13,487人 実績:12,775人(C) (R4)目標:13,677人 実績:14,170人(A) (R3)目標:12,534人 実績:13,487人(C)</p> | <p>バス路線の再編・最適化を検討し、収支率等の改善を目指す。</p> |
| 昭和自動車(株) 七山線 | <p>大手口～浜崎四つ角・なののゆ～細川系統の運行。</p> <p>R5 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>R4 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入)</p> <p>H29 車両購入1台</p> <p>H26 車両購入2台</p> | <p>(16)LINEを活用し、バスの運行情報やお知らせをタイムリーに発信する(★)</p> <p>(17)地元企業からのラッピングバスへの広告掲載を募る(★)</p> | A | B | <p>利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成し、収支率も目標の達成はできなかったものの、昨年度より収支率の改善が見られた。</p> <p>【収支率】 (R5)目標:38.6% 実績:33.5%(B) (R4)目標:29.1% 実績:27.5%(C) (R3)目標:36.9% 実績:37.6%(A)</p> <p>【輸送人員】 (R5)目標:27,050人 実績:31,576人(A) (R4)目標:30,137人 実績:27,050人(C) (R3)目標:12,534人 実績:27,050人(A)</p> | <p>輸送人員は基準年度を上回ったが、収支率が基準年度を下回っているため、引き続き利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を検討し、収支率の改善を目指す。</p> |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月22日

協議会名:佐賀県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|----------------------------|--|--|---|---|--|
| <p>昭和自動車(株) 多久線</p> | <p>佐賀駅BC～徳万・小城～多久駅前系統の運行。 R5 車両購入2台 (多久、古湯、唐津・佐賀、中極に導入) R4 車両購入2台 (多久、古湯、唐津・佐賀、中極に導入) R3 車両購入2台 (多久、古湯、唐津・佐賀・中極に導入) R2 車両購入2台 (多久、唐津・佐賀・中極に導入) R1 車両購入1台 (多久、唐津・佐賀・中極に導入) H29 車両購入1台 (多久、唐津・佐賀・中極に導入) H27 車両購入1台</p> | <p>【前回の事業評価結果】 沿線市町の人口減少やモータリゼーションの進行、新型コロナウイルス感染症の影響により輸送人員の減少及び収支率の悪化を引き起こしていることが明らかとなったため、ICカード普及活動やバス運行情報のオープンデータ化及びバスロケーションシステムの広報を行い、利用促進事業や利便性向上による輸送人員の増加を図る必要がある。 また、収支率の改善のためには、輸送人員の減少が見込まれるとしても、バス路線の再編・最適化が必要となる。</p> | <p>A R5年度内に実施する生産性向上の取組を変更したため、一部実施できていない取組もあるものの、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた</p> | <p>B 利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成し、収支率も目標の達成はできなかったものの、昨年度より収支率の改善が見られた。 【収支率】 (R5)目標:48.1% 実績:46.9%(B) (R4)目標:46.2% 実績:39.4%(C) (R3)目標:61.4% 実績:47.1%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:31,079人 実績:36,243人(A) (R4)目標:33,068人 実績:30,145人(C) (R3)目標:40,445人 実績:31,079人(C)</p> | <p>輸送人員は基準年度を上回ったが、収支率が基準年度を下回っているため、引き続き利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。</p> |
| <p>昭和自動車(株) 古湯線</p> | <p>フォレストふじ～尼寺・川上橋～辻の堂系統の運行。 R5 車両購入2台 (多久、古湯、唐津・佐賀、中極に導入) R4 車両購入2台 (多久、古湯、唐津・佐賀、中極に導入) R3 車両購入2台 (多久、古湯、唐津・佐賀・中極に導入) H30 車両購入1台 H29 車両購入1台 (2台とも北山、古湯、中極に導入)</p> | <p>【反映状況(反映したものに★)】 ■生産性向上及び収支率改善に資する取組 (1)各自治体と協力し、フォントテストの開催 (2)乗り方教室やICカードの講習会の開催 (3)SAGA Mobility Laboを通して、JRとの連携を図っていく (4)時刻表へのノンステップバス表記 (5)佐賀駅バスセンター乗り場再編および先行番号の導入(★) (6)通学フリー乗車券(紙)をWEB定期券化(可能な高校を対象) (7)各地区長会等の折に、公共交通の利用を促すようお願いを行う (8)通学定期について、中学校3年生及び高校1・2年生を対象に年度末に、中学校全学年を対象に夏季休業前に、それぞれチラシ配布を行う (9)乗車証明書などにより飲食店での優待や割引サービスのほか、沿線の観光資源に協力を呼び掛けていく (10)地元消費促進事業「伊万里で買うBuy!!がBuyさがん運動2022」と連携した公共交通利用促進キャンペーン実施 (11)佐賀市バス路線マップの更新及び配布 (12)バスの時刻、運賃等についてホームページ等で周知 (13)複数事業者間で乗り継げるデジタルチケットを企画販売する(★) (13)佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★) (14)唐津くんち開催期間中に合わせ、唐津市及び玄海町にてバス運賃無料DAYを実施する(★) (15)令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★) (16)LINEを活用し、バスの運行情報やお知らせをタイムリーに発信する(★) (17)地元企業からのラッピングバスへの広告掲載を募る(★)</p> | <p>A R5年度内に実施する生産性向上の取組を変更したため、一部実施できていない取組もあるものの、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた</p> | <p>B 利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成し、収支率も目標の達成はできなかったものの、昨年度より収支率の改善が見られた。 【収支率】 (R5)目標:50.6% 実績:50.1%(B) (R4)目標:49.7% 実績:46.1%(C) (R3)目標:65.3% 実績:49.6%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:87,634人 実績:108,756人(A) (R4)目標:60,292人 実績:96,548人(A) (R3)目標:72,551人 実績:87,634人(A)</p> | <p>輸送人員は基準年度を上回ったが、収支率が基準年度を下回っているため、引き続き利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。</p> |
| <p>昭和自動車(株) 唐津・佐賀線</p> | <p>大手口～多久駅前・片田江～佐賀駅BC系統の運行。 R5 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入) R4 車両購入5台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入) R3 車両購入4台 (伊万里、多久、古湯、唐津・佐賀・中極に導入) R2 車両購入2台 (多久、唐津・佐賀・中極に導入) R1 車両購入1台 (多久、唐津・佐賀・中極に導入) H26 車両購入2台 H25 車両購入1台</p> | <p>(8)通学定期について、中学校3年生及び高校1・2年生を対象に年度末に、中学校全学年を対象に夏季休業前に、それぞれチラシ配布を行う (9)乗車証明書などにより飲食店での優待や割引サービスのほか、沿線の観光資源に協力を呼び掛けていく (10)地元消費促進事業「伊万里で買うBuy!!がBuyさがん運動2022」と連携した公共交通利用促進キャンペーン実施 (11)佐賀市バス路線マップの更新及び配布 (12)バスの時刻、運賃等についてホームページ等で周知 (13)複数事業者間で乗り継げるデジタルチケットを企画販売する(★) (13)佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★) (14)唐津くんち開催期間中に合わせ、唐津市及び玄海町にてバス運賃無料DAYを実施する(★) (15)令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★) (16)LINEを活用し、バスの運行情報やお知らせをタイムリーに発信する(★) (17)地元企業からのラッピングバスへの広告掲載を募る(★)</p> | <p>A R5年度内に実施する生産性向上の取組を変更したため、一部実施できていない取組もあるものの、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた</p> | <p>B 利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成し、収支率も目標の達成はできなかったものの、昨年度より収支率の改善が見られた。 【収支率】 (R5)目標:39.9% 実績:37.7%(B) (R4)目標:38.4% 実績:32.9%(C) (R3)目標:49.5% 実績:38.9%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:106,677人 実績:124,642人(A) (R4)目標:110,417人 実績:105,857人(C) (R3)目標:130,294人 実績:106,677人(C)</p> | <p>輸送人員は基準年度を上回ったが、収支率が基準年度を下回っているため、引き続き利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。</p> |
| <p>昭和自動車(株) 中極線</p> | <p>小城～中極・尼寺～辻の堂系統の運行。 R5 車両購入2台 (多久、古湯、唐津・佐賀、中極に導入) R4 車両購入2台 (多久、古湯、唐津・佐賀、中極に導入) R3 車両購入2台 (多久、古湯、唐津・佐賀・中極に導入) R2 車両購入2台 (多久、唐津・佐賀・中極に導入) R1 車両購入1台 (多久、唐津・佐賀・中極に導入) H30 車両購入1台 H29 車両購入1台 (2台とも北山、古湯、中極に導入)</p> | <p>(8)通学定期について、中学校3年生及び高校1・2年生を対象に年度末に、中学校全学年を対象に夏季休業前に、それぞれチラシ配布を行う (9)乗車証明書などにより飲食店での優待や割引サービスのほか、沿線の観光資源に協力を呼び掛けていく (10)地元消費促進事業「伊万里で買うBuy!!がBuyさがん運動2022」と連携した公共交通利用促進キャンペーン実施 (11)佐賀市バス路線マップの更新及び配布 (12)バスの時刻、運賃等についてホームページ等で周知 (13)複数事業者間で乗り継げるデジタルチケットを企画販売する(★) (13)佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★) (14)唐津くんち開催期間中に合わせ、唐津市及び玄海町にてバス運賃無料DAYを実施する(★) (15)令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★) (16)LINEを活用し、バスの運行情報やお知らせをタイムリーに発信する(★) (17)地元企業からのラッピングバスへの広告掲載を募る(★)</p> | <p>A R5年度内に実施する生産性向上の取組を変更したため、一部実施できていない取組もあるものの、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた</p> | <p>A 【収支率】 (R5)目標:44.7% 実績:47.6%(A) (R4)目標:36.3% 実績:32.0%(C) (R3)目標:47.9% 実績:43.7%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:61,728人 実績:88,374人(A) (R4)目標:81,857人 実績:76,241人(B) (R3)目標:98,169人 実績:61,728人(C)</p> | <p>引き続き利便性向上等に取り組む。</p> |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月22日

協議会名:佐賀県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|--------------------|--|---|---|--|---|
| 昭和自動車(株) 多久・武雄線 | 多久市役所前～北部小前・本多久～竹下町系統の運行。 H27 車両購入1台 | 【前回の事業評価結果】 沿線市町の人口減少やモータリゼーションの進行、新型コロナウイルス感染症の影響により輸送人員の減少及び収支率の悪化を引き起こしていることが明らかとなったため、ICカード普及活動やバス運行情報のオープンデータ化及びバスロケーションシステムの広報を行い、利用促進事業や利便性向上による輸送人員の増加を図る必要がある。 また、収支率の改善のためには、輸送人員の減少が見込まれるとしても、バス路線の再編・最適化が必要となる。 | A R5年度内に実施する生産性向上の取組を変更したため、一部実施できていない取組もあるものの、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた | C 他路線と同様の利用促進事業や利便性向上の取組を実施したものの、輸送人員が減少していることから、バス路線の再編・最適化が必要である。 【収支率】 (R5)目標:42.0% 実績:24.1%(C) (R4)目標:33.3% 実績:27.9%(C) (R3)目標:43.2% 実績:41.0%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:13,236人 実績:11,640人(C) (R4)目標:14,330人 実績:13,236人(C) (R3)目標:25,712人 実績:13,236人(C) | バス路線の再編・最適化を検討し、収支率等の改善を目指す。 |
| 昭和自動車(株) 有浦・仮屋線 | 金の手～仮屋～玄海エネルギーパーク系統の運行。 R5 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入) R4 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入) R2 車両購入2台 (有浦・仮屋・呼子、有浦・入野、切木、唐津・入野に導入) R1 車両購入1台 (有浦・仮屋・呼子、有浦・入野、切木、唐津・入野に導入) | 【反映状況(反映したのものには★)】 ■生産性向上及び収支率改善に資する取組 ①各自治体と協力し、フォトコンテストの開催 ②乗り方教室やICカードの講習会の開催 ③SAGA Mobility Laboを通して、JRとの連携を図っていく ④時刻表へのノンステップバス表記 ⑤佐賀駅バスセンター乗り場再編および行先番号の導入(★) ⑥通学フリー乗車券(紙)をWEB定期券化(可能な高校を対象) ⑦各地区長会等の折に、公共交通の利用を促すようお願いを行う ⑧通学定期について、中学校3年生及び高校1・2年生を対象に年度末に、中学校全学年を対象に夏季休業前に、それぞれチラシ配布を行う ⑨乗車証明書などにより飲食店での優待や割引サービスのほか、沿線の観光資源に協力を呼び掛けていく ⑩地元消費促進事業「伊万里で買うBuy!!がBuyさがん運動2022」と連携した公共交通利用促進キャンペーン実施 ⑪佐賀市バス路線マップの更新及び配布 ⑫バスの時刻、運賃等についてホームページ等で周知 ⑬複数事業者間で乗り継げるデジタルチケットを企画販売する(★) ⑭佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★) ⑮唐津くち開催期間中に合わせ、唐津市及び玄海町にてバス運賃無料DAYを実施する(★) ⑯令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★) ⑰LINEを活用し、バスの運行情報やお知らせをタイムリーに発信する(★) ⑱地元企業からのラッピングバスへの広告掲載を募る(★) | A R5年度内に実施する生産性向上の取組を変更したため、一部実施できていない取組もあるものの、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた | B 他路線と同様の利用促進事業や利便性向上の取組を実施したものの、輸送人員が減少していることから、バス路線の再編・最適化が必要である。 【収支率】 (R5)目標:64.4% 実績:60.9%(B) (R4)目標:73.5% 実績:63.8%(B) (R3)目標:95.7% 実績:63.4%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:4,693人 実績:3,977人(C) (R4)目標:5,486人 実績:4,693人(C) (R3)目標:17,144人 実績:4,693人(C) | バス路線の再編・最適化を検討し、収支率等の改善を目指す。 |
| 昭和自動車(株) 湊線 | 大手口～みなと園～呼子系統の運行。 R5 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入) R4 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入) H30 車両購入2台 (湊、呼子に導入) H29 車両購入1台 (湊、呼子、有浦、切木、北波多に導入) | 【反映状況(反映したのものには★)】 ①各自治体と協力し、フォトコンテストの開催 ②乗り方教室やICカードの講習会の開催 ③SAGA Mobility Laboを通して、JRとの連携を図っていく ④時刻表へのノンステップバス表記 ⑤佐賀駅バスセンター乗り場再編および行先番号の導入(★) ⑥通学フリー乗車券(紙)をWEB定期券化(可能な高校を対象) ⑦各地区長会等の折に、公共交通の利用を促すようお願いを行う ⑧通学定期について、中学校3年生及び高校1・2年生を対象に年度末に、中学校全学年を対象に夏季休業前に、それぞれチラシ配布を行う ⑨乗車証明書などにより飲食店での優待や割引サービスのほか、沿線の観光資源に協力を呼び掛けていく ⑩地元消費促進事業「伊万里で買うBuy!!がBuyさがん運動2022」と連携した公共交通利用促進キャンペーン実施 ⑪佐賀市バス路線マップの更新及び配布 ⑫バスの時刻、運賃等についてホームページ等で周知 ⑬複数事業者間で乗り継げるデジタルチケットを企画販売する(★) ⑭佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★) ⑮唐津くち開催期間中に合わせ、唐津市及び玄海町にてバス運賃無料DAYを実施する(★) ⑯令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★) ⑰LINEを活用し、バスの運行情報やお知らせをタイムリーに発信する(★) ⑱地元企業からのラッピングバスへの広告掲載を募る(★) | A R5年度内に実施する生産性向上の取組を変更したため、一部実施できていない取組もあるものの、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた | B 利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成し、収支率も目標の達成はできなかったものの、昨年度より収支率の改善が見られた。 【収支率】 (R5)目標:43.3% 実績:40.3%(B) (R4)目標:43.6% 実績:40.1%(C) (R3)目標:57.3% 実績:42.3%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:30,898人 実績:39,671人(A) (R4)目標:34,369人 実績:32,550人(B) (R3)目標:52,023人 実績:30,898人(C) | 輸送人員は基準年度を上回ったが、収支率が基準年度を下回っているため、引き続き利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。 |
| 昭和自動車(株) 呼子線 | 宝当桟橋～岩野・打上～呼子系統の運行。 R5 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入) R4 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入) R2 車両購入2台 (有浦・仮屋・呼子、有浦・入野、切木、唐津・入野に導入) R1 車両購入1台 (有浦・仮屋・呼子、有浦・入野、切木、唐津・入野に導入) H30 車両購入2台(湊、呼子に導入) H29 車両購入2台 (1台は湊、呼子、有浦、切木、北波多に導入 1台は呼子、有浦、切木に導入) H27 車両購入2台 | 【反映状況(反映したのものには★)】 ①各自治体と協力し、フォトコンテストの開催 ②乗り方教室やICカードの講習会の開催 ③SAGA Mobility Laboを通して、JRとの連携を図っていく ④時刻表へのノンステップバス表記 ⑤佐賀駅バスセンター乗り場再編および行先番号の導入(★) ⑥通学フリー乗車券(紙)をWEB定期券化(可能な高校を対象) ⑦各地区長会等の折に、公共交通の利用を促すようお願いを行う ⑧通学定期について、中学校3年生及び高校1・2年生を対象に年度末に、中学校全学年を対象に夏季休業前に、それぞれチラシ配布を行う ⑨乗車証明書などにより飲食店での優待や割引サービスのほか、沿線の観光資源に協力を呼び掛けていく ⑩地元消費促進事業「伊万里で買うBuy!!がBuyさがん運動2022」と連携した公共交通利用促進キャンペーン実施 ⑪佐賀市バス路線マップの更新及び配布 ⑫バスの時刻、運賃等についてホームページ等で周知 ⑬複数事業者間で乗り継げるデジタルチケットを企画販売する(★) ⑭佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★) ⑮唐津くち開催期間中に合わせ、唐津市及び玄海町にてバス運賃無料DAYを実施する(★) ⑯令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★) ⑰LINEを活用し、バスの運行情報やお知らせをタイムリーに発信する(★) ⑱地元企業からのラッピングバスへの広告掲載を募る(★) | A R5年度内に実施する生産性向上の取組を変更したため、一部実施できていない取組もあるものの、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた | B 利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成し、収支率も目標の達成はできなかったものの、昨年度より収支率の改善が見られた。 【収支率】 (R5)目標:44.0% 実績:34.9%(B) (R4)目標:37.3% 実績:32.3%(C) (R3)目標:53.1% 実績:43.0%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:81,439人 実績:94,606人(A) (R4)目標:92,027人 実績:83,867人(B) (R3)目標:101,762人 実績:81,439人(C) | 輸送人員は基準年度を上回ったが、収支率が基準年度を下回っているため、引き続き利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月22日

協議会名:佐賀県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|----------------------------|--|--|---|--|--|
| <p>昭和自動車(株) 有浦・入野線</p> | <p>金の手～入野系統の運行。 R5 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入) R4 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入) R2 車両購入2台 (有浦・飯屋、呼子、有浦・入野、切木、唐津・入野に導入) R1 車両購入1台 (有浦・飯屋、呼子、有浦・入野、切木、唐津・入野に導入)</p> | <p>【前回の事業評価結果】 沿線市町の人口減少やモータリゼーションの進行、新型コロナウイルス感染症の影響により輸送人員の減少及び収支率の悪化を引き起こしていることが明らかとなったため、ICカード普及活動やバス運行情報のオープンデータ化及びバスロケーションシステムの広報を行い、利用促進事業や利便性向上による輸送人員の増加を図る必要がある。 また、収支率の改善のためには、輸送人員の減少が見込まれるとしても、バス路線の再編・最適化が必要となる。</p> | <p>A R5年度内に実施する生産性向上の取組を変更したため、一部実施できていない取組もあるものの、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた</p> | <p>B 利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成し、収支率も目標の達成はできなかったものの、昨年度より収支率の改善が見られた。 【収支率】 (R5)目標:32.2% 実績:28.9%(B) (R4)目標:34.3% 実績:28.6%(C) (R3)目標:45.9% 実績:31.2%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:11,119人 実績:11,478人(A) (R4)目標:11,973人 実績:11,119人(C) (R3)目標:13,750人 実績:11,119人(C)</p> | <p>輸送人員は基準年度を上回ったが、収支率が基準年度を下回っているため、引き続き利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。</p> |
| <p>昭和自動車(株) 切木線</p> | <p>大口口～切子・古保志気～入野系統の運行。 R5 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入) R4 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入) R2 車両購入2台 (有浦・飯屋、呼子、有浦・入野、切木、唐津・入野に導入) R1 車両購入1台 (有浦・飯屋、呼子、有浦・入野、切木、唐津・入野に導入) H29 車両購入2台 (1台は湊、呼子、有浦、切木、北波多に導入 1台は呼子、有浦、切木に導入)</p> | <p>【反映状況(反映したのものには★)】 ■生産性向上及び収支率改善に資する取組 (1)各自治体と協力し、フォトコンテストの開催 (2)乗り方教室やICカードの講習会の開催 (3)SAGA Mobility Laboを通して、JRとの連携を図っていく (4)時刻表へのノンステップバス表記 (5)佐賀駅バスセンター乗り場再編および行先番号の導入(★) (6)通学フリー乗車券(紙)をWEB定期券化(可能な高校を対象) (7)各地区長会等の折に、公共交通の利用を促すようお願いを行う (8)通学定期について、中学校3年生及び高校1・2年生を対象に年度末に、中学校全学年を対象に夏季休業前に、それぞれチラシ配布を行う (9)乗車証明書などにより飲食店での優待や割引サービスのほか、沿線の観光資源に協力を呼び掛けていく (10)地元消費促進事業「伊万里で買うBuy!!がBuyさんがん運動2022」と連携した公共交通利用促進キャンペーン実施 (11)佐賀市バス路線マップの更新及び配布 (12)バスの時刻、運賃等についてホームページ等で周知 (13)複数事業者間で乗り継げるデジタルチケットを企画販売する(★) (13)佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★) (14)唐津くらし開催期間中に合わせ、唐津市及び玄海町にてバス運賃無料DAYを実施する(★) (15)令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★) (16)LINEを活用し、バスの運行情報やお知らせをタイムリーに発信する(★) (17)地元企業からのラッピングバスへの広告掲載を募る(★)</p> | <p>A R5年度内に実施する生産性向上の取組を変更したため、一部実施できていない取組もあるものの、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた</p> | <p>B 利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成し、収支率も目標の達成はできなかったものの、昨年度より収支率の改善が見られた。 【収支率】 (R5)目標:54.7% 実績:47.1%(B) (R4)目標:51.1% 実績:44.6%(C) (R3)目標:61.0% 実績:53.7%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:37,941人 実績:38,334人(A) (R4)目標:40,198人 実績:36,468人(C) (R3)目標:52,070人 実績:37,941人(C)</p> | <p>輸送人員は基準年度を上回ったが、収支率が基準年度を下回っているため、引き続き利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。</p> |
| <p>昭和自動車(株) 北波多線</p> | <p>大口口～今組・山本～市民病院きたはた系統の運行。 R5 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入) R4 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入) R1 車両購入1台 (伊万里・北波多に導入) H29 車両購入1台 (湊、呼子、有浦、切木、北波多に導入)</p> | <p>(10)地元消費促進事業「伊万里で買うBuy!!がBuyさんがん運動2022」と連携した公共交通利用促進キャンペーン実施 (11)佐賀市バス路線マップの更新及び配布 (12)バスの時刻、運賃等についてホームページ等で周知 (13)複数事業者間で乗り継げるデジタルチケットを企画販売する(★) (13)佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★) (14)唐津くらし開催期間中に合わせ、唐津市及び玄海町にてバス運賃無料DAYを実施する(★) (15)令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★) (16)LINEを活用し、バスの運行情報やお知らせをタイムリーに発信する(★) (17)地元企業からのラッピングバスへの広告掲載を募る(★)</p> | <p>A R5年度内に実施する生産性向上の取組を変更したため、一部実施できていない取組もあるものの、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた</p> | <p>B 収支率は前年度から改善しているものの、輸送人員が減少しているため、沿線市町の人口減少やモータリゼーションの状況を分析し、さらなる潜在需要等を調査する必要がある。 【収支率】 (R5)目標:48.0% 実績:44.8%(B) (R4)目標:50.3% 実績:40.4%(C) (R3)目標:59.0% 実績:47.0%(B) 【輸送人員】 (R5)目標:52,081人 実績:51,361人(C) (R4)目標:52,878人 実績:52,081人(C) (R3)目標:46,714人 実績:52,081人(B)</p> | <p>収支率は基準年度を上回ったが、輸送人員が基準年度を下回っているため、引き続き利用促進、利便性向上の取組を実施し、輸送人員の増加を図る。</p> |
| <p>昭和自動車(株) 唐津・有浦線</p> | <p>大口口～有浦上～金の手系統の運行。 R5 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入) R4 車両購入3台 (伊万里、野元・呼子、他10系統に導入) R2 車両購入2台 (有浦・飯屋、呼子、有浦・入野、切木、唐津・入野に導入) R1 車両購入1台 (有浦・飯屋、呼子、有浦・入野、切木、唐津・入野に導入)</p> | <p>(10)地元消費促進事業「伊万里で買うBuy!!がBuyさんがん運動2022」と連携した公共交通利用促進キャンペーン実施 (11)佐賀市バス路線マップの更新及び配布 (12)バスの時刻、運賃等についてホームページ等で周知 (13)複数事業者間で乗り継げるデジタルチケットを企画販売する(★) (13)佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★) (14)唐津くらし開催期間中に合わせ、唐津市及び玄海町にてバス運賃無料DAYを実施する(★) (15)令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★) (16)LINEを活用し、バスの運行情報やお知らせをタイムリーに発信する(★) (17)地元企業からのラッピングバスへの広告掲載を募る(★)</p> | <p>A R5年度内に実施する生産性向上の取組を変更したため、一部実施できていない取組もあるものの、利用促進や利便性向上の取組、収支率改善の取組を積極的に実施することができた</p> | <p>B 利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員及び収支率は目標を達成できなかったものの、昨年度より改善がみられる。 【収支率】 (R5)目標:34.2% 実績:33.7%(B) (R4)目標:50.3% 実績:31.8%(C) (R3)目標:46.0% 実績:33.2%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:44,796人 実績:44,079人(B) (R4)目標:48,787人 実績:42,143人(C) (R3)目標:48,657人 実績:44,796人(B)</p> | <p>収支率及び輸送人員は目標を達成できなかったものの、徐々に回復傾向にあるため、引き続き利用促進、利便性向上の取組を実施する。</p> |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月22日

協議会名:佐賀県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|------------------------|---|--|------------------------------------|--|--|
| <p>佐賀市交通局 犬井道線</p> | <p>佐賀駅BC～唐人町・大崎～大詫間系統の運行</p> <p>H26年度～R2年度 車両購入3台/年 R3年度 車両購入2台 R4年度 車両購入3台 【犬井道、橋津、東与賀、蓮池に1台導入】 R5年度 車両購入3台 【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万に1台導入】 【犬井道、早津江、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万、西与賀に1台導入】 【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万、西与賀に1台導入】</p> | <p>【前回の事業評価結果】 多くの系統で輸送人員の増加や収支率が改善していることが明らかとなったため、ICカード普及活動やバスロケーションシステムの広報を継続して実施する必要がある。 また、収支率の改善のためには、輸送人員の減少が見込まれるとしても、バス路線の再編・最適化が必要となる。</p> <p>【反映状況(反映したものに★)】 ■生産性向上及び収支率改善に資する取組 ①中学生・高校生を対象とした全路線乗り放題定期券の「ノリノリワイド」及び、指定時間帯において全路線乗り放題定期券の「昼のリワイド」について広報を行い、新規利用者の獲得を図る ②平成29年度に導入したバスロケーションシステム(オープンデータ化によりGooglemapに対応済)を普及させ、バスの接近情報を提供することで当該システムの利便性を高め、利用者の増加を図る。 ③佐賀市内の大学・高校・中学生の新入生を対象に案内チラシを配布する ④70歳以上の佐賀市民に対し、「ワンコインシルバーバス(佐賀市交通局のバス路線が1乗車100円となるバス)」の周知を徹底し、高齢者の新規利用の取り込みを図る ⑤「ワンコインシルバーバス」を交通系ICカードnimocaに搭載した旨のPRを行い、ICカードの普及を図る ⑥佐賀駅バスセンターの再編時にサイネージを設置し、路線の認知向上を図る(★) ⑦佐賀市バス路線マップの配布を行い、住民への周知を行う ⑧複数事業者間で乗り継げるデジタルチケットを企画販売する(★) ⑨佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★) ⑩令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★) ⑪SAGAアリーナのオープンに併せ、土日祝のみの新規路線の運行を開始したり、臨時バスを運行するなど、バス利用者の利便性の向上を図る(★) ⑫シーズンに合わせたラッピングバスや積極的なバス車体への広告掲載により、利用促進や収支率改善を図る(★)</p> | <p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p> | <p>事業が計画に位置付けられた目標を達成した</p> <p>【収支率】 (R5)目標:53.4% 実績:56.3%(A) (R4)目標:58.0% 実績:53.4%(B) (R3)目標:61.2% 実績:52.4%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:127,679人 実績:155,635人(A) (R4)目標:140,741人 実績:144,516人(B) (R3)目標:167,759人 実績:127,679人(C)</p> | <p>今後も生産性向上の取組を継続し、収支率改善に努める</p> |
| <p>佐賀市交通局 早津江線</p> | <p>佐賀駅BC～唐人町・諸富橋～早津江系統の運行</p> <p>H26年度～R2年度 車両購入3台/年 R3年度 車両購入2台 R4年度 車両購入3台 【早津江、金立(来迎寺)、金立(憩い)、東与賀に1台導入】 R5年度 車両購入3台 【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万に1台導入】 【犬井道、早津江、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万、西与賀に1台導入】 【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万、西与賀に1台導入】</p> | <p>⑦佐賀市バス路線マップの配布を行い、住民への周知を行う ⑧複数事業者間で乗り継げるデジタルチケットを企画販売する(★) ⑨佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★) ⑩令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★) ⑪SAGAアリーナのオープンに併せ、土日祝のみの新規路線の運行を開始したり、臨時バスを運行するなど、バス利用者の利便性の向上を図る(★) ⑫シーズンに合わせたラッピングバスや積極的なバス車体への広告掲載により、利用促進や収支率改善を図る(★)</p> | <p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p> | <p>利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成し、収支率も目標の達成はできなかったものの、昨年度より収支率の改善が見られた。</p> <p>【収支率】 (R5)目標:74.6% 実績:67.3%(B) (R4)目標:63.9% 実績:62.2%(C) (R3)目標:75.0% 実績:73.6%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:177,388人 実績:205,938人(A) (R4)目標:169,004人 実績:190,710人(B) (R3)目標:185,825人 実績:177,388人(C)</p> | <p>輸送人員は、各種利用促進事業やSAGAアリーナの開業に伴う各種イベントの開催により大幅に増加しているため、次年度も引き続き利用促進事業を実施し、収支改善のため、バス路線の最適化が必要となる。</p> |
| <p>佐賀市交通局 橋津線</p> | <p>佐賀駅BC～朝日町・諸富橋～橋津系統の運行。</p> <p>H26年度～R2年度 車両購入3台/年 R3年度 車両購入2台 【犬井道、橋津に1台導入】 R4年度 車両購入3台 【犬井道、橋津、東与賀、蓮池に1台導入】 【橋津、蓮池、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、蓮池に1台導入】 R5年度 車両購入3台 【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万に1台導入】 【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万、西与賀に1台導入】</p> | <p>⑦佐賀市バス路線マップの配布を行い、住民への周知を行う ⑧複数事業者間で乗り継げるデジタルチケットを企画販売する(★) ⑨佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★) ⑩令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★) ⑪SAGAアリーナのオープンに併せ、土日祝のみの新規路線の運行を開始したり、臨時バスを運行するなど、バス利用者の利便性の向上を図る(★) ⑫シーズンに合わせたラッピングバスや積極的なバス車体への広告掲載により、利用促進や収支率改善を図る(★)</p> | <p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p> | <p>利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成し、収支率も目標の達成はできなかったものの、昨年度より収支率の改善が見られた。</p> <p>【収支率】 (R5)目標:59.5% 実績:54.9%(B) (R4)目標:55.5% 実績:43.0%(C) (R3)目標:62.6% 実績:58.5%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:58,740人 実績:69,785人(A) (R4)目標:59,620人 実績:56,687人(C) (R3)目標:70,031人 実績:58,740人(C)</p> | <p>輸送人員は、各種利用促進事業やSAGAアリーナの開業に伴う各種イベントの開催により大幅に増加しているため、次年度も引き続き利用促進事業を実施し、収支改善のため、バス路線の最適化が必要となる。</p> |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月22日

協議会名:佐賀県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|--------------------|---|--|--------------------------------|---|----------------------------------|
| 佐賀市交通局 金立(来迎寺)線 | <p>県庁前・佐嘉神社前～尼寺・来迎寺～運転免許センター系統の運行。</p> <p>H26年度～R2年度 車両購入3台/年 R3年度 車両購入2台 【早津江、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀に1台導入】R4年度 車両購入3台 【早津江、金立(来迎寺)、金立(憩い)、東与賀に1台導入】 【橋津、蓮池、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、蓮池に1台導入】 R5年度 車両購入3台</p> | <p>【前回の事業評価結果】 多くの系統で輸送人員の増加や収支率が改善していることが明らかとなったため、ICカード普及活動やバスロケーションシステムの広報を継続して実施する必要がある。 また、収支率の改善のためには、輸送人員の減少が見込まれるとしても、バス路線の再編・最適化が必要となる。</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | <p>事業が計画に位置付けられた目標を達成した</p> <p>【収支率】 (R5)目標:55.8% 実績:65.7%(A) (R4)目標:64.1% 実績:55.1%(B) (R3)目標:73.2% 実績:54.8%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:75,619人 実績:113,140人(A) (R4)目標:80,914人 実績:81,609人(A) (R3)目標:115,038人 実績:75,619人(C)</p> | <p>今後も生産性向上の取組を継続し、収支率改善に努める</p> |
| 佐賀市交通局 金立(いこい)線 | <p>県庁前・佐嘉神社前～尼寺・金立憩い～運転免許センター系統の運行。</p> <p>H26年度～R2年度 車両購入3台/年 R3年度 車両購入2台 【早津江、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀に1台導入】 R4年度 車両購入3台 【早津江、金立(来迎寺)、金立(憩い)、東与賀に1台導入】 【橋津、蓮池、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、蓮池に1台導入】 R5年度 車両購入3台 【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳方に1台導入】 【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万、西与賀に1台導入】</p> | <p>【反映状況(反映したものには★)】 ■生産性向上及び収支率改善に資する取組 ①中学生・高校生を対象とした全路線乗り放題定期券の「リノリワイド」及び、指定時間帯において全路線乗り放題定期券の「昼のリワイド」について広報を行い、新規利用者の獲得を図る ②平成29年度に導入したバスロケーションシステム(オープンデータ化によりGooglemapに対応)を普及させ、バスの接近情報を提供することで当該系統の利便性を高め、利用者の増加を図る。 ③佐賀市内の大学・高校・中学生の新入生を対象に案内チラシを配布する ④70歳以上の佐賀市民に対し、「ワンコインシルバーバス(佐賀市交通局のバス路線が1乗車100円となるバス)」の周知を徹底し、高齢者の新規利用の取り込みを図る ⑤「ワンコインシルバーバス」を交通系ICカードnimocaに搭載した旨のPRを行い、ICカードの普及を図る ⑥佐賀駅バスセンターの再編時にサインージュを設置し、路線の認知向上を図る(★) ⑦佐賀市バス路線マップの配布を行い、住民への周知を行う ⑧複数事業者間で乗り継げるデジタルチケットを企画販売する(★) ⑨佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★) ⑩令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるとフリーDAY」を実施する(★)</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | <p>事業が計画に位置付けられた目標を達成した</p> <p>【収支率】 (R5)目標:59.5% 実績:80.5%(A) (R4)目標:58.1% 実績:65.9%(A) (R3)目標:70.4% 実績:58.5%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:122,453人 実績:198,372人(A) (R4)目標:121,939人 実績:147,841人(A) (R3)目標:147,620人 実績:122,453人(C)</p> | <p>今後も生産性向上の取組を継続し、収支率改善に努める</p> |
| 佐賀市交通局 広江線 | <p>佐賀駅BC～中島・広江～和崎系統の運行。</p> <p>H26年度～R2年度 車両購入3台/年 R3年度 車両購入2台 【早津江、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀に1台導入】 R4年度 車両購入3台 【橋津、蓮池、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、蓮池に1台導入】 R5年度 車両購入3台 【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳方に1台導入】 【犬井道、早津江、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万、西与賀に1台導入】 【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万、西与賀に1台導入】</p> | <p>⑪SAGAアリーナのオープンに併せ、土日祝のみの新規路線の運行を開始したり、臨時バスを運行するなど、バス利用者の利便性の向上を図る(★) ⑫シーズンに合わせたラッピングバスや積極的なバス車体への広告掲載により、利用促進や収支率改善を図る(★)</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | <p>事業が計画に位置付けられた目標を達成した</p> <p>【収支率】 (R5)目標:51.8% 実績:63.5%(A) (R4)目標:52.8% 実績:53.1%(A) (R3)目標:60.6% 実績:50.8%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:117,445人 実績:161,419人(A) (R4)目標:127,621人 実績:133,094人(A) (R3)目標:155,056人 実績:117,445人(C)</p> | <p>今後も生産性向上の取組を継続し、収支率改善に努める</p> |
| 佐賀市交通局 東与賀線 | <p>佐賀駅BC～大財町・佐賀大学前～大野系統の運行。</p> <p>H26年度～R2年度 車両購入3台/年 R3年度 車両購入2台 【早津江、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、東与賀に1台導入】 R4年度 車両購入3台 【早津江、金立(来迎寺)、金立(憩い)、東与賀に1台導入】 【犬井道、橋津、東与賀、蓮池に1台導入】 R5年度 車両購入3台 【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳方に1台導入】 【犬井道、早津江、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万、西与賀に1台導入】 【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万、西与賀に1台導入】</p> | | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | <p>事業が計画に位置付けられた目標を達成した</p> <p>【収支率】 (R5)目標:76.5% 実績:83.9%(A) (R4)目標:69.5% 実績:71.6%(A) (R3)目標:82.8% 実績:75.5%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:134,692人 実績:163,934人(A) (R4)目標:117,815人 実績:138,196人(A) (R3)目標:153,940人 実績:134,692人(C)</p> | <p>今後も生産性向上の取組を継続し、収支率改善に努める</p> |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月22日

協議会名:佐賀県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------------|---|--|--------------------------------|---|---|
| 佐賀市交通局 蓮池線 | 佐賀駅BC～唐人町・東田代～橋津系統の運行。 H26年度～R2年度 車両購入3台/年 R3年度 車両購入2台 R4年度 車両購入3台 【犬井道、橋津、東与賀、蓮池に1台導入】 【橋津、蓮池、金立(来迎寺)、金立(憩い)、広江、蓮池に1台導入】 R5年度 車両購入3台 【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万に1台導入】 【犬井道、早津江、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万、西与賀に1台導入】 【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万、西与賀に1台導入】 | 【前回の事業評価結果】 多くの系統で輸送人員の増加や収支率が改善していることが明らかとなったため、ICカード普及活動やバスロケーションシステムの広報を継続して実施する必要がある。 また、収支率の改善のためには、輸送人員の減少が見込まれるとしても、バス路線の再編・最適化が必要となる。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B 利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成し、収支率も目標の達成はできなかったものの、昨年度より収支率の改善が見られた。 【収支率】 (R5)目標:52.0% 実績:47.7%(B) (R4)目標:48.0% 実績:38.9%(C) (R3)目標:62.6% 実績:51.0%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:72,362人 実績:93,382人(A) (R4)目標:72,031人 実績:72,732人(A) (R3)目標:70,031人 実績:72,362人(C) | 輸送人員は、各種利用促進事業やSAGAアリーナの開業に伴う各種イベントの開催により大幅に増加しているため、次年度も引き続き利用促進事業を実施し、収支改善のため、バス路線の最適化が必要となる。 |
| 佐賀市交通局 嘉瀬新町線 | 佐賀駅BC～医療センター・嘉瀬新町～くぼた特産物直売所系統の運行。 H26年度～R2年度 車両購入3台/年 R3年度 車両購入2台 R4年度 車両購入3台 R5年度 車両購入3台 【犬井道、早津江、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万、西与賀に1台導入】 【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万、西与賀に1台導入】 | 【反映状況(反映したもには★)】 ■生産性向上及び収支率改善に資する取組 ①中学生・高校生を対象とした全路線乗り放題定期券の「ノリノリワイド」及び、指定時間帯において全路線乗り放題定期券の「屋のワイド」について広報を行い、新規利用者の獲得を図る ②平成29年度に導入したバスロケーションシステム(オープンデータ化によりGooglemapに対処)を普及させ、バスの接近情報を提供することで当該系統の利便性を高め、利用者の増加を図る。 ③佐賀市内の大学・高校・中学生の新入生を対象に案内チラシを配布する ④70歳以上の佐賀市民に対し、「ワンコインシルバーバス(佐賀市交通局のバス路線が1乗車100円となるバス)」の周知を徹底し、高齢者の新規利用の取り込みを図る ⑤「ワンコインシルバーバス」を交通系ICカードnimocaに搭載した旨のPRを行い、ICカードの普及を図る ⑥佐賀駅バスセンターの再編時にサインージュを設置し、路線の認知向上を図る(★) ⑦佐賀市バス路線マップの配布を行い、住民への周知を行う ⑧複数事業者間で乗り継げるデジタルチケットを企画販売する(★) ⑨佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★) ⑩令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★) | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B 利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成し、収支率も目標の達成はできなかったものの、昨年度より収支率の改善が見られた。 【収支率】 (R5)目標:51.6% 実績:49.9%(B) (R4)目標:52.6% 実績:36.0%(C) (R3)目標:60.0% 実績:50.6%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:44,022人 実績:57,954人(A) (R4)目標:50,407人 実績:41,244人(C) (R3)目標:63,219人 実績:44,022人(C) | 輸送人員は、各種利用促進事業やSAGAアリーナの開業に伴う各種イベントの開催により大幅に増加しているため、次年度も引き続き利用促進事業を実施し、収支改善のため、バス路線の最適化が必要となる。 |
| 佐賀市交通局 徳万線 | 佐賀駅BC～医療センター・徳万～くぼた特産物直売所系統の運行。 H26年度～R2年度 車両購入3台/年 R3年度 車両購入2台 R4年度 車両購入3台 R5年度 車両購入3台 【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万に1台導入】 【犬井道、早津江、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万、西与賀に1台導入】 【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万、西与賀に1台導入】 | 【ワンコインシルバーバス(佐賀市交通局のバス路線が1乗車100円となるバス)」の周知を徹底し、高齢者の新規利用の取り込みを図る ⑤「ワンコインシルバーバス」を交通系ICカードnimocaに搭載した旨のPRを行い、ICカードの普及を図る ⑥佐賀駅バスセンターの再編時にサインージュを設置し、路線の認知向上を図る(★) ⑦佐賀市バス路線マップの配布を行い、住民への周知を行う ⑧複数事業者間で乗り継げるデジタルチケットを企画販売する(★) ⑨佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★) ⑩令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★) | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B 利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成し、収支率も目標の達成はできなかったものの、昨年度より収支率の改善が見られた。 【収支率】 (R5)目標:53.3% 実績:44.7%(B) (R4)目標:45.0% 実績:36.3%(C) (R3)目標:54.4% 実績:52.3%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:40,478人 実績:56,055人(A) (R4)目標:42,255人 実績:39,493人(C) (R3)目標:50,834人 実績:40,478人(C) | 輸送人員は、各種利用促進事業やSAGAアリーナの開業に伴う各種イベントの開催により大幅に増加しているため、次年度も引き続き利用促進事業を実施し、収支改善のため、バス路線の最適化が必要となる。 |
| 佐賀市交通局 西与賀線 | 佐賀駅BC～大財町・佐賀大学前～大野系統の運行。 H26年度～R2年度 車両購入3台/年 R3年度 車両購入2台 R4年度 車両購入3台 R5年度 車両購入3台 【犬井道、早津江、広江、東与賀、蓮池、嘉瀬新町、徳万、西与賀に1台導入】 【犬井道、早津江、橋津、金立(憩い)、広江、東与賀、蓮池、徳万、西与賀に1台導入】 | ⑪SAGAアリーナのオープンに併せ、土日祝のみの新規路線の運行を開始したり、臨時バスを運行するなど、バス利用者の利便性の向上を図る(★) ⑫シーズンに合わせたラッピングバスや積極的なバス車体への広告掲載により、利用促進や収支率改善を図る(★) | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | A 事業が計画に位置づけられた目標を達成した 【収支率】 (R5)目標:70.0% 実績:85.4%(A) (R4)目標:70.0% 実績:83.3%(A) 【輸送人員】 (R5)目標:140,651人 実績:184,693人(A) (R4)目標:140,651人 実績:173,078人(A) | 今後も生産性向上の取組を継続し、収支率改善に努める |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月22日

協議会名:佐賀県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|--------------|--|--|--------------------------------|---|---|
| 祐徳自動車(株) 佐賀線 | 祐徳神社前～山口駅前・好生館～佐賀駅バスセンター系統の運行。車両減価償却等国庫補助金によりノンステップバス1台を購入 | <p>【前回の事業評価結果】</p> <p>沿線市町の人口減少やモータリゼーションの進行、新型コロナウイルス感染症の影響により輸送人員の減少及び収支率の悪化を引き起こしていることが明らかとなったため、ICカード普及活動やバス運行情報のオープンデータ化及びバスロケーションシステムの広報を行い、利用促進事業や利便性向上による輸送人員の増加を図る必要がある。</p> <p>また、収支率の改善のためには、輸送人員の減少が見込まれるとしても、バス路線の再編・最適化が必要となる。</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | <p>利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成し、収支率も目標の達成はできなかったものの、昨年度より収支率の改善が見られた。</p> <p>【収支率】 (R5)目標:27.6% 実績:24.7%(B) (R4)目標:22.2% 実績:21.4%(C) (R3)目標:40.3% 実績:26.6%(C)</p> <p>【輸送人員】 (R5)目標:69,590人 実績:87,316人(A) (R4)目標:74,902人 実績:67,149人(C) (R3)目標:88,770人 実績:69,590人(C)</p> | 輸送人員は基準年度を上回ったが、収支率が基準年度を下回っているため、引き続き利用促進、利便性向上の取組を実施し、バス路線の再編・最適化を実施し、収支率の改善を目指す。 |
| 祐徳自動車(株) 武雄線 | 下西山車庫～山口駅前・好生館～佐賀駅バスセンター系統の運行。車両減価償却等国庫補助金によりノンステップバス1台を購入 | <p>【反映状況(反映したものには★)】</p> <p>■生産性向上及び収支率改善に資する取組</p> <p>①平成30年度に導入した交通系ICカードnimoca普及のための広報を行い、更なる新規利用の取組みを図る。(令和5年9月まで)</p> <p>②平成30年度に導入したバスロケーションシステムの利便性を広報し、更なる新規利用の取組みを図る。(令和5年9月まで)</p> <p>③時刻表にQRコードを貼り、バスの位置情報を確認できるようにする。(令和5年9月まで)</p> <p>④佐賀市バス路線マップの配布を行い、住民への周知を行う。(令和5年9月まで)</p> <p>⑤佐賀駅バスセンターの再編時にサインージュを設置し、路線の認知向上を図る。(令和5年9月まで)(★)</p> <p>⑥バスの時刻、運賃等についてHP等で周知を行う。(令和5年9月まで)</p> <p>⑦路線バス運賃無料DAYの実施(令和4年10月、令和5年1月、2月)(★)</p> <p>⑧企画乗車券の発売(令和5年9月まで)(★)</p> <p>⑨佐賀市内バス運賃無料DAYの実施(★)</p> <p>⑩県立宇宙科学館行きのバスを土日祝限定で運行させ、利用促進のため、小中学生・幼児限定でお試し乗車券(チラシ)を配布する(★)</p> <p>⑪沿線自治体とタイアップし、各種イベントにて車両を展示し、バスの周知及び利用促進を図る(★)</p> <p>⑫バス停留所の改修を実施する</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | <p>事業が計画に位置付けられた目標を達成した</p> <p>【収支率】 (R5)目標:23.8% 実績:26.7%(A) (R4)目標:23.7% 実績:23.1%(C) (R3)目標:43.2% 実績:22.8%(C)</p> <p>【輸送人員】 (R5)目標:76,925人 実績:107,794人(A) (R4)目標:82,568人 実績:76,557人(C) (R3)目標:97,041人 実績:76,925人(C)</p> | 引き続き利便性向上等に取り組む。 |
| 祐徳自動車(株) 嬉野線 | 祐徳神社前～嬉野市役所・医療センター～湯の田系統の運行。車両減価償却等国庫補助金によりノンステップバス1台を購入 | <p>⑦路線バス運賃無料DAYの実施(令和4年10月、令和5年1月、2月)(★)</p> <p>⑧企画乗車券の発売(令和5年9月まで)(★)</p> <p>⑨佐賀市内バス運賃無料DAYの実施(★)</p> <p>⑩県立宇宙科学館行きのバスを土日祝限定で運行させ、利用促進のため、小中学生・幼児限定でお試し乗車券(チラシ)を配布する(★)</p> <p>⑪沿線自治体とタイアップし、各種イベントにて車両を展示し、バスの周知及び利用促進を図る(★)</p> <p>⑫バス停留所の改修を実施する</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | <p>事業が計画に位置付けられた目標を達成した</p> <p>【収支率】 (R5)目標:31.6% 実績:33.3%(A) (R4)目標:25.9% 実績:27.0%(C) (R3)目標:45.5% 実績:30.6%(B)</p> <p>【輸送人員】 (R5)目標:54,326人 実績:72,668人(A) (R4)目標:58,798人 実績:55,476人(B) (R3)目標:65,370人 実績:54,326人(C)</p> | 引き続き利便性向上等に取り組む。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月22日

協議会名:佐賀県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) |
|-----------------|---|--|------------------------------------|---|-------------------------|
| 祐徳自動車(株) 吉田線 | 中川～吉田～湯の田系統の運行。車両減価償却等 国庫補助金によりノンステップバス1台を購入 | 【前回の事業評価結果】 沿線市町の人口減少やモータリゼーションの進行、 新型コロナウイルス感染症の影響により輸送人員の 減少及び収支率の悪化を引き起こしていることが明ら かとなったため、ICカード普及活動やバス運行情報の オープンデータ化及びバスロケーションシステムの広 報を行い、利用促進事業や利便性向上による輸送人 員の増加を図る必要がある。 また、収支率の改善のためには、輸送人員の減少が 見込まれるとしても、バス路線の再編・最適化が必要 となる。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施 された | 事業が計画に位置付けられた目標を達成した 【収支率】 (R5)目標:29.7% 実績:31.1%(A) (R4)目標:23.4% 実績:26.2%(A) (R3)目標:40.9% 実績:28.7%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:27,086人 実績:46,116人(A) (R4)目標:31,262人 実績:31,846人(A) (R3)目標:27,086人 実績:27,086人(C) | 引き続き利便性向上等に取り組む。 |
| 祐徳自動車(株) 祐徳線 | 祐徳神社前～嬉野市役所～下西山車庫系統の運 行。車両減価償却等国庫補助金によりノンステップ バス1台を購入 | 【反映状況(反映したのものには★)】 ■生産性向上及び収支率改善に資する取組 ①平成30年度に導入した交通系ICカードnimoca普及 のための広報を行い、更なる新規利用の取込みを図 る。(令和5年9月まで) ②平成30年度に導入したバスロケーションシステム の利便性を広報し、更なる新規利用の取込みを図る。 (令和5年9月まで) ③時刻表にQRコードを貼り、バスの位置情報を確認で きるようにする。(令和5年9月まで) ④佐賀市バス路線マップの配布を行い、住民への周 知を行う。(令和5年9月まで) ⑤佐賀駅バスセンターの再編時にサインージュを設置 し、路線の認知向上を図る。(令和5年9月まで)(★) ⑥バスの時刻、運賃等についてHP等で周知を行う。 (令和5年9月まで) ⑦路線バス運賃無料DAYの実施(令和4年10月、令和 5年1月、2月)(★) ⑧企画乗車券の発売(令和5年9月まで)(★) ⑨佐賀市内バス運賃無料DAYの実施(★) ⑩県立宇宙科学館行きのバスを土日祝限定で運行さ せ、利用促進のため、小中学生・幼児限定でお試し乗 車券(チラシ)を配布する(★) ⑪沿線自治体とタイアップし、各種イベントにて車両を 展示し、バスの周知及び利用促進を図る(★) ⑫バス停留所の改修を実施する | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施 された | 事業が計画に位置付けられた目標を達成した 【収支率】 (R5)目標:30.5% 実績:32.8%(A) (R4)目標:25.0% 実績:26.2%(B) (R3)目標:46.7% 実績:29.5%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:43,174人 実績:62,465人(A) (R4)目標:45,541人 実績:44,880人(B) (R3)目標:58,009人 実績:43,174人(C) | 引き続き利便性向上等に取り組む。 |
| 祐徳自動車(株) 太良線 | 鹿島バスセンター～系岐本町～県界系統の運行。 車両減価償却等国庫補助金によりノンステップバス 1台を購入 | 【前回の事業評価結果】 沿線市町の人口減少やモータリゼーションの進行、 新型コロナウイルス感染症の影響により輸送人員の 減少及び収支率の悪化を引き起こしていることが明ら かとなったため、ICカード普及活動やバス運行情報の オープンデータ化及びバスロケーションシステムの広 報を行い、利用促進事業や利便性向上による輸送人 員の増加を図る必要がある。 また、収支率の改善のためには、輸送人員の減少が 見込まれるとしても、バス路線の再編・最適化が必要 となる。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施 された | 事業が計画に位置付けられた目標を達成した 【収支率】 (R5)目標:24.4% 実績:24.8%(A) (R4)目標:18.1% 実績:17.9%(C) (R3)目標:38.8% 実績:23.4%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:30,342人 実績:49,117人(A) (R4)目標:33,066人 実績:29,605人(C) (R3)目標:47,720人 実績:30,342人(C) | 引き続き利便性向上等に取り組む。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月22日

協議会名:佐賀県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|----------------------|-----------------------------|---|---|--|---------------------|
| 西鉄バス佐賀(株) 久留米・鳥栖線 | JR久留米～久留米警察署～西鉄鳥栖系統の運行。 | 【前回の事業評価結果】 沿線市町の人口減少や乗務員不足、燃料費の高騰等、経営環境は厳しい状況となったため、グループ連携を活かした効率的な配車やバス路線の再編等により収支率改善をめざす。 また、沿線市町と協力した利用促進イベント等により、輸送人員の増加を図る必要がある。 | A R5年度内に実施予定であった生産性向上の取組を一部修正したため、実施できていない取組みもあるものの、より高い効果が見込まれる取組を実施した。 | A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した 【収支率】 (R5)目標:62.7% 実績:69.9%(A) (R4)目標:58.9% 実績:64.7%(A) (R3)目標:67.0% 実績:61.7%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:131,952人 実績:197,332人(A) (R4)目標:138,074人 実績:141,569人(A) (R3)目標:150,336人 実績:131,952人(C) | 引き続き利便性向上等に取り組む。 |
| 西鉄バス佐賀(株) 綾部線 | 鳥栖駅～綾部・国立東佐賀病院前～西鉄久留米系統の運行。 | 【反映状況(反映したものは★)】 ■生産性向上及び収支率改善に資する取組 (1)鳥栖市の小学校でバスの乗り方教室を行うことで、新規利用者の取り込みを図る。 (2)久留米市等で作成した公共交通マップを転入者へ配布するなど、利用の呼びかけを行い、利用者の増加を図り、路線収益の増加をさせる。 (3)イベントの際の誘客策として、沿線のイベント情報を記載した「沿線の催し」の車内への掲載を積極的に行う。 (4)自治体が実施するイベントでの出前講座を行い、新規利用者の取り込みを図る。 (5)鳥栖駅・神埼駅での時刻表配布を実施し、利便性を向上させる。 (6)佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★) (7)令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★) (8)「子ども50円バス」や「子ども無料バス」を企画実施し、利用者増加を図る(★) (9)子ども運転士体験会(JR久留米のりものパラダイス)を実施し、魅力向上、利用者増加を図る(★) (10)西鉄バス公式X(旧Twitter)を活用し、沿線の催し情報の発信を行う(★) | A R5年度内に実施予定であった生産性向上の取組を一部修正したため、実施できていない取組みもあるものの、より高い効果が見込まれる取組を実施した。 | A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した 【収支率】 (R5)目標:41.5% 実績:43.6%(A) (R4)目標:34.0% 実績:41.4%(A) (R3)目標:43.0% 実績:40.5%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:70,235人 実績:106,018人(A) (R4)目標:69,589人 実績:75,787人(A) (R3)目標:89,264人 実績:70,235人(C) | 引き続き利便性向上等に取り組む。 |
| 西鉄バス佐賀(株) 鳥栖・神埼線 | 鳥栖駅～目達原～神埼駅通り系統の運行。 | 【反映状況(反映したものは★)】 ■生産性向上及び収支率改善に資する取組 (1)鳥栖市の小学校でバスの乗り方教室を行うことで、新規利用者の取り込みを図る。 (2)久留米市等で作成した公共交通マップを転入者へ配布するなど、利用の呼びかけを行い、利用者の増加を図り、路線収益の増加をさせる。 (3)イベントの際の誘客策として、沿線のイベント情報を記載した「沿線の催し」の車内への掲載を積極的に行う。 (4)自治体が実施するイベントでの出前講座を行い、新規利用者の取り込みを図る。 (5)鳥栖駅・神埼駅での時刻表配布を実施し、利便性を向上させる。 (6)佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★) (7)令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★) (8)「子ども50円バス」や「子ども無料バス」を企画実施し、利用者増加を図る(★) (9)子ども運転士体験会(JR久留米のりものパラダイス)を実施し、魅力向上、利用者増加を図る(★) (10)西鉄バス公式X(旧Twitter)を活用し、沿線の催し情報の発信を行う(★) | A R5年度内に実施予定であった生産性向上の取組を一部修正したため、実施できていない取組みもあるものの、より高い効果が見込まれる取組を実施した。 | A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した 【収支率】 (R5)目標:36.7% 実績:47.5%(A) (R4)目標:30.4% 実績:37.9%(A) (R3)目標:41.1% 実績:35.7%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:28,732人 実績:48,812人(A) (R4)目標:28,322人 実績:30,951人(A) (R3)目標:38,189人 実績:28,732人(C) | 引き続き利便性向上等に取り組む。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月22日

協議会名:佐賀県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-------------------------|------------------------------|---|---|---|-------------------------|
| 西鉄バス佐賀(株) 目達原線 | 鳥栖駅～目達原系統の運行。 | <p>【前回の事業評価結果】 沿線市町の人口減少や乗務員不足、燃料費の高騰等、経営環境は厳しい状況となったため、グループ連携を活かした効率的な配車やバス路線の再編等により収支率改善をめざす。 また、沿線市町と協力した利用促進イベント等により、輸送人員の増加を図る必要がある。</p> | <p>A R5年度内に実施予定であった生産性向上の取組を一部修正したため、実施できていない取組みもあるものの、より高い効果が見込まれる取組を実施した。</p> | <p>A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した 【収支率】 (R5)目標:46.3% 実績:61.4%(A) (R4)目標:38.3% 実績:51.4%(A) (R3)目標:43.9% 実績:45.3%(B) 【輸送人員】 (R5)目標:40,212人 実績:69,932人(A) (R4)目標:39,553人 実績:46,834人(A) (R3)目標:46,225人 実績:40,212人(B)</p> | <p>引き続き利便性向上等に取り組む。</p> |
| 西鉄バス佐賀(株) 江見線 | 佐賀第二合同庁舎～江見～西鉄久留米系統の運行。 | <p>【反映状況(反映したものは★)】 ■生産性向上及び収支率改善に資する取組 (1)鳥栖市の小学校でバスの乗り方教室を行うことで、新規利用者の取り込みを図る。 (2)久留米市等で作成した公共交通マップを転入者へ配布するなど、利用の呼びかけを行い、利用者の増加を図り、路線収益の増加をさせる。 (3)イベントの際の誘客策として、沿線のイベント情報を記載した「沿線の催し」の車内への掲載を積極的に行う。 (4)自治体が実施するイベントでの出前講座を行い、新規利用者の取り込みを図る。 (5)鳥栖駅・神埼駅での時刻表配布を実施し、利便性を向上させる。 (6)佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★) (7)令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★) (8)「子ども50円バス」や「子ども無料バス」を企画実施し、利用者増加を図る(★) (9)子ども運転士体験会(JR久留米のりものパラダイス)を実施し、魅力向上、利用者増加を図る(★) (10)西鉄バス公式X(旧Twitter)を活用し、沿線の催し情報の発信を行う(★)</p> | <p>A R5年度内に実施予定であった生産性向上の取組を一部修正したため、実施できていない取組みもあるものの、より高い効果が見込まれる取組を実施した。</p> | <p>A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した 【収支率】 (R5)目標:52.3% 実績:58.7%(A) (R4)目標:54.2% 実績:52.5%(A) (R3)目標:72.1% 実績:51.3%(B) 【輸送人員】 (R5)目標:117,134人 実績:187,134人(A) (R4)目標:104,180人 実績:125,088人(A) (R3)目標:125,825人 実績:117,134人(B)</p> | <p>引き続き利便性向上等に取り組む。</p> |
| 西鉄バス佐賀・久留米 共同運行 佐賀・久留米線 | 佐賀第二合同庁舎～目達原・長門石～西鉄久留米系統の運行。 | <p>【反映状況(反映したものは★)】 ■生産性向上及び収支率改善に資する取組 (1)鳥栖市の小学校でバスの乗り方教室を行うことで、新規利用者の取り込みを図る。 (2)久留米市等で作成した公共交通マップを転入者へ配布するなど、利用の呼びかけを行い、利用者の増加を図り、路線収益の増加をさせる。 (3)イベントの際の誘客策として、沿線のイベント情報を記載した「沿線の催し」の車内への掲載を積極的に行う。 (4)自治体が実施するイベントでの出前講座を行い、新規利用者の取り込みを図る。 (5)鳥栖駅・神埼駅での時刻表配布を実施し、利便性を向上させる。 (6)佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★) (7)令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★) (8)「子ども50円バス」や「子ども無料バス」を企画実施し、利用者増加を図る(★) (9)子ども運転士体験会(JR久留米のりものパラダイス)を実施し、魅力向上、利用者増加を図る(★) (10)西鉄バス公式X(旧Twitter)を活用し、沿線の催し情報の発信を行う(★)</p> | <p>A R5年度内に実施予定であった生産性向上の取組を一部修正したため、実施できていない取組みもあるものの、より高い効果が見込まれる取組を実施した。</p> | <p>A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した 【収支率】 (R5)目標:60.9% 実績:66.5%(A) (R4)目標:51.2% 実績:62.0%(A) (R3)目標:78.3% 実績:59.9%(B) 【輸送人員】 (R5)目標:168,898人 実績:245,153人(A) (R4)目標:60,650人 実績:171,765人(A) (R3)目標:60,650人 実績:168,898人(B)</p> | <p>引き続き利便性向上等に取り組む。</p> |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月22日

協議会名:佐賀県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|------------------------|-------------------|--|--------------------------------|---|---|
| 西肥自動車㈱ 福島支所前～伊万里駅前線 | 福島支所前～伊万里駅前系統の運行。 | 【前回の事業評価結果】 新型コロナウイルス感染症の影響により、輸送人員が目標に達することはできなかったが、前年度より増加している系統もあり、収支率及び輸送人員ともに前年度を維持していた。そのため、路線に特化した時刻表・沿線マップの作成および全戸配布の継続実施バスロケーションシステムの導入や交通系ICカードの広報、高齢者の新規利用取込等により利用増を図る必要がある。 また、前年度より増収しているが、収支率・輸送人員ともに不安定であり、新規利用者の増加を図る取組が必要である。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | C 本系統の沿線市町は全体的に人口減少やモータリゼーション進行、新型コロナウイルス感染症の影響により輸送人員が大幅に減少しているものの、収支率は前年度と同水準を維持している。 【収支率】 (R5)目標:27.0% 実績:25.3%(C) (R4)目標:28.9% 実績:28.6%(B) (R3)目標:39.9% 実績:26.0%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:30,451人 実績:30,229人(C) (R4)目標:31,278人 実績:31,105人(C) (R3)目標:35,702人 実績:30,451人(C) | 当該路線に特化した時刻表・沿線マップの作成および全戸配布の継続実施バスロケーションシステムの導入や交通系ICカードの広報、高齢者の新規利用取込等により利用増を図る。 また、燃料費の高騰等の要因で収支率も不安定となることが予測されるため、引き続き路線の効率化を図る。 |
| 西肥自動車㈱ 佐世保～伊万里線 | 佐世保～伊万里系統の運行。 | 【反映状況(反映したのものには★)】 ■生産性向上及び収支率改善に資する取組 【取組内容及び実施時期】 (1)地区別時刻表作成・配布 (2)高校入学前の時期に、中学校への定期券PRチラシ配布 (3)Googleマップへ情報掲載 (4)令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★) (5)バスロケーションシステム「西肥バスナビ」を運用し、利便性向上や新規利用者の取り込みを行う(★) (6)女性専用の休憩スペースを設置する等、運転手確保を進め、収支改善や効率的な運行を行う(★) | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B 本系統の沿線市町は全体的に人口減少やモータリゼーション進行、新型コロナウイルス感染症の影響により輸送人員が大幅に減少しているものの、収支率は前年度と同水準を維持している。 【収支率】 (R5)目標:48.0% 実績:47.7%(B) (R4)目標:54.1% 実績:51.8%(C) (R3)目標:67.1% 実績:47.0%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:109,598人 実績:83,148人(C) (R4)目標:123,329人 実績:91,496人(C) (R3)目標:105,997人 実績:109,598人(C) | 当該路線に特化した時刻表・沿線マップの作成および全戸配布の継続実施バスロケーションシステムの導入や交通系ICカードの広報、高齢者の新規利用取込等により利用増を図る。 また、燃料費の高騰等の要因で収支率も不安定となることが予測されるため、引き続き路線の効率化を図る。 |
| 西肥自動車㈱ 佐世保～嬉野線 | 佐世保～嬉野系統の運行。 | (5)バスロケーションシステム「西肥バスナビ」を運用し、利便性向上や新規利用者の取り込みを行う(★) (6)女性専用の休憩スペースを設置する等、運転手確保を進め、収支改善や効率的な運行を行う(★) | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B 本系統の沿線市町は全体的に人口減少やモータリゼーション進行、新型コロナウイルス感染症の影響により輸送人員が大幅に減少しているものの、収支率は前年度と同水準を維持している。 【収支率】 (R5)目標:59.6% 実績:62.6%(A) (R4)目標:68.9% 実績:64.0%(C) (R3)目標:87.6% 実績:58.6%(C) 【輸送人員】 (R5)目標:131,883人 実績:65,050人(C) (R4)目標:142,913人 実績:99,278人(C) (R3)目標:149,698人 実績:131,883人(C) | 当該路線に特化した時刻表・沿線マップの作成および全戸配布の継続実施バスロケーションシステムの導入や交通系ICカードの広報、高齢者の新規利用取込等により利用増を図る。 また、燃料費の高騰等の要因で収支率も不安定となることが予測されるため、引き続き路線の効率化を図る。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月22日

協議会名:佐賀県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-------------------|------------------------------|---|--------------------------------|---|--|
| JR九州バス㈱ | 嬉野温泉バスセンター～嬉野温泉駅・武雄温泉駅～新武雄病院 | <p>【前回の事業評価結果】 コロナウイルス感染症の影響により輸送人員の増加や収支率の改善が達成できていない系統があった。一方で徐々に回復傾向にあるため、引き続き利用促進のための広報を行い、輸送人員の増加を図る必要がある。</p> <p>【反映状況(反映したのものには★)】 ■生産性向上及び収支率改善に資する取組 (1)ICカードを導入し、お客様の利便性向上を高め、利用促進に努める。(★) (2)観光客及びインバウンド向けにわかりやすいバスの行先表示を付与し、不安を解消する。(★) (3)観光客及びインバウンド向けに主な観光地のあるバス停にアルファベットを付与し、不安を解消する。(★) (4)西九州新幹線のダイヤに合わせた接続でダイヤの検討を行う。(★) (5)MaaS事業として、令和4年1月から発売を開始したデジタルチケット「かぶきフリーきっぷ」が普及するよう自治体と協力し、利用促進に努める。(★) (6)時刻表や沿線施設を掲載した利用促進チラシを自治体と連携し、車内や沿線施設及び沿線住民へ配布する。(★) (7)複数事業者間で乗り継げるデジタルチケットを企画販売する(★) (8)令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★)</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B <p>本系統の沿線市町は従来から続く人口減少やモータリゼーション進行、近年の新型コロナ感染拡大による行動変容等の影響もあり、さらには燃料費の高騰等で輸送コストの上昇により、収支率を悪化させる原因となっている。R5年度は、輸送人員は増加したが、令和3年度を基準として目標を設定しており、基準対象期間(R3年度)に新型コロナウイルス支援金等が含まれているため、収支率については計画に位置付けられた目標を達成できなかった。</p> <p>【収支率】 (R5)目標:45.4% 実績:36.9%(B) (R4)目標:37.6% 実績:37.7%(B) (R3)目標:56.4% 実績:44.4%(C)</p> <p>【輸送人員】 (R5)目標:55,530人 実績:57,800人(A) (R4)目標:75,087人 実績:52,347人(B) (R3)目標:107,736人 実績:55,530人(C)</p> | 輸送人員が年々減少している路線であり、利用促進の広報活動を今後も継続していく。また、地元利用客はもとより観光客の移動手段としての交通網として、新幹線との接続等事業者と沿線自治体が一体となって検討していく。 |
| JR九州バス㈱ | 彼杵駅～嬉野温泉駅・武雄温泉駅～たけお競輪場 | <p>【前回の事業評価結果】 九年庵等の開催で一定の輸送人員はあるものの、収支率の改善が必要な路線。路線の最適化を図る必要があるが、燃油高騰等の影響により、さらに悪化する恐れがある。利用者増を図るため、バスの認知が向上する取組を実施する。</p> <p>【反映状況(反映したのものには★)】 ■生産性向上及び収支率改善に資する取組 (1)九年庵等のイベントなどにて、沿線市町と協力してPRを行う。 (2)佐賀市バス路線マップの配布を行い、住民への周知を行う。 (3)自治会長会を通じてチラシを全戸配布し、住民への周知を行う。 (4)公共交通利用に関する地域住民説明会を開催し、住民への周知を行う。 (5)佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★) (6)令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★)</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B <p>本系統の沿線市町は従来から続く人口減少やモータリゼーション進行、近年の新型コロナ感染拡大による行動変容等の影響もあり、さらには燃料費の高騰等で輸送コストの上昇により、収支率を悪化させる原因となっている。R5年度は、輸送人員は増加したが、令和3年度を基準として目標を設定しており、基準対象期間(R3年度)に新型コロナウイルス支援金等が含まれているため、収支率については計画に位置付けられた目標を達成できなかった。</p> <p>【収支率】 (R5)目標:36.2% 実績:29.6%(B) (R4)目標:27.1% 実績:27.8%(B) (R3)目標:42.7% 実績:35.2%(C)</p> <p>【輸送人員】 (R5)目標:31,112人 実績:35,981人(A) (R4)目標:38,240人 実績:31,727人(B) (R3)目標:64,282人 実績:31,112人(C)</p> | 輸送人員が年々減少している路線であり、利用促進の広報活動を今後も継続していく。また、地元利用客はもとより観光客の移動手段としての交通網として、新幹線との接続等事業者と沿線自治体が一体となって検討していく。 |
| (株)ジョイックス交通三瀬・横武線 | 三瀬支所～神埼駅前～横武の運行 | <p>【前回の事業評価結果】 九年庵等の開催で一定の輸送人員はあるものの、収支率の改善が必要な路線。路線の最適化を図る必要があるが、燃油高騰等の影響により、さらに悪化する恐れがある。利用者増を図るため、バスの認知が向上する取組を実施する。</p> <p>【反映状況(反映したのものには★)】 ■生産性向上及び収支率改善に資する取組 (1)九年庵等のイベントなどにて、沿線市町と協力してPRを行う。 (2)佐賀市バス路線マップの配布を行い、住民への周知を行う。 (3)自治会長会を通じてチラシを全戸配布し、住民への周知を行う。 (4)公共交通利用に関する地域住民説明会を開催し、住民への周知を行う。 (5)佐賀市内バス運賃無料DAYを実施する(★) (6)令和5年1月、2月に佐賀県内で降車するとバス運賃が無料となる「さがバスまるっとフリーDAY」を実施する(★)</p> | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | B <p>利用促進事業や収支率改善を図る事業に取り組んだ結果、輸送人員は目標を達成し、収支率も目標の達成はできなかったものの、昨年度より収支率の改善が見られた。</p> <p>【収支率】 (R5)目標:14.4% 実績:5.1%(B) (R4)目標:14.4% 実績:4.9%(C) (R3) 実績:13.4%</p> <p>【輸送人員】 (R5)目標:15,933人 実績:17,727人(A) (R4)目標:16,092人 実績:16,311人(B) (R3) 実績:15,933人</p> | 運行の効率化を図るとともに、引き続き利用促進の広報に努める |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|------------|---|----------------------------|-------------------------|--------------------------------|--|------------|---|--|
| | | | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 長崎県バス対策協議会 | 長崎県交通局 長崎自動車(株) 西肥自動車(株) 島原鉄道(株) さいかい交通(株) 五島自動車(株) 吉岐交通(株) 対馬交通(株) 生月自動車(有) JR九州バス(株) | 37系統 ※詳細は別添一次評価のとおり | 別添一次評価のとおり | A評価：37系統 B評価：0系統 C評価：0系統 | A評価：20系統 B評価：17系統 C評価：0系統 【参考：前年度】 A評価：17系統 B評価：17系統 C評価：4系統 | 別添一次評価のとおり | <p>コロナの影響が残る中、また人手不足の影響が大きくなる中においても、企画乗車券の販売やPR、各種学校へ定期券のPR、沿線自治体と連携した地区別時刻表の作成・配布等の広報活動を通じて利用促進に取り組まれていることや利便性向上や運行効率化のための路線及びダイヤの再編・見直しを行っていることを評価します。</p> <p>目標達成に向けた今回の取組みについては、具体的な取組みの結果やその効果に加え、工夫した内容などについても記録されると、より効果的な改善につながるものと思慮されます。</p> <p>目標を達成できた系統と達成できていない系統がありますが、それぞれの要因について分析し、評価書に記録することは重要です。多くの系統において人口減少やコロナ・燃料高騰の影響を受けていますが、地域の実情を考慮のうえ、その他に原因がないかどうかについても分析し、その他要因への改善点を検討いただくと、より効果的な改善につながることを期待されます。</p> <p>さらに、目標を達成できた系統、要因の分析や取組みの改善が良くできている系統については、他系統においても参考・活用されることを期待します。</p> <p>今後は、アフターコロナを見据えた目標設定や評価指標の見直しも検討いただきながら、県と市町村が連携を図り事業者や住民と共に地域の生活交通の実情のニーズを的確に把握しつつ、地域の特性・実情に最適な交通手段が確保・維持されることを期待します。</p> | <p>評価指標</p> <p>【乗車密度】</p> <p>【輸送人員】</p> <p>【運送収入】</p> <p>【収支率】</p> |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月23日

協議会名:長崎県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|--------------------------------|---|------------------------------|---|--|
| 長崎県交通局 | 1. 長崎～雲仙線の運行 | バス利用状況の把握に留意しながら適正な運行に努め、『各種フリーバスのPR』によるバス利用促進のための取組を行った。 また、認知・需要拡大のため、SNSキャンペーンや割引キャンペーン等に伴ったPRも行った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | A 【乗車密度】 ・目標値:3.9人(R3年度の実績値) ・R5年度実績:5.6人 【輸送人員】 ・目標値:29,019人(R3年度の実績値×102.9%) ・R5年度実績:31,399人 ・達成率:108.2% 【運送収入】 ・目標値:18,556,397円(R3年度の実績値×102.9%) ・R5年度実績:24,354,443円 ・達成率:131.2% 【収支率】 ・目標値:40.1%(R3年度の実績値+1.0%) ・R5年度実績:51.2% ・達成率:127.8% 目標を達成できた。 | ・高齢化社会を見据え、チラシ配布・HPへの掲載・デジタルサイネージなどにより高齢者や運転免許返納者向けのフリー定期券の販売拡大を継続する。 ・観光需要のある路線でもあるため、インバウンドや県内外に向けた路線情報の発信も強化していく。 ・燃油価格高騰や乗務員不足、施設や車両の老朽化等、経営状況はまだまだ厳しいものがあるため、利用実態の把握により運行便数や運行ダイヤの適正化に努める。 |
| | 2. 江の浦～長崎線の運行(矢上団地、大波止経由) | バス利用状況の把握に留意しながら適正な運行に努め、『各種フリーバスのPR』によるバス利用促進のための取組を行った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | A 【乗車密度】 ・目標値:6.8人(R3年度の実績値) ・R5年度実績:7.7人 【輸送人員】 ・目標値:260,487人(R3年度の実績値×101.8%) ・R5年度実績:300,621人 ・達成率:115.4% 【運送収入】 ・目標値:54,275,000円(R3年度の実績値×101.8%) ・R5年度実績:60,443,187円 ・達成率:111.4% 【収支率】 ・目標値:64.7%(R3年度の実績値+1.0%) ・R5年度実績:68.8% ・達成率:106.4% 目標を達成できた。 | ・高齢化社会を見据え、チラシ配布・HPへの掲載・デジタルサイネージなどにより高齢者や運転免許返納者向けのフリー定期券の販売拡大を継続する。 ・夏休み期間中の小学生を対象にした夏休みこども定期券を販売することにより、バス利用のきっかけ作り・乗車マナー習得・利用促進を図る。 ・燃油価格高騰や乗務員不足、施設や車両の老朽化等、経営状況はまだまだ厳しいものがあるため、利用実態の把握により運行便数や運行ダイヤの適正化に努める。 |
| | 3. 江の浦～長崎線の運行(飯盛団地、矢上団地、大波止経由) | バス利用状況の把握に留意しながら適正な運行に努め、『各種フリーバスのPR』によるバス利用促進のための取組を行った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | A 【乗車密度】 ・目標値:7.0人(R3年度の実績値) ・R5年度実績:8.2人 【輸送人員】 ・目標値:85,223人(R3年度の実績値×101.7%) ・R5年度実績:103,927人 ・達成率:121.9% 【運送収入】 ・目標値:19,224,428円(R3年度の実績値×101.7%) ・R5年度実績:22,290,543円 ・達成率:115.9% 【収支率】 ・目標値:65.0%(R3年度の実績値+1.0%) ・R5年度実績:71.6% ・達成率:110.2% 目標を達成できた。 | ・高齢化社会を見据え、チラシ配布・HPへの掲載・デジタルサイネージなどにより高齢者や運転免許返納者向けのフリー定期券の販売拡大を継続する。 ・夏休み期間中の小学生を対象にした夏休みこども定期券を販売することにより、バス利用のきっかけ作り・乗車マナー習得・利用促進を図る。 ・燃油価格高騰や乗務員不足、施設や車両の老朽化等、経営状況はまだまだ厳しいものがあるため、利用実態の把握により運行便数や運行ダイヤの適正化に努める。 |
| | 4. 諫早～県界線の運行 | バス利用状況の把握に留意しながら適正な運行に努め、『各種フリーバスのPR』によるバス利用促進のための取組を行った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B 【乗車密度】 ・目標値:3.0人(R3年度の実績値) ・R5年度実績:2.8人 【輸送人員】 ・目標値:139,146人(R3年度の実績値×103.7%) ・R5年度実績:110,684人 ・達成率:79.5% 【運送収入】 ・目標値:25,451,457円(R3年度の実績値×103.7%) ・R5年度実績:21,032,729円 ・達成率:82.6% 【収支率】 ・目標値:34.4%(R3年度の実績値+1.0%) ・R5年度実績:30.6% ・達成率:88.9% 人口減少や燃油価格高騰等に伴う費用の増加により75%以上は保ったものの、目標を達成できなかった。 | ・高齢化社会を見据え、チラシ配布・HPへの掲載・デジタルサイネージなどにより高齢者や運転免許返納者向けのフリー定期券の販売拡大を継続する。 ・夏休み期間中の小学生を対象にした夏休みこども定期券を販売することにより、バス利用のきっかけ作り・乗車マナー習得・利用促進を図る。 ・燃油価格高騰や乗務員不足、施設や車両の老朽化等、経営状況はまだまだ厳しいものがあるため、利用実態の把握により運行便数や運行ダイヤの適正化に努める。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月23日

協議会名:長崎県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|--|---|------------------------------|---|--|
| 長崎県交通局 | 5. 諫早～みさかえの国線の運行 | バス利用状況の把握に留意しながら適正な運行に努め、『各種フリーバスのPR』によるバス利用促進のための取組を行った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B 【乗車密度】 ・目標値:3.0人(R3年度の実績値) ・R5年度実績:2.8人 【輸送人員】 ・目標値:55,382人(R3年度の実績値×103.8%) ・R5年度実績:48,270人 ・達成率:87.2% 【運送収入】 ・目標値:11,850,330円(R3年度の実績値×103.8%) ・R5年度実績:10,974,286円 ・達成率:92.6% 【収支率】 ・目標値:34.0%(R3年度の実績値+1.0%) ・R5年度実績:30.5% ・達成率:89.6% 人口減少や燃油価格高騰等に伴う費用の増加により75%以上は保ったものの、目標を達成できなかった。 | ・高齢化社会を見据え、チラシ配布・HPへの掲載・デジタルサイネージなどにより高齢者や運転免許返納者向けのフリー定期券の販売拡大を継続する。 ・夏休み期間中の小学生を対象にした夏休みこども定期券を販売することにより、バス利用のきっかけ作り・乗車マナー習得・利用促進を図る。 ・燃油価格高騰や乗務員不足、施設や車両の老朽化等、経営状況はまだまだ厳しいものがあるため、利用実態の把握により運行便数や運行ダイヤの適正化に努める。 |
| | 6. 東厚生町～飯盛団地線の運行 【車両補助対象】 ・H30.03 購入3台 | バス利用状況の把握に留意しながら適正な運行に努め、『各種フリーバスのPR』によるバス利用促進のための取組を行った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | A 【乗車密度】 ・目標値:2.9人(R3年度の実績値) ・R5年度実績:4.2人 【輸送人員】 ・目標値:135,202人(R3年度の実績値×103.2%) ・R5年度実績:198,062人 ・達成率:146.5% 【運送収入】 ・目標値:24,496,929円(R3年度の実績値×103.2%) ・R5年度実績:34,494,027円 ・達成率:140.8% 【収支率】 ・目標値:37.4%(R3年度の実績値+1.0%) ・R5年度実績:47.4% ・達成率:126.7% 目標を達成できた。 | ・高齢化社会を見据え、チラシ配布・HPへの掲載・デジタルサイネージなどにより高齢者や運転免許返納者向けのフリー定期券の販売拡大を継続する。 ・夏休み期間中の小学生を対象にした夏休みこども定期券を販売することにより、バス利用のきっかけ作り・乗車マナー習得・利用促進を図る。 ・燃油価格高騰や乗務員不足、施設や車両の老朽化等、経営状況はまだまだ厳しいものがあるため、利用実態の把握により運行便数や運行ダイヤの適正化に努める。 |
| | 7. 今村～早見線の運行 | バス利用状況の把握に留意しながら適正な運行に努め、『各種フリーバスのPR』によるバス利用促進のための取組を行った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B 【乗車密度】 ・目標値:3.0人(R3年度の実績値) ・R5年度実績:2.4人 【輸送人員】 ・目標値:142,661人(R3年度の実績値×103.6%) ・R5年度実績:111,544人 ・達成率:78.2% 【運送収入】 ・目標値:21,521,709円(R3年度の実績値×103.6%) ・R5年度実績:17,010,707円 ・達成率:79.0% 【収支率】 ・目標値:34.2%(R3年度の実績値+1.0%) ・R5年度実績:26.9% ・達成率:78.6% 人口減少や燃油価格高騰等に伴う費用の増加により75%以上は保ったものの、目標を達成できなかった。 | ・高齢化社会を見据え、チラシ配布・HPへの掲載・デジタルサイネージなどにより高齢者や運転免許返納者向けのフリー定期券の販売拡大を継続する。 ・夏休み期間中の小学生を対象にした夏休みこども定期券を販売することにより、バス利用のきっかけ作り・乗車マナー習得・利用促進を図る。 ・燃油価格高騰や乗務員不足、施設や車両の老朽化等、経営状況はまだまだ厳しいものがあるため、利用実態の把握により運行便数や運行ダイヤの適正化に努める。 |
| | 8. 諫早～長崎空港線の運行(消防学校前、サンスバおおむら経由) | バス利用状況の把握に留意しながら適正な運行に努め、『各種フリーバスのPR』によるバス利用促進のための取組を行った。 また、認知・需要拡大のため、SNSキャンペーンや割引キャンペーン等に伴ったPRも行った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | A 【乗車密度】 ・目標値:3.5人(R3年度の実績値) ・R5年度実績:5.9人 【輸送人員】 ・目標値:84,162人(R3年度の実績値×102.8%) ・R5年度実績:126,315人 ・達成率:150.1% 【運送収入】 ・目標値:16,430,183円(R3年度の実績値×102.8%) ・R5年度実績:27,405,721円 ・達成率:166.8% 【収支率】 ・目標値:42.2%(R3年度の実績値+1.0%) ・R5年度実績:63.4% ・達成率:150.2% 目標を達成できた。 | ・高齢化社会を見据え、チラシ配布・HPへの掲載・デジタルサイネージなどにより高齢者や運転免許返納者向けのフリー定期券の販売拡大を継続する。 ・大村市内でのフィーダー系統等との乗継ダイヤも勘案しながらエリアでの路線展開を実施する。 ・燃油価格高騰や乗務員不足、施設や車両の老朽化等、経営状況はまだまだ厳しいものがあるため、利用実態の把握により運行便数や運行ダイヤの適正化に努める。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月23日

協議会名:長崎県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|---|---|-------------------------------------|--|--|
| 長崎県交通局 | <p>9. 諫早～長崎空港線の運行(長崎医療センター、サンスバ おおむら経由)</p> <p>【車両補助対象】 ・H31.3 購入3台</p> | <p>バス利用状況の把握に留意しながら適正な運行に努め、『各種フリーバスのPR』によるバス利用促進のための取組を行った。 また、認知・需要拡大のため、SNSキャンペーンや割引キャンペーン等に併ったPRも行った。</p> | <p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p> | <p>【乗車密度】 ・目標値:4.5人(R3年度の実績値) ・R5年度実績:5.0人</p> <p>【輸送人員】 ・目標値:161,789人(R3年度の実績値×102.2%) ・R5年度実績:161,998人 ・達成率:100.1%</p> <p>【運送収入】 ・目標値:30,468,254円(R3年度の実績値×102.2%) ・R5年度実績:33,501,329円 ・達成率:110.0%</p> <p>【収支率】 ・目標値:50.8%(R3年度の実績値+1.0%) ・R5年度実績:52.8% ・達成率:104.0%</p> <p>目標を達成できた。</p> | <p>・高齢化社会を見据え、チラシ配布・HPへの掲載・デジタルサイネージなどにより高齢者や運転免許返納者向けのフリー定期券の販売拡大を継続する。</p> <p>・大村市内でのフィーダー系統等との乗継ダイヤも勘案しながらエリアでの路線展開を実施する。</p> <p>・燃油価格高騰や乗務員不足、施設や車両の老朽化等、経営状況はまだまだ厳しいものがあるため、利用実態の把握により運行便数や運行ダイヤの適正化に努める。</p> |
| 長崎自動車株式会社 | <p>1. 時津北部ターミナル～大串の運行</p> | <p>令和5年4月にHPをリニューアルし、観光需要の取り込みを図るべく、観光地への行先案内バスマップの作成、配布を行った。</p> | <p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p> | <p>【乗車密度】 ・目標値:3.3人(R3年度の実績値) ・R5年度実績:3.5人</p> <p>【輸送人員】 ・目標値:52,968人(R3年度の実績値+2,300人) ・R5年度実績:48,444人 ・達成率:91.5%</p> <p>【運送収入】 ・目標値:14,216,462円(R3年度の実績値+689,358円) ・R5年度実績:13,139,756円 ・達成率:92.4%</p> <p>【収支率】 ・目標値:29.10%(R3年度の実績値+1.27%) ・R5年度実績:27.7% ・達成率:95.2%</p> <p>コロナ禍の影響に伴う生活様式の変化による輸送人員減少の影響や人口減少、燃油価格高騰等により、目標を達成できなかった。</p> | <p>地域公共交通計画に照らし、利用実態及びニーズに即した最適なダイヤ編成を進め、各関連機関とも連携しながら持続可能なバス路線への転換を目指し、沿線企業及び住民への利用促進啓発を継続して実施する。 また、今後も観光需要の取り込みを図るべく、バスマップの無償配布についても継続して実施し、併せてバスロケーションシステムの導入等により利便性の向上に取り組む。 その他、新型コロナウイルス第8・9波の影響により延期となっていた貨客混載導入可否の検討についても再度推進を図る。</p> |
| 長崎自動車株式会社 | <p>2. 秋吉～長与ニュータウンの運行</p> | <p>令和5年4月にHPをリニューアルし、観光需要の取り込みを図るべく、観光地への行先案内バスマップの作成、配布を行った。</p> | <p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p> | <p>【乗車密度】 ・目標値:3.1人(R3年度の実績値) ・R5年度実績:3.5人</p> <p>【輸送人員】 ・目標値:57,266人(R3年度の実績値+2,100人) ・R5年度実績:58,006人 ・達成率:101.3%</p> <p>【運送収入】 ・目標値:7,964,923円(R3年度の実績値+314,932円) ・R5年度実績:8,158,552円 ・達成率:103.7%</p> <p>【収支率】 ・目標値:36.12%(R3年度の実績値+1.33%) ・R5年度実績:36.7% ・達成率:101.6%</p> <p>目標を達成することができた。</p> | <p>地域公共交通計画に照らし、利用実態及びニーズに即した最適なダイヤ編成を進め、各関連機関とも連携しながら持続可能なバス路線への転換を目指し、沿線企業及び住民への利用促進啓発を継続して実施する。 また、今後も観光需要の取り込みを図るべく、バスマップの無償配布についても継続して実施し、併せてバスロケーションシステムの導入等により利便性の向上に取り組む。</p> |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月23日

協議会名:長崎県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費用庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|------------------------|--|------------------------------|---|---|
| 長崎自動車株式会社 | 3. 江平高部～百合野病院前の運行 | 令和5年4月にHPをリニューアルし、観光需要の取り込みを図るべく、観光地への行先案内バスマップの作成、配布を行った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | 【乗車密度】 ・目標値:6.3人(R3年度の実績値) ・R5年度実績:6.1人 【輸送人員】 ・目標値:166,413人(R3年度の実績値+3,100人) ・R5年度実績:149,607人 ・達成率:89.9% 【運送収入】 ・目標値:21,356,454円(R3年度の実績値+418,532円) ・R5年度実績:19,666,945円 ・達成率:92.1% 【収支率】 ・目標値:61.51%(R3年度の実績値+1.16%) ・R5年度実績:56.4% ・達成率:91.7% コロナ禍の影響に伴う生活様式の変化による輸送人員減少の影響や人口減少、燃油価格高騰等により、目標を達成できなかった。 | 地域公共交通計画に照らし、利用実態及びニーズに即した最適なダイヤ編成を進め、各関連機関とも連携しながら持続可能なバス路線への転換を目指し、沿線企業及び住民への利用促進啓発を継続して実施する。また、今後も観光需要の取り込みを図るべく、バスマップの無償配布についても継続して実施し、併せてバスロケーションシステムの導入等により利便性の向上に取り組む。 |
| | 4. 新地中華街～琴の尾登口の運行 | 令和5年4月にHPをリニューアルし、観光需要の取り込みを図るべく、観光地への行先案内バスマップの作成、配布を行った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | 【乗車密度】 ・目標値:5.2人(R3年度の実績値) ・R5年度実績:5.9人 【輸送人員】 ・目標値:128,246人(R3年度の実績値+3,900人) ・R5年度実績:121,060人 ・達成率:94.4% 【運送収入】 ・目標値:20,684,622円(R3年度の実績値+676,974円) ・R5年度実績:19,992,520円 ・達成率:96.7% 【収支率】 ・目標値:42.94%(R3年度の実績値+1.31%) ・R5年度実績:45.6% ・達成率:106.2% 乗車密度、収支率については目標を達成できた。輸送人員、運送収入についてはコロナ禍の影響に伴う生活様式の変化による輸送人員減少の影響や人口減少により、目標を達成できなかった。 | 地域公共交通計画に照らし、利用実態及びニーズに即した最適なダイヤ編成を進め、各関連機関とも連携しながら持続可能なバス路線への転換を目指し、沿線企業及び住民への利用促進啓発を継続して実施する。また、今後も観光需要の取り込みを図るべく、バスマップの無償配布についても継続して実施し、併せてバスロケーションシステムの導入等により利便性の向上に取り組む。その他、新型コロナウイルス第8・9波の影響により延期となっていた貨客混載導入可否の検討についても再度推進を図る。 |
| 西肥自動車株式会社 | 1. 佐世駅前～妙観寺トンネル～吉井間の運行 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載の他、新たにバスロケーションシステムの導入や窓口でのクレジットカード取扱を開始し利便性向上を図ることにより、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | 【輸送人員】 (目標値)80,226人(R3年度実績を維持) (R5実績値)82,343人(達成率:103.5%) 【運送収入】 (目標値)10,642,938円(R3年度実績を維持) (R5実績値)10,595,948円(達成率:99.6%) 【収支率】 (目標値)42.1%(対R3年度実績1.0%改善) (R5実績値)55.9%(達成率:132.8%) 輸送人員及び収支率に関しては、目標を達成できた。一方運送収入に関しては、路線員直しの影響により短距離利用の増加したことで減少し、目標を達成できなかった。 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載を実施することに加え、バスロケーションシステム「西肥バスナビ」の活用による利便性向上を図り、輸送人員及び経常収益の増加を目指す。 |
| | 2. 松浦駅前～平戸棧橋間の運行 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載の他、新たにバスロケーションシステムの導入や窓口でのクレジットカード取扱を開始し利便性向上を図ることにより、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | 【輸送人員】 (目標値)32,402人(R3年度実績を維持) (R5実績値)26,113人(達成率:80.6%) 【運送収入】 (目標値)9,107,499円(R3年度実績を維持) (R5実績値)7,681,241円(達成率:84.3%) 【収支率】 (目標値)27.3%(対R3年度実績1.0%改善) (R5実績値)21.6%(達成率:79.1%) 運行回数の見直しや沿線人口の減少により輸送人員が減少した影響で運送収入も減少し、また人件費等の費用も増加した影響で収支率も悪化し、各項目とも目標を達成できなかった。 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載を実施することに加え、バスロケーションシステム「西肥バスナビ」の活用による利便性向上を図り、輸送人員及び経常収益の増加を目指す。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月23日

協議会名:長崎県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|-----------------------|---|------------------------------|--|---|
| 西肥自動車株式会社 | 3. 福島支所前～伊万里駅前間の運行 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、高校入学前の時期に中学校への定期券PRチラシ配布、Googleマップへの情報掲載の他、新たにバスロケーションシステムの導入や窓口でのクレジットカード取扱を開始し利便性向上を図ることにより、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B 【輸送人員】 (目標値)30,451人(R3年度実績を維持) (R5実績値)30,229人(達成率:99.3%) 【運送収入】 (目標値)11,613,515円(R3年度実績を維持) (R5実績値)11,565,039円(達成率:99.6%) 【収支率】 (目標値)27.1%(対R3年度実績1.0%改善) (R5実績値)25.3%(達成率:93.4%) 運行回数の見直しや沿線人口の減少により輸送人員が減少した影響で運送収入も減少し、また人件費等の費用も増加した影響で収支率も悪化し、各項目とも目標を達成できなかった。 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、高校入学前の時期に中学校への定期券PRチラシ配布、Googleマップへの情報掲載を実施することに加え、バスロケーションシステム「西肥バスナビ」の活用による利便性向上を図り、輸送人員及び経常収益の増加を目指す。 |
| | 4. 内海～川棚バスセンター間の運行 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、高校入学前の時期に中学校への定期券PRチラシ配布、Googleマップへの情報掲載の他、新たにバスロケーションシステムの導入や窓口でのクレジットカード取扱を開始し利便性向上を図ることにより、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | A 【輸送人員】 (目標値)52,513人(R3年度実績を維持) (R5実績値)48,844人(達成率:93.0%) 【運送収入】 (目標値)12,902,775円(R3年度実績を維持) (R5実績値)13,416,597円(達成率:104.0%) 【収支率】 (目標値)28.3%(対R3年度実績1.0%改善) (R5実績値)33.8%(達成率:119.4%) 運送収入及び収支率に関しては、目標を達成できた。 一方、輸送人員に関しては運行回数の見直しや沿線人口の減少による影響で減少し、目標を達成できなかった。 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、高校入学前の時期に中学校への定期券PRチラシ配布、Googleマップへの情報掲載を実施することに加え、バスロケーションシステム「西肥バスナビ」の活用による利便性向上を図り、輸送人員及び経常収益の増加を目指す。 |
| | 5. 伊万里駅前～佐世保駅前間の運行 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、高校入学前の時期に中学校への定期券PRチラシ配布、Googleマップへの情報掲載の他、新たにバスロケーションシステムの導入や窓口でのクレジットカード取扱を開始し利便性向上を図ることにより、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B 【輸送人員】 (目標値)109,598人(R3年度実績を維持) (R5実績値)83,148人(達成率:75.9%) 【運送収入】 (目標値)22,616,913円(R3年度実績を維持) (R5実績値)21,102,666円(達成率:93.3%) 【収支率】 (目標値)48.1%(対R3年度実績1.0%改善) (R5実績値)47.7%(達成率:99.2%) 沿線人口の減少により輸送人員が減少した影響で運送収入も減少し、また人件費等の費用も増加した影響で収支率も悪化し、各項目とも目標を達成できなかった。 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載を実施することに加え、バスロケーションシステム「西肥バスナビ」の活用による利便性向上を図り、輸送人員及び経常収益の増加を目指す。 |
| | 6. 有川港ターミナル～葦山～青方間の運行 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、高校入学前の時期に中学校への定期券PRチラシ配布、Googleマップへの情報掲載の他、新たにバスロケーションシステムの導入や窓口でのクレジットカード取扱を開始し利便性向上を図ることにより、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B 【輸送人員】 (目標値)27,165人(対R3年度実績5.0%改善) (R5実績値)26,263人(達成率:96.7%) 【運送収入】 (目標値)5,988,566円(対R3年度実績285千円増) (R5実績値)6,281,911円(達成率:104.9%) 【収支率】 (目標値)34.0%(対R3年度実績1.0%改善) (R5実績値)33.4%(達成率:98.2%) 運送収入に関しては、目標を達成できた。 一方で、輸送人員に関しては沿線人口の減少による影響で減少し、また収支率に関しては人件費等の費用が増加した影響により悪化し、ともに目標を達成できなかった。 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、高校入学前の時期に中学校への定期券PRチラシ配布、Googleマップへの情報掲載を実施することに加え、バスロケーションシステム「西肥バスナビ」の活用による利便性向上を図り、輸送人員及び経常収益の増加を目指す。 |
| | 7. 青方循環線の運行 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、高校入学前の時期に中学校への定期券PRチラシ配布、Googleマップへの情報掲載の他、新たにバスロケーションシステムの導入や窓口でのクレジットカード取扱を開始し利便性向上を図ることにより、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B 【輸送人員】 (目標値)28,540人(対R3年度実績5.0%改善) (R5実績値)26,992人(達成率:94.6%) 【運送収入】 (目標値)5,728,867円(対R3年度実績273千円増) (R5実績値)5,389,103円(達成率:94.1%) 【収支率】 (目標値)24.4%(対R3年度実績1.0%改善) (R5実績値)20.6%(達成率:84.4%) 沿線人口の減少により輸送人員が減少した影響で運送収入も減少し、また人件費等の費用も増加した影響で収支率も悪化し、各項目とも目標を達成できなかった。 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、高校入学前の時期に中学校への定期券PRチラシ配布、Googleマップへの情報掲載を実施することに加え、バスロケーションシステム「西肥バスナビ」の活用による利便性向上を図り、輸送人員及び経常収益の増加を目指す。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月23日

協議会名:長崎県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|--------------------------|---|------------------------------|--|---|
| 西肥自動車株式会社 | 8. 佐々バスセンター～楠泊～江迎間の運行 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載の他、新たにバスロケーションシステムの導入や窓口でのクレジットカード取扱を開始し利便性向上を図るにより、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B 【輸送人員】 (目標値)116,960人(R3年度実績を維持) (R5実績値)88,442人(達成率:75.6%) 【運送収入】 (目標値)26,693,758円(R3年度実績を維持) (R5実績値)21,124,952円(達成率:79.1%) 【収支率】 (目標値)36.4%(対R3年度実績1.0%改善) (R5実績値)37.1%(達成率:101.9%) 収支率に関しては、目標を達成できた。 一方、輸送人員や運送収入に関しては、運行回数の見直しや沿線人口の減少の影響により、目標を達成できなかった。 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載を実施することに加え、バスロケーションシステム「西肥バスナビ」の活用による利便性向上を図り、輸送人員及び経常収益の増加を目指す。 |
| | 9. 嬉野～三川内～佐世保駅前間の運行 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、高校入学前の時期に中学校への定期券PRチラシ配布、Googleマップへの情報掲載の他、新たにバスロケーションシステムの導入や窓口でのクレジットカード取扱を開始し利便性向上を図るにより、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | A 【輸送人員】 (目標値)72,536人(運行回数50%減に伴い、対R3年度実績45.0%減) (R5実績値)65,050人(達成率:89.7%) 【運送収入】 (目標値)19,610,636円(運行回数50%減に伴い、対R3年度実績45.0%減) (R5実績値)21,260,796円(達成率:108.4%) 【収支率】 (目標値)59.6%(対R3年度実績1.0%改善) (R5実績値)62.6%(達成率:105.0%) 運送収入及び収支率に関しては、目標を達成できた。 一方、輸送人員に関しては、運行回数の見直しや沿線人口の減少の影響により、目標を達成できなかった。 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、高校入学前の時期に中学校への定期券PRチラシ配布、Googleマップへの情報掲載を実施することに加え、バスロケーションシステム「西肥バスナビ」の活用による利便性向上を図り、輸送人員及び経常収益の増加を目指す。 |
| | 10. 平戸口駅～平戸高校間の運行 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、高校入学前の時期に中学校への定期券PRチラシ配布、Googleマップへの情報掲載の他、新たにバスロケーションシステムの導入や窓口でのクレジットカード取扱を開始し利便性向上を図るにより、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | A 【輸送人員】 (目標値)54,816人(R3年度実績を維持) (R5実績値)58,445人(達成率:106.6%) 【運送収入】 (目標値)19,680,129円(R3年度実績を維持) (R5実績値)21,640,598円(達成率:110.0%) 【収支率】 (目標値)35.5%(対R3年度実績1.0%改善) (R5実績値)40.7%(達成率:114.6%) 各項目とも、目標を達成できた。 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、高校入学前の時期に中学校への定期券PRチラシ配布、Googleマップへの情報掲載を実施することに加え、バスロケーションシステム「西肥バスナビ」の活用による利便性向上を図り、輸送人員及び経常収益の増加を目指す。 |
| | 11. 佐世保駅前～牧の地～菰田～世知原間の運行 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載の他、新たにバスロケーションシステムの導入や窓口でのクレジットカード取扱を開始し利便性向上を図るにより、輸送人員及び経常収益の増加を図った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | A 【輸送人員】 (目標値)53,743人(R3年度実績を維持) (R5実績値)67,028人(達成率:124.7%) 【運送収入】 (目標値)9,244,483円(R3年度実績を維持) (R5実績値)11,317,975円(達成率:122.4%) 【収支率】 (目標値)43.5%(対R3年度実績1.0%改善) (R5実績値)40.6%(達成率:93.3%) 輸送人員、運送収入に関しては、目標を達成できた。 一方、収支率に関しては、人件費等の費用が増加した影響により悪化し、目標を達成できなかった。 | 関係市町と連携し、地区別時刻表作成・配布、Googleマップへの情報掲載を実施することに加え、バスロケーションシステム「西肥バスナビ」の活用による利便性向上を図り、輸送人員及び経常収益の増加を目指す。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月23日

協議会名:長崎県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|---------------|--|------------------------------|--|--|
| 島原鉄道株式会社 | 1. 島原駅～加津佐の運行 | 前回と同様に、沿線人口の増減率に輸送人員数を乗じた値を目標として取り組んだ。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | 【輸送人員】 ・目標値:86,530人(R3年度実績 2.8%改善) ・R5年度実績:99,045人 ・達成率:114.5% 【運送収入】 ・目標値:20,474,487円(R3年度実績+520,000円) ・R5年度実績:21,264,266円 ・達成率:103.9% 【収支率】 ・目標値:67.5%(R3年度の実績値+1.6%) ・R4年度実績:68.6% ・達成率101.6% 目標を達成できた。 | 企画乗車券(ShimatetsuFreePass、しまてつスきっぷ、シルバー割引定期券など)の拡販に努める。また、深刻な乗務員不足ではあるが、できる限り沿線の他系統との運行効率化を図るため、系統の再編を検討する。 |
| 島原鉄道株式会社 | 2. 諫早駅～雲仙の運行 | 前回と同様に、沿線人口の増減率に輸送人員数を乗じた値を目標として取り組んだ。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | 【輸送人員】 ・目標値:84,807人(R3年度実績4.1%改善) ・R5年度実績:163,601人 ・達成率:192.9% 【運送収入】 ・目標値:19,522,500円(R3年度実績+770,000円) ・R5年度実績:43,706,109円 ・達成率:223.9% 【収支率】 ・目標値:45.1%(R3年度の実績値+1.8%) ・R5年度実績:56.6% ・達成率125.5% 目標を達成できた。 運行回数 R3(6.1回)、R5(10.0回) | 企画乗車券(ShimatetsuFreePass、しまてつスきっぷ、シルバー割引定期券など)の拡販に努める。また、深刻な乗務員不足ではあるが、できる限り沿線の他系統との運行効率化を図るため、系統の再編を検討する。 |
| 島原鉄道株式会社 | 3. 青雲荘～島原駅の運行 | 前回と同様に、沿線人口の増減率に輸送人員数を乗じた値を目標として取り組んだ。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | 【輸送人員】 ・目標値:39,626人(R3年度実績 4.6%改善) ・R5年度実績:79,329人 ・達成率:200.2% 【運送収入】 ・目標値:7,792,143円(R3年度実績+350,000円) ・R5年度実績:16,290,786円 ・達成率:209.1% 【収支率】 ・目標値:31.9%(R3年度の実績値+1.3%) ・R5年度実績:35.9% ・達成率112.5% 目標を達成できた。 運行回数 R3(6.2回)、R5(10.6回) | 企画乗車券(ShimatetsuFreePass、しまてつスきっぷ、シルバー割引定期券など)の拡販に努める。また、深刻な乗務員不足ではあるが、できる限り沿線の他系統との運行効率化を図るため、系統の再編を検討する。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月23日

協議会名:長崎県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-------------------|--|---|-------------------------------------|---|--|
| <p>島原鉄道株式会社</p> | <p>4. 諫早駅～口之津の運行</p> | <p>前回と同様に、沿線人口の増減率に輸送人員数を乗じた値を目標として取り組んだ。</p> | <p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p> | <p>【輸送人員】 ・目標値:138,946人(R3年度実績 2.9%改善) ・R5年度実績:237,886人 ・達成率:171.2% 【運送収入】 ・目標値:32,490,847円(R3年度実績+930,000円) ・R5年度実績:58,161,280円 ・達成率:179.0% 【収支率】 ・目標値:55.5%(R3年度の実績値+1.5%) ・R5年度実績:61.8% ・達成率:111.4% 目標を達成できた。 運行回数 R3(6.8回)、R5(10.1回)</p> | <p>企画乗車券(ShimatetsuFreePass、しまてつきっぷ、シルバー割引定期券など)の拡販に努める。また、深刻な乗務員不足ではあるが、できる限り沿線の他系統との運行効率化を図るため、系統の再編を検討する。</p> |
| <p>さいかい交通株式会社</p> | <p>板の浦～神の浦～桜の里ターミナルの運行</p> | <p>各ダイヤ改正において、広報誌を活用した西海市内及び長崎市外海地区全世帯への時刻表配布や西海市教育委員会と連携した西海市内全小中学校及び一部の高校生徒の通学定期券販売・更新において車載器更新運用を開始するほか、親会社、長崎自動車株式会社ホームページ(時刻検索)への乗継検索システム導入等による利用促進を図った。</p> | <p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p> | <p>【乗車密度】 ・目標値:3.4人(R3年度の実績値) ・R5年度実績:3.8人 【利用人員】 ・目標値:89,537人(R3年度の実績値+1,526人) ・R5年度実績:93,944人 ・達成率:104.9% 【運送収入】 ・目標値:22,275,807円(R3年度の実績値+382,998円) ・R5年度実績:24,949,170円 ・達成率:112.0% 【収支率】 ・目標値:58.8%(R3年度の実績値+1.0%) ・R5年度実績:58.8% 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。</p> | <p>グループ会社と連携した新企画乗車券の開発について継続検討するほか、沿線の世界遺産を訪れる観光客の一層の利便向上を図る為、バスロケーションシステムを導入する。(予定) また現状の運転者不足や2024年問題に対応する為にも、地元利用者のニーズや利用実態変化の把握に努め、ダイヤ改正時には運行便数の減便等による技術的な運行ダイヤ編成による必要人員の抑制並びに拘束時間短縮等の改善に取り組み、併せて収支改善に努める。</p> |
| <p>五島自動車株式会社</p> | <p>1. 福江～水之浦～三井楽の運行 令和元年度車両1両を購入</p> | <p>フリー乗車券の広報・PR活動の取り組みに加え、企画乗車券の販売、高齢者フリーバスの販売により、輸送人員の確保に取り組んだ。</p> | <p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p> | <p>【乗車密度】 ・目標値:3.0人(R3年度の実績値以上) ・R5年度実績:3.1人 【利用人員】 ・目標値:125,206人(R3年度の実績123,967人×101%) ・R5年度実績:116,060人 ・達成率:92.6% 【運送収入】 ・目標値:24,717,562円(R3年度の実績24,417,562円×101%) ・R5年度実績:23,895,026円 ・達成率:96.6% 【収支率】 ・目標値:53.0%(R3年度の実績52%+1%) ・R4年度実績:50.6% ・達成率:95.5% 利用人員、運送収入については、人口減少による輸送人員の減少により目標を達成できなかった。 収支率については、全系統の総実車キロが減少したことにより、キロ当たりの経常費用が増加したため目標を達成できなかった。</p> | <p>企画乗車券の広報・PR活動の取り組みに加え、高齢者フリー乗車券の販売継続により、利用者の拡大を図る。 また、休日、年末年始のダイヤを見直し、更なる効率的なダイヤ編成をすることにより、経費の圧縮を図り、収支率の改善を目指す。</p> |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月23日

協議会名:長崎県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費用庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|--------------------------------|--|------------------------------|---|---|
| 五島自動車株式会社 | 2. 福江～大浜～富江の運行 令和元年度車両1両を購入 | フリー乗車券の広報・PR活動の取り組みに加え、企画乗車券の販売、高齢者フリーバスの販売により、輸送人員の確保に取り組んだ。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B 【乗車密度】 ・目標値:2.6人(R3年度の実績値以上) ・R5年度実績:2.8人 【利用人員】 ・目標値:47,781人(R3年度の実績47,308人×101%) ・R5年度実績:44,834人 ・達成率:93.8% 【運送収入】 ・目標値:14,425,776円(R3年度の実績14,225,776円×101%) ・R5年度実績:12,737,951円 ・達成率:88.2% 【収支率】 ・目標値:56.0%(R3年度の実績55%+1%) ・R5年度実績:55.4% ・達成率:98.9% 利用人員、運送収入については、人口減少による輸送人員の減少により目標を達成できなかった。 収支率については、全系統の総実車キロが減少したことにより、キロ当たりの経常費用が増加したため目標を達成できなかった。 | 企画乗車券の広報・PR活動の取り組みに加え、高齢者フリー乗車券の販売継続により、利用者の拡大を図る。 また、休日、年末年始のダイヤを見直し、更なる効率的なダイヤ編成をすることにより、経費の圧縮を図り、収支率の改善を目指す。 |
| 宮岐交通株式会社 | 1. 郷ノ浦～勝本・芦辺～郷ノ浦の運行 | *3月に各高校へ出向き、新入生や父兄へ定期券についての説明や時刻表等のチラシを配布した。 *1日フリー乗車券の販売増のため、HPへの掲載や各車両へのチラシの貼付などを行った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B 【輸送人員】 ・目標値:60,942人(R3年度実績60,339人+1%) ・R5年度実績:70,451人 ・達成率115.6% 【運送収入】 ・目標値:20,070,332円(R3年度実績20,020,281円+0.25%)、(費用で80万円削減) ・R5年度実績:19,877,747円 ・達成率:99.0% 【収支率】 ・目標値62.7%(R3年実績61.3%+1.4%) ・R5年実績55.4% ・達成率88.4% 輸送人員は目標達成出来たが収入面では高校の生徒数の減少により達成できなかった。 | コロナの規制緩和により島外からの輸送人員増加に伴いフリー乗車券も増加しましたが、島内の人口減少で定期券等が減少傾向にあるため今後も通学定期券は若岐市と連携し、1日フリー乗車券は島内及び観光客、仕事での来島者に向けてのHP、車両内外にラッピング等PR強化を図り増収に繋がるよう社内協議を行う。 |
| 宮岐交通株式会社 | 2. 郷ノ浦～湯本～勝本・天ヶ原の運行 | *3月に各高校へ出向き、新入生や父兄へ定期券についての説明や時刻表等のチラシを配布した。 *1日フリー乗車券の販売増のため、HPへの掲載や各車両へのチラシの貼付などを行った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B 【輸送人員】 ・目標値:34,506人(R3年度の実績値+1%) ・R5年度実績39,076人 ・達成率113.2% 【運送収入】 ・目標値:14,195,402円(R3年度実績14,160,002円+0.25%)、(費用で40万円削減) ・R5年度実績:13,806,229円 ・達成率:97.3% 【収支率】 ・目標値64.5%(R3年実績63.4%+1.1%) ・R5年実績56.6% ・達成率87.8% 輸送人員は目標達成出来たが収入面では高校の生徒数の減少により達成できなかった。 | コロナの規制緩和により島外からの輸送人員増加に伴いフリー乗車券も増加しましたが、島内の人口減少で定期券等が減少傾向にあるため今後も通学定期券は若岐市と連携し、1日フリー乗車券は島内及び観光客、仕事での来島者に向けてのHP、車両内外にラッピング等PR強化を図り増収に繋がるよう社内協議を行う。 |
| 対馬交通株式会社 | 1. 厳原～鶏知～対馬病院の運行 | 便毎の利用客の状況(利用時間、目的地)を分析し、通院、通学、韓国旅行者の利用目的のしやすい時刻、他の路線から乗り継ぎが出来るよう時刻の見直しを行った。 | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | A 【輸送人員】 ・目標値:66,273人(R3年度実績値の100.57%) ・R5年度実績:67,662人 ・達成率:102.10% 【運送収入】 ・目標値:15,412,409円(R3年度実績値の106.48%) ・R5年度実績:15,786,138円 ・達成率:102.42% 【収支率】 ・目標値:43.05%(R3年度の実績値+1.59%) ・R5年度実績:45.17% ・達成率:104.92% 輸送人員及、運送収入、収支率ともに目標値及びR3年度実績いずれも上回る事ができた。 | *調査結果に基づき、時間ごとの利用目的、集中する時間帯などダイヤの見直しを行うことにより、通院以外で利用客増を図る。 *外部情報サイトGoogleマップ、NAVITIME等への情報掲載、新たに路線マップを作成し国内外旅行者も利用しやすいよう努め増収を図る。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月23日

協議会名:長崎県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費用庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|------------|--------------------------|--|------------------------------|---|--|
| 対馬交通株式会社 | 2. 対馬病院～空港・仁位～国際ターミナルの運行 | <p>国際ターミナルからの始発便が遅延した場合、航空便の利用が出来ない状態となっていた。関係者と協議をし、事前に連絡を入れることにより航空便利用が出来よう改善を行った。</p> <p>また、高速船が再開され対馬観光物産協会カウンターにて、1日フリーパス券(韓国語表記)の販売を委託するとともに、韓国人向けパンフレットへの時刻表掲載等を依頼及び自社ホームページ内に韓国語標記も掲載し販売促進を行った。</p> | A:事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【輸送人員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値:95,240人(R3年度実績値の100.57%) ・R5年度実績:98,206人 ・達成率:103.11% <p>【運送収入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値:23,096,817円(R3年度実績値の109.25%) ・R5年度実績:25,114,383円 ・達成率:108.74% <p>【収支率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値:31.00%(R3年度の実績値+1.46%) ・R5年度実績:35.17% ・達成率:113.45% <p>輸送人員、運送収入、収支率ともに目標値及びR3年度実績いずれも上回る事ができた。</p> | <p>・外部情報サイトGoogleマップ、NAVITIME等への情報掲載、新たに路線マップを作成し国内外旅行者も利用しやすいよう努め増収を図る。</p> <p>・高速船が再開され始発で満車に近い状態となっており、優先席へハングル表記掲載を行い適院利用を控えることがないよう努める。</p> |
| 生月自動車(株) | 平戸高校線の運行 | <p>・春日・高越・獅子地区住民に対する市補助制度の広告をバス車内・標柱に掲示。</p> <p>・R3年11月に住民希望により、上下線各1便の発着時間を変更した事により、輸送人員は若干増加した。</p> <p>・最終便は学休日ダイヤにより学校が休みの場合は運休としているが、学休日のほか定期検査期間のため午前就業終了時、部活動がない日などは予め学校から予定表を取得し、バス車内に学休日ダイヤの日程を掲示し、燃料費・人件費節減に努めた。</p> | A:事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【輸送人員】 目標:6,150人 (R3実績5,864人×105%) ⇒達成率:7,130人(115.9%)</p> <p>【運送収入】目標:2,640,000円 (R3実績2,514,380円×105%) ⇒達成率:2,475,340円(93.7%)</p> <p>【収支率】 目標:18.8% (R3年実績17.8%×101%) ⇒達成率:16.3%(86.7%)</p> <p>・輸送人員は増えたものの運送収入・収支率において目標を達成する事ができなかった。要因として、燃料の高騰化、バスの老朽化による修繕費また人件費など経費が大きく増えたことにより、収支率の目標達成を下回る事となった。</p> | <p>・過疎化・少子化は年々すすみ、通学定期券収入も年々減少している。燃料節約のため、学生のための乗車となる最終便に関しては、部活動休止となる日程は学休日ダイヤでの運行など経費節減にも努力しているところではあるが、なかなか成果として現れない状況。</p> <p>・春日・高越・獅子地区住民に対して市からの交通助成のアピールの強化。</p> <p>・R6年4月より実施予定で運賃改正申請中。</p> |
| JR九州バス株式会社 | 彼杵～嬉野温泉駅～武雄温泉駅の運行 | <p>・2022年9月20日にICカード「nimoca」を導入した。</p> <p>・行先表示機に上りと下りを分けた行先番号を表示させ、目的地を代表するイメージのイラストを追加した。</p> <p>・観光地のあるバス停にアルファベットと目的地を代表するイメージのイラストを追加し、観光地の特色を生かしたバス停のイメージカラーに一新した。</p> <p>・2022年9月23日に西九州新幹線への接続を考慮したダイヤに改正を行った。</p> <p>・公共交通イベントに積極的に参加し、「かぶきフリーきっぷ」のチラシをイベント参加者に配布した。</p> <p>・nimoca利用ガイド及び時刻表を掲載したリーフレットを武雄市東川登町と西川登町世帯、嬉野沿線地区世帯、東彼杵町沿線地区世帯に全戸配布した。</p> | A:事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | <p>【輸送人員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値:32,538人(R3年度の実績値+4,869人) ・R5年度実績:35,981人 ・達成率:110.5% <p>【経常収益】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値:19,285,008円(R3年度の実績値-1,357,479円) ・R5年度実績:17,927,529円 ・達成率:92.9% <p>【収支率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値:36.0%(R3年度の実績値+1%) ・R5年度実績:29.6% ・達成率:82.2% <p>運送収入、輸送人員は増加したが、令和3年度を基準として目標を設定しており、支援金等が含まれているため、経常収益、収支率については達成できなかった。</p> | <p>新型コロナウイルスが落ち着き、輸送人員は増加しているものの、輸送人員が年々減少している路線であり、利用促進の広報活動を今後も継続していく。また、地元利用客はもとより観光客の移動手段としての交通網として、新幹線との接続等事業者と沿線自治体が一体となって検討していく。</p> |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|----------------|--|--------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|---|--------------------|--|-------------------------|
| | | | ③前回(又は類似事業)の事業 評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・効果 達成状況 | ⑥事業の今 後の改善点 | 評価結果 | |
| 熊本県バス 対策協議会 | 熊本バス(株) 産交バス(株) 熊本電気鉄道(株) 西鉄バス大牟田(株) 南国交通(株) | 34系統 ※詳細は別添 一次評価のと おり | 別添一次評価の とおり | A評価:11系統 B評価:23系統 C評価:0系統 | A評価:26系統 B評価:6系統 C評価:2系統 【参考:前年度】 A評価:17系統 B評価:13系統 C評価:4系統 | 別添一次評価 の とおり | <p>コロナの影響が残る中、また人手不足の影響が大きくなる中においても、バスの乗り方教室の開催や沿線市町村と連携した路線図・時刻表の作成・配布等による広報活動等利用促進に取り組まれていること、利用実態に応じた運行回数、ダイヤ及び運行系統の見直しなどにより運行の効率化に取り組まれていることを評価します。</p> <p>目標達成に向けた今回の取組みについては、具体的な取組みの結果やその効果に加え、工夫した内容などについても記録されると、より効果的な改善につながるものと思慮されます。</p> <p>目標を達成できた系統と達成できていない系統がありますが、それぞれの要因について分析し、評価書に記録することは重要です。多くの系統において人口減少やコロナ・燃料高騰の影響を受けていますが、地域の実情を考慮のうえ、その他に原因がないかどうかについても分析し、その他要因への改善点を検討いただくと、より効果的な改善につながることを期待されます。</p> <p>さらに、目標を達成できた系統、要因の分析や取組みの改善が良くできている系統については、他系統においても参考・活用されることを期待します。</p> <p>今後は、アフターコロナを見据えた目標設定や評価指標の見直しも検討いただきながら、県と市町村が連携を図り事業者や住民と共に地域の生活交通の実情のニーズを的確に把握しつつ、地域の特性・実情に最適な交通手段が確保・維持されることを期待します。</p> | 評価指標 【一日当たり 輸送人員】 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月22日

協議会名: 熊本県地域公共交通協議会

評価対象事業名: 令和5年度地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------|----------|---|---------------------|-----------------------------|--|
| 熊本バス(株) | 1 直行線 | 現状に即したダイヤ及び運行時刻の検討・見直しを図った。また関係自治体と連携し、日常使いや観光目的等バス利用に関する広報・周知活動及びバスの乗り方教室を行い利便性向上に努めた。 | A 計画どおり事業は適切に実施された。 | A 目標25.6人/日に対して32.3人/日であった。 | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、観光目的等、日常使い以外の利用方法についても広報活動を行っていく。 |
| 熊本バス(株) | 2 砥用線 | 現状に即したダイヤ及び運行時刻の検討・見直しを図った。また関係自治体と連携し、日常使いや観光目的等バス利用に関する広報・周知活動及びバスの乗り方教室を行い利便性向上に努めた。 | A 計画どおり事業は適切に実施された。 | A 目標19.1人/日に対して25.6人/日であった。 | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、観光目的等、日常使い以外の利用方法についても広報活動を行っていく。 |
| 熊本バス(株) | 3 辺場・甲佐線 | 現状に即したダイヤ及び運行時刻の検討・見直しを図った。また関係自治体と連携し、日常使いや観光目的等バス利用に関する広報・周知活動及びバスの乗り方教室を行い利便性向上に努めた。 | A 計画どおり事業は適切に実施された。 | A 目標18.9人/日に対して23.7人/日であった。 | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、観光目的等、日常使い以外の利用方法についても広報活動を行っていく。 |
| 熊本バス(株) | 4 御船・甲佐線 | 現状に即したダイヤ及び運行時刻の検討・見直しを図った。また関係自治体と連携し、日常使いや観光目的等バス利用に関する広報・周知活動及びバスの乗り方教室を行い利便性向上に努めた。 | A 計画どおり事業は適切に実施された。 | A 目標29.6人/日に対して36.4人/日であった。 | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、観光目的等、日常使い以外の利用方法についても広報活動を行っていく。 |

| 目標 (人/日) | 実績 (人/日) | 達成率 (%) |
|-------------|-------------|------------|
| 25.6 | 32.3 | 126.2 |
| 19.1 | 25.6 | 134.0 |
| 18.9 | 23.7 | 125.4 |
| 29.6 | 36.4 | 123.0 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | | ⑤目標・効果達成状況 | | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) | | | | |
|-----------|-----------|---|-----------|---|------------|--|--|---|------|------|-------|
| 熊本バス(株) | 5 健軍・砥用線 | 現状に即したダイヤ及び運行時刻の検討・見直しを図った。また関係自治体と連携し、日常使いや観光目的等バス利用に関する広報・周知活動及びバスの乗り方教室を行い利便性向上に努めた。 | A | 計画どおり事業は適切に実施された。 | A | 目標17.7人/日に対して20.5人/日であった。 | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、観光目的等、日常使い以外の利用方法についても広報活動を行っていく。 | 5 | 17.7 | 20.5 | 115.8 |
| 熊本バス(株) | 6 健軍線 | 現状に即したダイヤ及び運行時刻の検討・見直しを図った。また関係自治体と連携し、日常使いや観光目的等バス利用に関する広報・周知活動及びバスの乗り方教室を行い利便性向上に努めた。 | A | 計画どおり事業は適切に実施された。 | B | 目標45.5人/日に対して42.7人/日であった。目標を下回った要因として、ダイヤ改正により、利用者が減少したことが考えられる。 | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、観光目的等、日常使い以外の利用方法についても広報活動を行っていく。 | 6 | 45.5 | 42.7 | 93.8 |
| 熊本バス(株) | 7 健軍・イオン線 | 現状に即したダイヤ及び運行時刻の検討・見直しを図った。また、関係自治体と連携し、日常使いや観光目的等バス利用に関する広報・周知活動を行い利便性向上に努めた。 | B | 利用促進イベントが開催できなかったため、事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。 | A | 目標15.0人/日に対して23.5人/日であった。 | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、観光目的等、日常使い以外の利用方法についても広報活動を行っていく。 | 7 | 15.0 | 23.5 | 156.7 |
| 熊本バス(株) | 8 宇土線 | 現状に即したダイヤ及び運行時刻の検討・見直しを図った。また、関係自治体と連携し、日常使いや観光目的等バス利用に関する広報・周知活動を行い利便性向上に努めた。 | B | 利用促進イベントが開催できなかったため、事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。 | A | 目標15.0人/日に対して17.1人/日であった。 | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、観光目的等、日常使い以外の利用方法についても広報活動を行っていく。 | 8 | 15.0 | 17.1 | 114.0 |
| 熊本バス(株) | 9 松橋線 | 現状に即したダイヤ及び運行時刻の検討・見直しを図った。また、関係自治体と連携し、日常使いや観光目的等バス利用に関する広報・周知活動を行い利便性向上に努めた。 | B | 利用促進イベントが開催できなかったため、事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。 | A | 目標15.0人/日に対して22.0人/日であった。 | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、観光目的等、日常使い以外の利用方法についても広報活動を行っていく。 | 9 | 15.0 | 22.0 | 146.7 |

| 目標 (人/日) | 実績 (人/日) | 達成率 (%) |
|-------------|-------------|------------|
|-------------|-------------|------------|

| | | |
|------|------|-------|
| 17.7 | 20.5 | 115.8 |
|------|------|-------|

| | | |
|------|------|------|
| 45.5 | 42.7 | 93.8 |
|------|------|------|

| | | |
|------|------|-------|
| 15.0 | 23.5 | 156.7 |
|------|------|-------|

| | | |
|------|------|-------|
| 15.0 | 17.1 | 114.0 |
|------|------|-------|

| | | |
|------|------|-------|
| 15.0 | 22.0 | 146.7 |
|------|------|-------|

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) |
|-----------|-------------|---|--|--------------------------------|--|
| 熊本バス(株) | 10 画図線 | 現状に即したダイヤ及び運行時刻の検討・見直しを図った。また、関係自治体と連携し、日常使いや観光目的等バス利用に関する広報・周知活動を行い利便性向上に努めた。 | B 利用促進イベントが開催できなかったため、事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。 | A 目標15.0人/日に対して21.9人/日であった。 | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、観光目的等、日常使い以外の利用方法についても広報活動を行っていく。 |
| 熊本バス(株) | 11 乙女線 | 現状に即したダイヤ及び運行時刻の検討・見直しを図った。また関係自治体と連携し、日常使いや観光目的等バス利用に関する広報・周知活動及びバスの乗り方教室を行い利便性向上に努めた。 | A 計画どおり事業は適切に実施された。 | A 目標20.4人/日に対して24.8人/日であった。 | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、観光目的等、日常使い以外の利用方法についても広報活動を行っていく。 |
| 熊本バス(株) | 12 中病・イオン線 | 現状に即したダイヤ及び運行時刻の検討・見直しを図った。また、関係自治体と連携し、日常使いや観光目的等バス利用に関する広報・周知活動を行い利便性向上に努めた。 | B 利用促進イベントが開催できなかったため、事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。 | A 目標42.2人/日に対して49.0人/日であった。 | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、観光目的等、日常使い以外の利用方法についても広報活動を行っていく。 |
| 熊本バス(株) | 13 江津・イオン線 | 現状に即したダイヤ及び運行時刻の検討・見直しを図った。また、関係自治体と連携し、日常使いや観光目的等バス利用に関する広報・周知活動を行い利便性向上に努めた。 | B 利用促進イベントが開催できなかったため、事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。 | A 目標39.2人/日に対して53.5人/日であった。 | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、観光目的等、日常使い以外の利用方法についても広報活動を行っていく。 |
| 熊本バス(株) | 14 セイラ・イオン線 | 現状に即したダイヤ及び運行時刻の検討・見直しを図った。また、関係自治体と連携し、日常使いや観光目的等バス利用に関する広報・周知活動を行い利便性向上に努めた。 | B 利用促進イベントが開催できなかったため、事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。 | A 目標36.0人/日に対して53.0人/日であった。 | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、観光目的等、日常使い以外の利用方法についても広報活動を行っていく。 |

| 目標 (人/日) | 実績 (人/日) | 達成率 (%) |
|-------------|-------------|------------|
|-------------|-------------|------------|

| | | | |
|----|------|------|-------|
| 10 | 15.0 | 21.9 | 146.0 |
|----|------|------|-------|

| | | | |
|----|------|------|-------|
| 11 | 20.4 | 24.8 | 121.6 |
|----|------|------|-------|

| | | | |
|----|------|------|-------|
| 12 | 42.2 | 49.0 | 116.1 |
|----|------|------|-------|

| | | | |
|----|------|------|-------|
| 13 | 39.2 | 53.5 | 136.5 |
|----|------|------|-------|

| | | | |
|----|------|------|-------|
| 14 | 36.0 | 53.0 | 147.2 |
|----|------|------|-------|

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) |
|-----------|----------------------|--|-----------|---|--------------------------------|--|
| 熊本バス(株) | 15 城南・志導寺線 | 現状に即したダイヤ及び運行時刻の検討・見直しを図った。また、関係自治体と連携し、日常使いや観光目的等バス利用に関する広報・周知活動を行い利便性向上に努めた。 | B | 利用促進イベントが開催できなかったため、事業が計画に位置づけられたとおりに実施できていない点があった。 | A 目標15.0人/日に対して19.4人/日であった。 | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、観光目的等、日常使い以外の利用方法についても広報活動を行っていく。 |
| 熊本バス(株) | 16 健軍電停・イオン線 | 現状に即したダイヤ及び運行時刻の検討・見直しを図った。また、関係自治体と連携し、日常使いや観光目的等バス利用に関する広報・周知活動を行い利便性向上に努めた。 | B | 利用促進イベントが開催できなかったため、事業が計画に位置づけられたとおりに実施できていない点があった。 | A 目標15.3人/日に対して19.4人/日であった。 | 引き続き関係自治体と連携した乗り方教室等の利用促進を図り、観光目的等、日常使い以外の利用方法についても広報活動を行っていく。 |
| 産交バス(株) | 1 健軍・東無田經由 熊本・御船線 | 利用促進活動として御船町と交通事業者合同でイベントに併せてバスの乗り方教室を実施した。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | A 目標15.0人/日に対して18.0人/日であった。 | 生活交通のみならず、観光利用も含めたPR活動を行い、地域での乗り方教室等の広報活動を実施する。 |
| 産交バス(株) | 2 河内經由 熊本・小天線 | 観光利用も含めたPR活動や、乗り方教室の実施については乗務員不足の影響もあり、実施に至らなかった。 | B | 乗務員不足の影響により、一部事業の実施が困難だった。 | A 目標37.1人/日に対して42.5人/日であった。 | 生活交通のみならず、観光利用も含めたPR活動を行い、地域での乗り方教室等の広報活動を実施する。 |
| 産交バス(株) | 3 植木・大倉經由 熊本・玉名線 | 利便性向上を目的に他交通モードとの接続を図るよう努めた観光利用も含めたPR活動や、乗り方教室の実施については乗務員不足の影響もあり、実施に至らなかった。 | B | 乗務員不足の影響により、一部事業の実施が困難だった。 | A 目標18.4人/日に対して19.6人/日であった。 | 生活交通のみならず、観光利用も含めたPR活動を行い、地域での乗り方教室等の広報活動を実施する。 |

| 目標 (人/日) | 実績 (人/日) | 達成率 (%) |
|-------------|-------------|------------|
|-------------|-------------|------------|

| | | | |
|----|------|------|-------|
| 15 | 15.0 | 19.4 | 129.3 |
|----|------|------|-------|

| | | | |
|----|------|------|-------|
| 16 | 15.3 | 19.4 | 126.8 |
|----|------|------|-------|

| | | | |
|----|------|------|-------|
| 17 | 15.0 | 18.0 | 120.0 |
|----|------|------|-------|

| | | | |
|----|------|------|-------|
| 18 | 37.1 | 42.5 | 114.6 |
|----|------|------|-------|

| | | | |
|----|------|------|-------|
| 19 | 18.4 | 19.6 | 106.5 |
|----|------|------|-------|

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | | ⑤目標・効果達成状況 | | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) | 目標 (人/日) 実績 (人/日) 達成率 (%) | | | |
|-----------|------------------------|---|-----------|------------------------------------|------------|-------------------------------|--|---------------------------|------|------|-------|
| | | | | | | | | | | | |
| 産交バス(株) | 4 菊池經由 山鹿・大津線 | 観光利用も含めたPR活動や、 乗り方教室の実施については 乗務員不足の影響もあり、実 施に至らなかった。 | B | 乗務員不足の影響により、 一部事業の実施が困難 だった。 | A | 目標24.4人/日に対して26.5 人/日であった。 | 生活交通のみならず、観光利 用も含めたPR活動を行い、地 域での乗り方教室等の広報活 動を実施する。 | 20 | 24.4 | 26.5 | 108.6 |
| 産交バス(株) | 5 手野・二江經由 本渡・富岡線 | 島内方面別の時刻表を作成・ 配布し、周知活動を行った。観 光利用も含めたPR活動や、乗 り方教室の実施については乗 務員不足の影響もあり、実施 に至らなかった。 | B | 乗務員不足の影響により、 一部事業の実施が困難 だった。 | A | 目標19.5人/日に対して24.1 人/日であった。 | 生活交通のみならず、観光利 用も含めたPR活動を行い、地 域での乗り方教室等の広報活 動を実施する。 | 21 | 19.5 | 24.1 | 123.6 |
| 産交バス(株) | 6 労働庁舎經由 本渡・鬼池線 | 島内方面別の時刻表を作成・ 配布し、周知活動を行った。観 光利用も含めたPR活動や、乗 り方教室の実施については乗 務員不足の影響もあり、実施 に至らなかった。 | B | 乗務員不足の影響により、 一部事業の実施が困難 だった。 | C | 目標15.0人/日に対して7.5 人/日であった。 | 生活交通のみならず、観光利 用も含めたPR活動を行い、地 域での乗り方教室等の広報活 動を実施する。4月に経路・便 数など見直しを行ったが、利 用状況を見ながら沿線市と継続 して協議を行っていく。 | 22 | 15.0 | 7.5 | 50.0 |
| 産交バス(株) | 7 一町田中央・久玉經由 本渡・牛深線 | 島内方面別の時刻表を作成・ 配布し、周知活動を行った。観 光利用も含めたPR活動や、乗 り方教室の実施については乗 務員不足の影響もあり、実施 に至らなかった。 | B | 乗務員不足の影響により、 一部事業の実施が困難 だった。 | B | 目標15.0人/日に対して13.8 人/日であった。 | 生活交通のみならず、観光利 用も含めたPR活動を行い、地 域での乗り方教室等の広報活 動を実施する。 | 23 | 15.0 | 13.8 | 92.0 |
| 産交バス(株) | 8 桜山經由 玉名市役所・荒尾線 | 利用促進活動として、荒尾市 域の幼稚園に出向き、バスの 乗り方教室を実施した。 | A | 計画通り事業は適切に実 施された。 | B | 目標29.7人/日に対して27.3 人/日であった。 | 生活交通のみならず、観光利 用も含めたPR活動を行い、地 域での乗り方教室等の広報活 動を実施する。 | 24 | 29.7 | 27.3 | 91.9 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | | ⑤目標・効果達成状況 | | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) | 目標 (人/日) | 実績 (人/日) | 達成率 (%) | |
|-----------|-----------------------|---|-----------|--|------------|---------------------------|--|-------------|-------------|------------|-------|
| 産交バス(株) | 9 堅志田經由 松橋・砥用線 | 利便性向上を目的に他交通モードとの接続を図るよう努めた。観光利用も含めた乗り方教室の実施については乗務員不足の影響もあり、実施に至らなかった。 | B | 乗務員不足の影響により、一部事業の実施が困難だった。 | B | 目標15.0人/日に対して13.8人/日であった。 | 生活交通のみならず、観光利用も含めたPR活動を行い、地域での乗り方教室等の広報活動を実施する。 | 25 | 15.0 | 13.8 | 92.0 |
| 産交バス(株) | 10 日奈久經由 八代・田浦線 | 観光利用も含めたPR活動や、乗り方教室の実施については乗務員不足の影響もあり、実施に至らなかった。 | B | 乗務員不足の影響により、一部事業の実施が困難だった。 | A | 目標19.7人/日に対して20.5人/日であった。 | 生活交通のみならず、観光利用も含めたPR活動を行い、地域での乗り方教室等の広報活動を実施する。 | 26 | 19.7 | 20.5 | 104.1 |
| 産交バス(株) | 11 道尻經由 阿蘇環状線 | 観光利用も含めたPR活動や、乗り方教室の実施については乗務員不足の影響もあり、実施に至らなかった。 | B | 乗務員不足の影響により、一部事業の実施が困難だった。 | A | 目標16.7人/日に対して22.8人/日であった。 | 生活交通のみならず、観光利用も含めたPR活動を行い、地域での乗り方教室等の広報活動を実施する。 | 27 | 16.7 | 22.8 | 136.5 |
| 産交バス(株) | 12 テクノ団地經由 熊本・高森線 | 利用促進活動として、学生を対象とした休日限定の往復乗車券を作成し、バスを利用してもらうきっかけ作りとして実施した。 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | A | 目標17.1人/日に対して23.4人/日であった。 | 生活交通のみならず、観光利用も含めたPR活動を行い、地域での乗り方教室等の広報活動を実施する。 | 28 | 17.1 | 23.4 | 136.8 |
| 熊本電気鉄道(株) | 1 377新地団地線 (合志市役所) | 前年の事業評価を踏まえ、沿線の大学・高校を対象に利用促進を行った。また関係自治体と連携しHP、広報誌を活用した告知等を行った。 | B | 集合団地へのポスティングについては実施できなかったが、概ね計画どおりに実施した。 | A | 目標24.0人/日に対して26.0人/日であった。 | コロナウィルス感染症分類5類移行により、輸送量等に改善は見られるが、自治体のみならず学校等とも連携を強化し生活交通としての維持向上を図る為のPR活動をより強化する。 | 29 | 24.0 | 26.0 | 108.3 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|------------|--------------------------------------|---|--|--|---|
| 西鉄バス大牟田(株) | 1 西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山 | <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント、バス教室を通したバス出展やチラシの配布 ・利用促進事業の実施 ・おおむた1日乗り放題きっぷの発売延長 ・デジタルスタンプラリーの実施 ・シーズン毎のバス車内装飾 <p>◇実施できなかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿線住民へのポスティング | <p>事業が計画に位置付けられたとおりに実施されていない点があった。</p> <p>B イベントでのチラシ配布・商業施設へのチラシの持ち込みに注力し、沿線住民へのポスティングの実施は見送った。</p> | <p>C 目標値15.0人/日に対して11.4人/日であった。新型コロナウイルスは収束したものの、低迷した利用者の戻り幅が小さいことが主な要因と考えられる。</p> | <p>新型コロナウイルスは収束したものの利用者の戻り幅が小さく、輸送量が15.0人を下回っているため、本システムの今後の在り方について、沿線自治体と継続協議を行っていく。</p> <p>令和6補助年度にて、福岡県MaaSの取り組みに参加。有明エリア(大牟田・柳川・みやま)の自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券を造成予定。今後PRを行い、利用促進を図る。</p> |
| 西鉄バス大牟田(株) | 2 西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関 | <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント、バス教室を通したバス出展やチラシの配布 ・利用促進事業の実施 ・おおむた1日乗り放題きっぷの発売延長 ・デジタルスタンプラリーの実施 ・新大牟田駅での電車接続の見直し ・シーズン毎のバス車内装飾 <p>◇実施できなかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿線住民へのポスティング | <p>事業が計画に位置付けられたとおりに実施されていない点があった。</p> <p>B イベントでのチラシ配布・商業施設へのチラシの持ち込みに注力し、沿線住民へのポスティングの実施は見送った。</p> | <p>A 目標値34.2人/日に対して35.6人/日であった。</p> | <p>令和6補助年度にて、福岡県MaaSの取り組みに参加。有明エリア(大牟田・柳川・みやま)の自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券を造成予定。今後PRを行い、利用促進を図る。</p> |
| 西鉄バス大牟田(株) | 3 荒尾駅～右京町～大牟田駅～久福木団地 | <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント、バス教室を通したバス出展やチラシの配布 ・利用促進事業の実施 ・おおむた1日乗り放題きっぷの発売延長 ・デジタルスタンプラリーの実施 ・シーズン毎のバス車内装飾 <p>◇実施できなかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿線住民へのポスティング | <p>事業が計画に位置付けられたとおりに実施されていない点があった。</p> <p>B イベントでのチラシ配布・商業施設へのチラシの持ち込みに注力し、沿線住民へのポスティングの実施は見送った。</p> | <p>B 目標値46.0人/日に対して39.3人/日であった。新型コロナウイルスは収束したものの、低迷した利用者の戻り幅が小さいことが主な要因と考えられる。</p> | <p>令和6補助年度にて、福岡県MaaSの取り組みに参加。有明エリア(大牟田・柳川・みやま)の自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券を造成予定。今後PRを行い、利用促進を図る。</p> |
| 西鉄バス大牟田(株) | 4 荒尾駅～天領橋～大牟田駅～高泉団地～三池中町 | <p>◇実施できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント、バス教室を通したバス出展やチラシの配布 ・利用促進事業の実施 ・おおむた1日乗り放題きっぷの発売延長 ・デジタルスタンプラリーの実施 ・シーズン毎のバス車内装飾 <p>◇実施できなかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿線住民へのポスティング | <p>事業が計画に位置付けられたとおりに実施されていない点があった。</p> <p>B イベントでのチラシ配布・商業施設へのチラシの持ち込みに注力し、沿線住民へのポスティングの実施は見送った。</p> | <p>A 目標値33.4人/日に対して39.5人/日であった。</p> | <p>令和6補助年度にて、福岡県MaaSの取り組みに参加。有明エリア(大牟田・柳川・みやま)の自治体・交通事業者と連携し、スマホアプリ「my route」を活用した企画乗車券を造成予定。今後PRを行い、利用促進を図る。</p> |

| 目標 (人/日) | 実績 (人/日) | 達成率 (%) |
|-------------|-------------|------------|
|-------------|-------------|------------|

| | | | |
|----|------|------|------|
| 30 | 15.0 | 11.4 | 76.0 |
|----|------|------|------|

| | | | |
|----|------|------|-------|
| 31 | 34.2 | 35.6 | 104.1 |
|----|------|------|-------|

| | | | |
|----|------|------|------|
| 32 | 46.0 | 39.3 | 85.4 |
|----|------|------|------|

| | | | |
|----|------|------|-------|
| 33 | 33.4 | 39.5 | 118.3 |
|----|------|------|-------|

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) |
|-----------|----------------------|-----------------------------------|-----------|--------------|--|--|
| 南国交通(株) | 1 水俣線 (佐潟口・水俣車庫線) | 当該路線沿線のダイヤ改正を実施したことによる利用状況の改善を図った | A | 計画通り事業は適切に実施 | B 目標26.5人/日に対して26.0人/日であった。 目標未達の要因として、乗車密度は改善されたが運行計画(R5.4より減便実施)の変更により、目標数値は達成できなかった。 経常収支率についてはR4 23.00%から35.36%に改善した。 | 収支率が改善をしたが、運行維持をした上で、地域状況を鑑みて今後の路線あり方を検討する。 運賃改定を実施、改定実施に伴い収支率は改善を見込む |

34

| 目標 (人/日) | 実績 (人/日) | 達成率 (%) |
|-------------|-------------|------------|
|-------------|-------------|------------|

| | | |
|------|------|------|
| 26.5 | 26.0 | 98.1 |
|------|------|------|

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 | |
|-------------------|---|------------------------|-------------------------|-----------------------------------|--|----------------------|---|--------------------------|
| | | | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | | 評価結果 |
| 大分県地域間生活交通確保維持協議会 | 大分バス(株) 大分交通(株) 大交北部バス(株) 亀の井バス(株) | 11系統 ※詳細は別添一次評価のとおり | 別添一次評価のとおり | A評価: 11系統 B評価: 0系統 C評価: 0系統 | A評価: 4系統 B評価: 6系統 C評価: 1系統 【参考:前年度】 A評価: 4系統 B評価: 4系統 C評価: 0系統 | 別添一次評価のとおり | <p>コロナの影響が残る中、また人手不足の影響が大きくなる中においても、大分県の各圏地域公共交通計画に基づいた運行ルートやダイヤの見直し、系統の統合や分割を行い、運行効率の改善に取り組まれていることを評価します。</p> <p>目標達成に向けた今回の取組みについては、具体的な取組みの結果やその効果に加え、工夫した内容などについても記録されると、より効果的な改善につながるものと思慮されます。</p> <p>目標を達成できた系統と達成できていない系統がありますが、それぞれの要因について分析し、評価書に記録することは重要です。多くの系統において人口減少やコロナ・燃料高騰の影響を受けていますが、地域の実情を考慮のうえ、その他に原因がないかどうかについても分析し、その他要因への改善点を検討いただくと、より効果的な改善につながることを期待されます。</p> <p>さらに、目標を達成できた系統、要因の分析や取組みの改善が良くできている系統については、他系統においても参考・活用されることを期待します。</p> <p>今後は、アフターコロナを見据えた目標設定や評価指標の見直しも検討いただきながら、県と市町村が連携を図り事業者や住民と共に地域の生活交通の実情のニーズを的確に把握しつつ、地域の特性・実情に最適な交通手段が確保・維持されることを期待します。</p> | 評価指標 【輸送人員】 【運送収入】 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月25日

協議会名:大分県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域間幹線系統)

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-----------------|---|---|--|---|---|
| 大分バス(株) 臼杵線 | 金池ターミナル ～県立病院 ～臼杵港フェリーターミナル | 「大分県豊肥圏地域公共交通計画」、「大分県豊肥圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。 | A 事業は、計画どおり適切に実施された。 【目標:計画運行回数】 2,772.0 【実績:実績運行回数】 2,772.0 | A 目標を達成した。(新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた昨年度と比較し、一定程度回復した。) ・輸送人員 【目標】 94,407人 【実績】 136,181人 (達成度144.2%) ・運送収入 【目標】 26,030,784円 【実績】 30,616,370円 (達成度117.6%) | 令和3年9月に策定した「大分県豊肥圏地域公共交通計画」及び「大分県豊肥圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為の各種利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。 |
| 大分バス(株) 伯大線 | 金池ターミナル ～県立病院入口 ～佐伯駅 【車両導入】 H28:2台 H29:2台 R元:1台 R2:1台 R3:1台 R4:0台 R5:0台 | 「大分県南部圏地域公共交通計画」、「大分県南部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。 | A 事業は、計画どおり適切に実施された。 【目標:計画運行回数】 1820.0 【実績:実績運行回数】 1820.0 | B 目標を概ね達成した。(目標に対して平均80%以上達成した。) ・輸送人員 【目標】 75,587人 【実績】 72,170人 (達成度95.5%) ・運送収入 【目標】 37,833,432円 【実績】 30,587,115円 (達成度80.8%) | 令和3年9月に策定した「大分県南部圏地域公共交通計画」及び「大分県南部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為の各種利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。 |
| 大分バス(株) 佐賀関線 | 大分駅前 ～鶴崎 ～佐賀関 【車両導入】 H30:2台 R元:1台 R2:1台 R3:1台 R4:0台 R5:0台 | 「大分県中部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県中部圏地域公共交通再編実施計画」に基づき、運行ルートやダイヤの見直し、系統の分割や統合等について検討した。 | A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 5966.0 【実績:実績運行回数】 5965.5 | B 目標を概ね達成した。(目標に対して平均80%以上達成した。) 【目標】 367,281人 【実績】 378,013人 (達成度102.9%) ・運送収入 【目標】 76,001,279円 【実績】 73,742,446円 (達成度97.0%) | 令和5年3月に策定した「大分県中部圏地域公共交通計画」、「大分県中部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為の各種利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月25日

協議会名:大分県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域間幹線系統)

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|----------------|---|---|--|---|---|
| 大分交通(株) 国大線 | 大分駅前 ～田深 ～国東 【車両導入】 H28:1台 H29:1台 H30:1台 R元:1台 R2:1台 R3:1台 R4:1台 R5:1台 | 「大分県東部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県東部圏地域公共交通利便増進実施計画」にの進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。 | A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 2,064.0 【実績:実績運行回数】 2,058.0 | B 目標を概ね達成した。(目標に対して平均80%以上達成した。) ・輸送人員 【目標】 134,064人 【実績】 133,391人 (達成度99.5%) ・運送収入 【目標】 36,409,328円 【実績】 25,943,041円 (達成度71.3%) | 令和2年3月に策定した「大分県東部圏地域公共交通網形成計画」及び令和3年10月に策定した「大分県東部圏利便増進実施計画」において、利用者増や運行効率の改善等を含めた具体的な路線の再編について検討を進める。また、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為の各種利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。 |
| 大分交通(株) 別大線 | 大分駅前 ～関の江車庫前 | 「大分県中部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県中部圏地域公共交通再編実施計画」に基づき、運行ルートやダイヤの見直し、系統の分割や統合等について検討した。 | A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 4,773.0 【実績:実績運行回数】 4,770.5 | C 目標を達成できなかった(新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少から回復できず、ダイヤ改正による減便等から輸送人員、運送収入ともに目標を下回る結果となった)。 ・輸送人員 【目標】 156,014人 【実績】 127,599人 (達成度81.8%) ・運送収入 【目標】 32,768,644円 【実績】 19,495,261円 (達成度59.5%) | 令和5年3月に策定した「大分県中部圏地域公共交通計画」、「大分県中部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為の各種利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。 |
| 大分交通(株) 鉄輪線 | 大分駅前 ～石垣8丁目 鉄輪温泉 | 「大分県中部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県中部圏地域公共交通再編実施計画」に基づき、運行ルートやダイヤの見直し、系統の分割や統合等について検討した。 | A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 3,162.0 【実績:実績運行回数】 3,161.0 | B 目標を概ね達成した。(目標に対して平均80%以上達成した)。 ・輸送人員 【目標】 133,436人 【実績】 158,654人 (達成度118.9%) ・運送収入 【目標】 25,093,118円 【実績】 24,616,895円 (達成度98.1%) | 令和5年3月に策定した「大分県中部圏地域公共交通計画」、「大分県中部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為の各種利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月25日

協議会名:大分県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域間幹線系統)

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|--------------------|----------------------------|--|--|--|---|
| 大交北部バス(株) 中日線 | 中津駅前 ～新万田・旬菜館 ～守実温泉 | 「大分県北部圏地域公共交通計画」、「大分県北部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。 | A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 3,386.0 【実績:実績運行回数】 3,345.0 | A 目標を達成した。(新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた昨年度と比較し、一定程度回復した。) ・輸送人員 【目標】 68,930人 【実績】 78,739人 (達成度114.2%) ・運送収入 【目標】 18,587,581円 【実績】 22,496,551円 (達成度121.0%) | 令和3年9月に策定した「大分県北部圏地域公共交通計画」及び「大分県北部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為に各種利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。 |
| 大交北部バス(株) 中安線 | 安心院 ～下田の口 ～中津駅前 | 「大分県北部圏地域公共交通計画」、「大分県北部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。 | A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 2,426.0 【実績:実績運行回数】 2,409.0 | B 目標を概ね達成した。(目標に対して平均95%以上達成した。) ・輸送人員 【目標】 55,760人 【実績】 55,330人 (達成度99.2%) ・運送収入 【目標】 16,270,890円 【実績】 16,897,457円 (達成度103.9%) | 令和3年9月に策定した「大分県北部圏地域公共交通計画」及び「大分県北部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為に各種利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。 |
| 大交北部バス(株) 国道中高線 | 豊後高田 ～宇佐駅・宇佐市役所 ～四日市 | 「大分県北部圏地域公共交通計画」、「大分県北部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。 | A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 3,318.0 【実績:実績運行回数】 3,305.5 | A 目標を達成した。(新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた昨年度と比較し、一定程度回復した。) ・輸送人員 【目標】 35,021人 【実績】 56,548人 (達成度161.5%) ・運送収入 【目標】 7,615,507円 【実績】 9,527,580円 (達成度125.1%) | 令和3年9月に策定した「大分県北部圏地域公共交通計画」及び「大分県北部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為に各種利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月25日

協議会名:大分県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域間幹線系統)

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|-------------------|---------------------------|---|--|--|---|
| 大交北部バス(株) 伊美線 | 宇佐駅前 ～竹田津港・伊美港 ～伊美 | 「大分県北部圏地域公共交通計画」、「大分県北部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行い、運行効率の改善等を図った。 | A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 2,424.0 【実績:実績運行回数】 2,411.5 | B 目標を概ね達成した。(輸送人員は目標を達成したが、運送収入が目標に達しなかった。) ・輸送人員 【目標】 28,128人 【実績】 30,913人 (達成度109.9%) ・運送収入 【目標】 12,868,129円 【実績】 11,147,240円 (達成度86.6%) | 令和3年9月に策定した「大分県北部圏地域公共交通計画」及び「大分県北部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為に各種利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。 |
| 亀の井バス(株) サファリ線 | 別府駅西口 ～鉄輪・APU ～サファリ | 「大分県中部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県中部圏地域公共交通再編実施計画」に基づき、運行ルートやダイヤの見直し、系統の分割や統合等について検討した。 | A 事業は、計画どおり適切に実施された(運休した回数は、全て、要綱に定めるやむを得ない事情として認められたもの)。 【目標:計画運行回数】 2,190.0 【実績:実績運行回数】 2,161.5 | A 目標を達成した。(新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた昨年度と比較し、一定程度回復した。) ・輸送人員 【目標】 48,139人 【実績】 94,020人 (達成度195.3%) ・運送収入 【目標】 13,915,484円 【実績】 36,464,292円 (達成度262.0%) | 令和5年3月に策定した「大分県中部圏地域公共交通計画」、「大分県中部圏地域公共交通利便増進実施計画」の進捗管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したバス利用者の回復の為に各種利用拡大策にバス事業者、市町村等と連携して取り組み、バスの利用促進を図る。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|----------------------|---------------------|--------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|---|----------------|---|---------------|
| | | | ③前回(又は類似事業)の事業 評価結果の反映状況 | ④事業 実施の 適切性 | ⑤目標・効果 達成状況 | ⑥事業の今 後の改善点 | 評価結果 | |
| 宮崎県地域 公共交通協 議会 | 宮崎交通(株) 鹿児島交通(株) | 25系統 ※詳細は別添 一次評価のと おり | 別添一次評価の とおり | A評価：21系統 B評価：2系統 C評価：2系統 | A評価：12系統 B評価：12系統 C評価：0系統 【参考：前年度】 A評価：6系統 B評価：23系統 C評価：0系統 | 別添一次評価 のとおり | <p>コロナの影響が残る中、また人手不足の影響が大きくなる中においても、沿線学校へのPRやバスの乗り方教室の開催、温泉施設及び商業施設と連携した企画乗車券の販売、SNSを活用した広報活動等利用促進に取り組まれていることを評価します。</p> <p>目標達成に向けた今回の取組みについては、具体的な取組みの結果やその効果に加え、工夫した内容などについても記録されると、より効果的な改善につながるものと思慮されます。</p> <p>目標を達成できた系統と達成できていない系統がありますが、それぞれの要因について分析し、評価書に記録することは重要です。多くの系統において人口減少やコロナ・燃料高騰の影響を受けていますが、地域の実情を考慮のうえ、その他に原因がないかどうかについても分析し、その他要因への改善点を検討いただくと、より効果的な改善につながることを期待されます。</p> <p>さらに、目標を達成できた系統、要因の分析や取組みの改善が良くできている系統については、他系統においても参考・活用されることを期待します。</p> <p>今後は、アフターコロナを見据えた目標設定や評価指標の見直しも検討いただきながら、県と市町村が連携を図り事業者や住民と共に地域の生活交通の実情のニーズを的確に把握しつつ、地域の特性・実情に最適な交通手段が確保・維持されることを期待します。</p> | 評価指標 【収支率】 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月22日

協議会名: 宮崎県地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | | | | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) | | |
|-----------|--------------------------------------|--|---|-------------------|-------------------|--------------------|-------|-------------------------|--|--|
| | | | | 収支改善率(%) | | | | | | |
| | | | | 前年度 収支率 (A) | 今年度 収支率 (B) | 収支改善 率 (B-A) | 理由 | | | |
| 宮崎交通(株) | 1 イオンタウン日向～ 一ヶ岡・大福良団 地～レーヨン | 左の系統の運行 H29車両導入2台 R1車両導入1台 R3車両導入2台 R4車両導入1台 R5車両導入2台 | 【取組実績】 ・沿線の商業施設等へのホリデーバスのPRを行った。 ・路線バス未利用者の掘り起しを図るため、温泉施設等を含む提携 店と連携し、県北周遊バスパックの販売(販売数:1,100セット)を実施 した。 ・悠々バス購入補助のPRを行うとともに、小学生や高齢者を対象とし たバスの乗り方教室を実施した。 | A | B | 49.7% | 46.1% | -3.6% | 利用促進を図ったもの の、燃料高騰などにより 経費が増加し、収支 率が悪化した。 | 【ホリデーバスのPR】 ・土日祝日限定で近郊エリアを1日乗り放題で利用出来るホリデー バスのPRを行う。 【観光需要の取込み】 ・バス路線沿線の観光施設等と連携したバスパック(1日乗り放題乗 車券+施設利用クーポン)の販売実施 【地元需要の創出】 ・シニアバスや、悠々バス購入補助のPRを行う。 |
| 宮崎交通(株) | 2 宮交シティ～高鍋 駅～高鍋 | 左の系統の運行 R1車両導入4台 R2車両導入2台 R3車両導入3台 R4車両導入2台 R5車両導入2台 | 【取組実績】 ・JRと併用可能なデジタルチケットを活用し、沿線施設の特典付与を 用いることで利用促進を図った。 ・宮崎市内や高鍋町内の小学校でのバスの乗り方教室を通じ、将来 的なバスの利用促進を図った。 ・効率的な運行に向け、運行実績に基づくダイヤ改正等の検討を行 い、令和5年度運行分において、減便及びダイヤ改正を実施した。 | A | A | 60.8% | 72.1% | 11.3% | 効率的な運行(需要に 応じた減便)により収 支率が改善した。 | ・沿線上の保育園や小学校で乗り方教室を実施し、郊外学習や遠 足で利用してもらう。 ・住吉、佐土原地区コミュニティ交通から路線バスへの乗り換え移 動の促進のため、高齢者を対象に、地域間幹線沿線の目的地の紹 介に特化した時刻表を作成・配布する。 ・デジタルチケットを用いた沿線施設との連携・特典付与の活用、告 知強化 |
| 宮崎交通(株) | 3 高鍋～坂本～道の 駅つもの | 左の系統の運行 R1車両導入4台 R2車両導入2台 R3車両導入3台 R4車両導入2台 R5車両導入2台 | 【取組実績】 ・高鍋町の小学校でのバスの乗り方教室を通じ、将来的なバスの利 用促進を図った。 | B | B | 41.0% | 40.2% | -0.7% | 昨年度と比較し、需要 は回復したものの、燃 料高騰などにより、そ れ以上に経費が増加 し、収支率が悪化し た。 | - |
| 宮崎交通(株) | 4 宮交シティ～高鍋 ～木城温泉館湯ら ら | 左の系統の運行 R1車両導入4台 R2車両導入2台 R3車両導入3台 R4車両導入2台 R5車両導入2台 | 【取組実績】 ・JRと併用可能なデジタルチケットを活用し、沿線施設の特典付与を 用いることで利用促進を図った。 ・高鍋町の小学校でのバスの乗り方教室を通じ、将来的なバスの利 用促進を図った。 ・当該路線利用者へ木城温泉館湯ららの入割割引を引き続き実施 し、チラシ作成・月報等でその告知を行った。 ・高齢者の交通事故防止の推進を目的に、木城町の地域婦人連絡協 議会が制限運転宣誓式を実施。併せて、自家用車に変わる代替交通 手段の利用推進としてバスの乗り方教室を開催した。 | A | A | 71.7% | 78.9% | 7.2% | ・昨年度と比較し需要 が回復したことにより 収支率が改善した。 | ・沿線上の保育園や小学校で乗り方教室を実施し、郊外学習や遠 足で利用してもらう。 ・住吉、佐土原地区コミュニティ交通から路線バスへの乗り換え移 動の促進のため、高齢者を対象に、地域間幹線沿線の目的地の紹 介に特化した時刻表を作成・配布する。 ・デジタルチケットを用いた沿線施設との連携、特典の付与の活 用、告知強化。 ・当該路線利用者へ木城温泉湯ららで利用可能な特典の付与。 |
| 宮崎交通(株) | 5 宮交シティ～光陽 台 | 左の系統の運行 R1車両導入4台 R2車両導入2台 R3車両導入3台 R4車両導入2台 R5車両導入2台 | 【取組実績】 ・効率的な運行に向け、運行実績に基づくダイヤ改正等の検討を行 い、令和5年度運行分において、減便及びダイヤ改正を実施した。 ・デジタルチケットを活用し、沿線施設の特典付与を用いることで利用 促進を図った。 ・広報紙やSNSを活用し、バス利用の促進について周知を図った。 | A | A | 80.2% | 94.1% | 13.9% | ・昨年度と比較し需要 が回復したことにより 収支率が改善した。 | ・住吉、佐土原地区コミュニティ交通から路線バスへの乗り換え移 動の促進のため、 高齢者を対象に、地域間幹線沿線の目的地の紹介に特化した時刻 表を作成・配布する。 ・高齢者向けの乗り方教室を実施するなど、利用促進を図る ・デジタルチケットを用いた沿線施設との連携、特典の付与の活 用、告知強化。 |
| 宮崎交通(株) | 6 延岡駅～青雲橋・ 日之影町立病院～ 高千穂 | 左の系統の運行 H29車両導入2台 R1車両導入1台 R3車両導入2台 R4車両導入1台 R5車両導入2台 | 【取組実績】 ・当該路線で客貨混載を実施し、生産性の向上を図った。 ・路線バス未利用者の掘り起しを図るため、温泉施設等を含む提携 店と連携し、県北周遊バスパックの販売(販売数:1,100セット)を実施 した。 ・24時間有効の往復デジタルチケットを作成し、利用促進を図った。 | A | B | 35.9% | 36.1% | 0.2% | 昨年度と比較し需要が 回復したことにより収 支率が改善した。 | 【客貨混載】 1日3便 【観光需要の取込み】 ・バス路線沿線の観光施設等と連携したバスパック(1日乗り放題乗 車券+施設利用クーポン)の販売実施 ・往復デジタルチケットの販売の継続。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月22日

協議会名: 宮崎県地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | | | | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) | | | |
|-----------|-----------------------------------|--|--|-------------------|--------------------------------|--------------------|-------|-------------------------|-------|---|--|
| | | | | 収支改善率(%) | | | | | | | |
| | | | | 前年度 収支率 (A) | 今年度 収支率 (B) | 収支改善 率 (B-A) | 理由 | | | | |
| 宮崎交通(株) | 7 延岡駅～日之影駅 ～日之影町立病院 ～高千穂 | 左の系統の運行 H29車両導入2台 R1車両導入1台 R3車両導入2台 R4車両導入1台 R5車両導入2台 | 【取組実績】 ・路線バス未利用者の掘り起しを図るため、温泉施設等を含む提携店と連携し、県北周遊バスパックの販売(販売数:1,100セット)を実施した。 ・24時間有効の往復デジタルチケットを作成し、利用促進を図った。 | A | 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | B | 38.4% | 38.7% | 0.3% | 昨年度と比較し需要が回復したことにより収支率が改善した。 | 【観光需要の取込み】 ・バス路線沿線の観光施設等と連携したバスパック(1日乗り放題乗車券+施設利用クーポン)の販売実施 ・往復デジタルチケットの販売の継続。 |
| 宮崎交通(株) | 8 宮交シティ～佐土原小前～西都 | 左の系統の運行 R1車両導入4台 R2車両導入2台 R3車両導入3台 R4車両導入2台 R5車両導入2台 | 【取組実績】 ・効率的な運行に向け、運行実績に基づくダイヤ改正等の検討を行い、令和5年度運行分において、減便及びダイヤ改正を実施した。 | A | 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | A | 66.4% | 73.6% | 7.3% | 昨年度と比較し需要が回復したことにより収支率が改善した。 | ・住吉地区コミュニティ交通から路線バスへの乗り換え移動の促進のため、高齢者を対象に、地域間幹線沿線の目的地の紹介に特化した時刻表を作成・配布する。 ・デジタルチケットを用いた沿線施設との連携、特典の付与の活用、告知強化。 |
| 宮崎交通(株) | 9 宮崎空港～福祉センター～小林駅 | 左の系統の運行 | 【取組実績】 ・収支の改善を図るため、地域間幹線の路線の見直し(みなし系統の追加)を行った。 | B | 事業が計画に位置付けられたとおりに実施されていない点があった | A | 75.2% | 111.9% | 36.7% | みなし系統の追加により収支率が改善した。 | - |
| 宮崎交通(株) | 10 宮崎駅～宮崎空港～鶴戸神宮～鉄肥 | 左の系統の運行 R1車両導入4台 R2車両導入3台 R3車両導入4台 R4車両導入3台 R5車両導入1台 | 【取組実績】 ・JRと併用可能なデジタルチケットを活用し、沿線施設の特典付与を用いることで利用促進を図った。 ・効率的な運行に向け、運行実績に基づくダイヤ改正等の検討を行い、令和5年度運行分において、減便及びダイヤ改正を実施した。 ・公共交通機関の乗り方や時刻表を1つにまとめたリーフレットを作成し、市役所や宮崎交通、地域住民への周知を行い利用促進を図った。 ・観光地である鶴戸神宮、サンメッセ日南、鉄肥城下町への観光客を取り込むため、バス車内でのイベント情報や多言語の観光マップ等を設置しPR強化を図った。 | A | 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | A | 51.8% | 60.5% | 8.7% | 効率的な運行(需要に応じた減便)により収支率が改善した。 | ・公共交通機関の乗り方講座や市内で利用できる公共交通機関の時刻表を1つにまとめたリーフレットの作成などの実施により、地域住民への周知活動を行い利用促進を図る。 ・沿線上の高校にキャンパスミニのチラシや定期の金額が記載された時刻表を渡し、学校説明会の時に生徒に配ってもらう。キャンパスミニ利用者の増加を図る。 ・デジタルチケットを用いた沿線施設との連携、特典の付与の活用、告知強化。 |
| 宮崎交通(株) | 11 宮交シティ～国富～綾 | 左の系統の運行 R1車両導入4台 R2車両導入3台 R3車両導入4台 R4車両導入3台 R5車両導入4台 | 【取組実績】 ・効率的な運行に向け、運行実績に基づくダイヤ改正等の検討を行い、令和5年度運行分において、減便及びダイヤ改正を実施した。 ・綾町において高齢者を対象とした100円バスを引き続き実施。 ・行政と連携し、イベント時において乗り方教室やおでかけバスカの臨時窓口を併設し利用促進を図った。 ・広報紙やSNSを活用し、バス利用の促進について周知を図った。 | A | 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | A | 74.5% | 78.2% | 3.8% | 昨年度と比較し需要が回復したことにより収支率が改善した。 | ・宮崎北地区コミュニティ交通から路線バスへの乗り換え移動の促進のため、高齢者を対象に、地域間幹線沿線の目的地の紹介に特化した時刻表を作成・配布する。 ・デジタルチケットを用いた沿線施設との連携、特典の付与の活用、告知強化。 ・綾町おでかけバスカ、国富町の活き活きバスカの窓口をひらき利用促進を図る。 ・乗り方教室を実施し、公共交通への理解深め、利用促進を図る。 |
| 宮崎交通(株) | 12 宮崎～花見～赤谷 | 左の系統の運行 R1車両導入4台 R2車両導入3台 R3車両導入4台 R4車両導入3台 R5車両導入3台 | 【取組実績】 ・沿線自治体及び宮崎交通と協議を行い、都城市の全区間(ポートピア付近の山間部)と宮崎市の山間部の区間(市境～高岡町赤谷)を令和4年9月までで廃止。 ・宮崎市の小学校でのバスの乗り方教室を通じ、将来的なバスの利用促進を図った。 ・広報紙やSNSを活用し、バス利用の促進について周知を図った。 | A | 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | A | 57.0% | 84.5% | 27.5% | 効率的な運行(需要に応じた区間の短縮)により収支率が改善した。 | ・生目地区コミュニティ交通から路線バスへの乗り換え移動の促進のため、高齢者を対象に、地域間幹線沿線の目的地の紹介に特化した時刻表を作成・配布する。 ・高岡地区コミュニティ交通と路線バスとの連携を行う。 ・デジタルチケットを用いた沿線施設との連携、特典の付与の活用、告知強化。 |
| 宮崎交通(株) | 13 宮崎～祇園台・穆佐・高岡温泉～尾頭 | 左の系統の運行 R1車両導入4台 R2車両導入3台 R3車両導入4台 R4車両導入3台 R5車両導入3台 | 【取組実績】 ・効率的な運行に向け、運行実績に基づくダイヤ改正等の検討を行い、令和5年度運行分において、減便及びダイヤ改正を実施した。 ・宮崎市内の小学校でのバスの乗り方教室を通じ、将来的なバスの利用促進を図った。 ・広報紙やSNSを活用し、バス利用の促進について周知を図った。 | A | 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。 | B | 57.8% | 56.3% | -1.6% | 効率的な運行(需要に応じた減便)を図ったものの、燃料高騰などにより、それ以上に経費が増加し、収支率が悪化した。 | ・生目地区コミュニティ交通から路線バスへの乗り換え移動の促進のため、高齢者を対象に、地域間幹線沿線の目的地の紹介に特化した時刻表を作成・配布する。 ・デジタルチケットを用いた沿線施設との連携、特典の付与の活用、告知強化。 ・老人クラブと連携し、悠々バスのチラシや時刻表を配ってもらう。路線図を公民館に掲示し利用促進を図る。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月22日

協議会名: 宮崎県地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | | | | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) | | |
|-----------|-------------------------------|--|--|-------------------|-------------------|--------------------|-------|-------------------------|---|---|
| | | | | 収支改善率(%) | | | | | | |
| | | | | 前年度 収支率 (A) | 今年度 収支率 (B) | 収支改善 率 (B-A) | 理由 | | | |
| 宮崎交通(株) | 14 宮崎～正手～七野 | 左の系統の運行 R1車両導入4台 R2車両導入3台 R3車両導入4台 R4車両導入3台 R5車両導入3台 | 【取組実績】 ・効率的な運行に向け、運行実績に基づくダイヤ改正等の検討を行い、令和5年度運行分において、減便及びダイヤ改正を実施した。 ・宮崎市内の小学校でのバスの乗り方教室を通じ、将来的なバスの利用促進を図った。 ・広報紙やSNSを活用し、バス利用の促進について周知を図った。 | A | B | 64.7% | 63.2% | -1.6% | 効率的な運行(需要に応じた減便)を図ったものの、燃料高騰などにより、それ以上に経費が増加し、収支率が悪化した。 | ・田野地区コミュニティ交通から路線バスへの乗り換え移動の促進のため、高齢者を対象に、地域間幹線沿線の目的地の紹介に特化した時刻表を作成・配布する。 ・沿線上の保育園や小学校で乗り方教室を実施し、郊外学習や遠足で利用してもらう。 ・デジタルチケットを用いた沿線施設との連携、特典の付与の活用、告知強化。 |
| 宮崎交通(株) | 15 宮崎～正手～合又・田野運動公園 | 左の系統の運行 R1車両導入4台 R2車両導入3台 R3車両導入4台 R4車両導入3台 R5車両導入3台 | 【取組実績】 ・効率的な運行に向け、運行実績に基づくダイヤ改正等の検討を行い、令和5年度運行分において、減便及びダイヤ改正を実施した。 ・宮崎市内の小学校でのバスの乗り方教室を通じ、将来的なバスの利用促進を図った。 ・広報紙やSNSを活用し、バス利用の促進について周知を図った。 | A | A | 66.2% | 73.7% | 7.6% | 効率的な運行(需要に応じた減便)により収支率が改善した。 | ・田野地区コミュニティ交通から路線バスへの乗り換え移動の促進のため、高齢者を対象に、地域間幹線沿線の目的地の紹介に特化した時刻表を作成・配布する。 ・沿線上の保育園や小学校で乗り方教室を実施し、郊外学習や遠足で利用してもらう。 ・デジタルチケットを用いた沿線施設との連携、特典の付与の活用、告知強化。 |
| 宮崎交通(株) | 16 西都城駅～イオンモール～小林 | 左の系統の運行 R1車両導入4台 R2車両導入2台 R3車両導入3台 R4車両導入2台 | 【取組実績】 ・沿線の学校における通学利用の開拓をするため、都城泉ヶ丘高等学校の郷土探究講座(学生の路線バス利用向上について等)に取り組んでいる。 ・小林市で開催されたイベントにて、バスの乗り方教室を実施し、利用促進を図った。 | A | B | 43.4% | 41.1% | -2.3% | 昨年度と比較し、需要は回復したものの、燃料高騰などにより、それ以上に経費が増加し、収支率が悪化した。 | ・沿線の学校にむけて、学校説明会での定期券のPRなど通学利用の開拓 ・バス停に乗り放題乗車券や、ホリデーバスのチラシの掲示を行う。 ・制限運転者へ向けて悠々バス購入補助のPRを行う。 ・沿線上の商業施設への乗り入れにより新規利用者の開拓。 |
| 宮崎交通(株) | 17 イオン都城～妻ヶ丘・イオンモール都城・都城駅～川原谷 | 左の系統の運行 R1車両導入4台 R2車両導入2台 R3車両導入3台 R4車両導入2台 | 【取組実績】 ・沿線の学校における通学利用の開拓をするため、都城泉ヶ丘高等学校の郷土探究講座(学生の路線バス利用向上について等)に取り組んだ。 ・高原町で開催されたイベントにて、バスの乗り方教室を実施し、利用促進を図った。 | A | B | 54.3% | 51.6% | -2.7% | 昨年度と比較し、需要は回復したものの、燃料高騰などにより、それ以上に経費が増加し、収支率が悪化した。 | ・沿線の学校にむけて、学校説明会での定期券のPRなど通学利用の開拓 ・バス停に乗り放題乗車券や、ホリデーバスのチラシの掲示を行う。 ・制限運転者へ向けて悠々バス購入補助のPRを行う。 |
| 宮崎交通(株) | 18 (特急)西都城～高速道・宮崎空港～宮崎駅 | 左の系統の運行 | 【取組実績】 ・効率的な運行に向け、運行実績に基づくダイヤ改正等の検討を行い、令和5年度運行分において、ダイヤ改正を実施した。 ・沿線の学校における通学利用の開拓をするため、都城泉ヶ丘高等学校の郷土探究講座(学生の路線バス利用向上について等)に取り組んだ。 | A | A | 61.7% | 67.8% | 6.1% | 効率的な運行(需要に応じた減便)により収支率が改善した。 | ・沿線の学校にむけて、学校説明会での定期券のPRなど通学利用の開拓 ・バス停に乗り放題や、ホリデーバスのチラシの掲示を行う。 ・制限運転者へ向けて悠々バス購入補助のPRを行う。 ・デジタルチケットを用いた沿線施設との連携、特典の付与の活用、告知強化。 ・沿線上の商業施設への乗り入れにより新規利用者の開拓。 |
| 宮崎交通(株) | 19 南延岡～浦城港～宮野浦 | 左の系統の運行 H29車両導入2台 R1車両導入1台 R3車両導入2台 R4車両導入1台 R5車両導入2台 | 【取組実績】 ・沿線の商業施設等へのホリデーバスのPRを行った。 ・路線バス未利用者の掘り起しを図るため、温泉施設等を含む提携店と連携し、県北周遊バスパックの販売(販売数:1,100セット)を実施した。 ・小学生や高齢者を対象としたバスの乗り方教室を実施し、利用促進を図った。 | A | B | 44.4% | 39.6% | -4.8% | 利用促進を図ったものの、燃料高騰などにより経費が増加し、収支率が悪化した。 | 【観光需要の取込み】 ①バス路線沿線の観光施設等と連携したバスパック(1日乗り放題乗車券+施設利用クーポン)の販売実施 ②観光協会が発刊する観光パンフレットへのバスを利用した観光モデルコースの掲載 |
| 宮崎交通(株) | 20 イオンタウン日向～道の駅とうごう | 左の系統の運行 H29車両導入2台 R1車両導入1台 R3車両導入2台 R4車両導入1台 R5車両導入2台 | 【取組実績】 ・路線バス未利用者の掘り起しを図るため、温泉施設等を含む提携店と連携し、県北周遊バスパックの販売(販売数:1,100セット)を実施した。 ・悠々バス購入補助のPRを行うとともに、小学生や高齢者を対象としたバスの乗り方教室を実施した。 | A | - | - | 58.0% | - | 今年度より運行 | 【観光客への取込み強化】 ・沿線の観光施設等と連携した周遊バスパック(1日乗り放題乗車券+提携施設で利用できるクーポン)の販売を行う。 |
| 宮崎交通(株) | 21 鉄肥～油津～夫婦浦～幸島入口 | 左の系統の運行 R2車両導入1台 R3車両導入1台 R4車両導入1台 | 【取組実績】 ・利用促進を図るため、令和6年度運行分よりルートの変更を実施した。 ・公共交通機関の乗り方や時刻表を1つにまとめたリーフレットを作成し、地域住民への周知を行い利用促進を図った。 ・小学生を対象に公共交通の乗り方教室等を実施し、公共交通への理解を深め、利用促進を図った。 | A | B | 49.5% | 47.6% | -1.9% | 昨年度と比較し、需要は回復したものの、燃料高騰などにより、それ以上に経費が増加し、収支率が悪化した。 | ・公共交通機関の乗り方講座や市内で利用できる公共交通機関の時刻表を1つにまとめたリーフレットの作成などの実施により、地域住民への周知活動を行い利用促進を図る。 ・乗り方教室を実施し、公共交通への理解深め、利用促進を図る。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月22日

協議会名: 宮崎県地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | | | | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) | | |
|-----------|--------------------------------------|---|--|-------------------|-------------------|--------------------|-------|-------------------------|---|---|
| | | | | 収支改善率(%) | | | | | | |
| | | | | 前年度 収支率 (A) | 今年度 収支率 (B) | 収支改善 率 (B-A) | 理由 | | | |
| 宮崎交通(株) | 22 西都～佐土原駅～ 佐土原高校 | 左の系統の運行 R1車両導入4台 R2車両導入2台 R3車両導入3台 R4車両導入2台 R5車両導入2台 | 【取組実績】 ・JRと併用可能なデジタルチケットを活用し、沿線施設の特典付与を用いることで利用促進を図った。 | A | A | 59.7% | 64.0% | 4.3% | 昨年度と比較し需要が回復したことにより収支率が改善した。 | ・佐土原地区コミュニティ交通から路線バスへの乗り換え移動の促進のため、高齢者を対象に、地域間幹線沿線の目的地の紹介に特化した時刻表を作成・配布する。 ・沿線上の高校にキャンパスミニのチラシや定期の金額が記載された時刻表を渡し、学校説明会の時に生徒に配ってもらう。キャンパスミニ利用者の増加を図る。 ・他路線との効率的な結節について検証し、利便性を図る |
| 宮崎交通(株) | 23 小林駅～市立病院 ～道の駅えびの～ 京町 | 左の系統の運行 R1車両導入1台 R3車両導入2台 R4車両導入1台 | 【取組実績】 ・行政と連携し京町線の乗降調査を行い、実状を把握し将来的な路線の検討を行う。 ・小林市の小学校や、イベントにおいてバスの乗り方教室を実施し、利用促進を図った。 ・えびの市の高校における通学等バス利用の促進や、悠々バス購入補助のPR、ポケット時刻表の配布等によりバス利用の促進を図った。 | A | B | 60.3% | 59.1% | -1.2% | 昨年度と比較し、需要は回復したものの、燃料高騰などにより、それ以上に経費が増加し、収支率が悪化した。 | ・シニアバスや、悠々バス購入補助のPRを行う。 ・乗り方教室を実施し、公共交通への理解深め、利用促進を図る。 |
| 鹿児島交通(株) | 24 都城～岩川～野方 ～県民健康プラザ ～鹿屋 | 左の系統の運行 | 【取組実績】 運賃改定を実施した。 運行回数や経路の見直しは次年度以降持ち越しとした。 | C | A | 32.0% | 38.5% | 6.5% | 運賃値上げを実施し4,164千円の増収となった。燃料費の高止まりにより、1,714千円の経費増額となったが、収支率は6%改善した。 | (今後の方向性) 地域ごとに利用促進を進めるために、路線ごとに運行回数の変更や経路見直し、また幹線系統から廃止代替系統への移行等を自治体と協議、検討しながら経費を削減し、路線維持に努める。 |
| 鹿児島交通(株) | 25 志布志～稚児松～ 松山駅～岩川～中 央通り～都城 | 左の系統の運行 | 【取組実績】 運賃改定を実施した。 運行回数や経路の見直しは次年度以降持ち越しとした。 | C | B | 33.6% | 34.2% | 0.6% | 運賃値上げを実施し、568千円の増収となった。燃料費の高止まりにより、1,116千円の経費増額となったが収支率は0.6%とほぼ横ばいであった。 | (今後の方向性) 地域ごとに利用促進を進めるために、路線ごとに運行回数の変更や経路見直し、また幹線系統から廃止代替系統への移行等を自治体と協議、検討しながら経費を削減し、路線維持に努める。 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月29日

九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | 協議会における事業評価結果 | | | | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|-------------|---|------------------------|-------------------------|-----------------------------------|--|------------|---|---------------------------|
| | | | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 | 評価結果 | |
| 鹿児島県バス対策協議会 | 鹿児島交通(株) 種子島・屋久島交通(株) 南国交通(株) しまバス JR九州バス(株) 宮崎交通(株) | 42系統 ※詳細は別添一次評価のとおり | 別添一次評価のとおり | A評価: 42系統 B評価: 0系統 C評価: 0系統 | A評価: 18系統 B評価: 24系統 C評価: 0系統 【参考:前年度】 A評価: 47系統 B評価: 18系統 C評価: 0系統 | 別添一次評価のとおり | <p>コロナの影響が残る中、また人手不足の影響が大きくなる中においても、GTFS-JPやバスロケーションシステムの活用、情報誌や時刻表と一体となったバス路線マップの周知等利用促進に取り組まれていること、利用者のニーズに合わせた運行経路及び運行回数の変更、幹線系統から廃止代替系統への移行を関係市町村と協議され運行の効率化に取り組まれていることを評価します。</p> <p>目標達成に向けた今回の取組みについては、具体的な取組みの結果やその効果に加え、工夫した内容などについても記録されると、より効果的な改善につながるものと思慮されます。</p> <p>目標を達成できた系統と達成できていない系統がありますが、それぞれの要因について分析し、評価書に記録することは重要です。多くの系統において人口減少やコロナ・燃料高騰の影響を受けていますが、地域の実情を考慮のうえ、その他に原因がないかどうかについても分析し、その他要因への改善点を検討いただくと、より効果的な改善につながることを期待されます。</p> <p>さらに、目標を達成できた系統、要因の分析や取組みの改善が良くできている系統については、他系統においても参考・活用されることを期待します。</p> <p>今後は、アフターコロナを見据えた目標設定や評価指標の見直しも検討いただきながら、県と市町村が連携を図り事業者や住民と共に地域の生活交通の実情のニーズを的確に把握しつつ、地域の特性・実情に最適な交通手段が確保・維持されることを期待します。</p> | 評価指標 【平均乗車密度】 【輸送量】 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月22日

協議会名: 鹿児島県バス対策協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | | | | ⑥事業の今後の改善点 | | | |
|-----------|------------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------------|--------|-----|------|------------|---|---|--|
| | | | | 評価 | 平均乗車密度 | | 輸送量 | | 理由 | | |
| | | | | | R03 | 今期 | R03 | | | 今期 | |
| 鹿児島交通株 | 鹿児島～川辺～枕崎(特急) | 生産性向上の取組から見直しを実施 | A | B | 4.6 | 4.7 | 16.1 | 15.0 | 災害運休などで平均運行回数が減少したことに伴い、輸送量が下がったため。 | 地域ごとに利用促進を進めるために、路線ごとに運行回数の変更や経路見直し、また幹線系統から廃止代替系統への移行等を自治体と協議、検討しながら経費を削減し、路線維持に努める。 | |
| 鹿児島交通株 | なのはな館～指宿～利永～開聞口～顔姪～大川～東大川 | 生産性向上の取組を次年度への持ち越しとした | A | B | 4.0 | 3.2 | 20.0 | 15.6 | 運賃改定の平均賃率の増加に伴い乗車密度が下がったため。 | | |
| 鹿児島交通株 | 鹿児島～指宿～ホテル～山川棧橋(普通) | 生産性向上の取組から見直しを実施 | A | B | 4.0 | 4.2 | 21.2 | 20.6 | 運転手不足により令和3年4月に減便を行い、平均運行回数が減少したことにより、輸送量が下がったため。 | | |
| 鹿児島交通株 | 加世田～加世田高校～川辺～知覧 | 生産性向上の取組から見直しを実施 | 計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | B | 4.0 | 3.6 | 20.0 | 17.6 | 値上げを行い増収になったものの、平均賃率の増加に伴い乗車密度が下がったため。 | 令和5年10月1日に当該系統を廃止代替系統へ移行した。 | |
| 鹿児島交通株 | 知覧～霜出～垂水～枕崎 | | | A | B | 3.9 | 3.4 | 12.8 | 11.2 | | 運賃改定の平均賃率の増加に伴い乗車密度が下がったため。 |
| 鹿児島交通株 | 鹿児島～中央駅前～新屋敷～川辺高前～枕崎 | | | A | A | 4.2 | 4.6 | 14.7 | 15.6 | | |
| 鹿児島交通株 | 枕崎～坊～泊～久志～今岳 | | | A | B | 3.7 | 3.1 | 12.9 | 10.6 | | 値上げを行い増収になったものの、平均賃率の増加に伴い乗車密度が下がったため。 |
| 鹿児島交通株 | 枕崎～坊～泊～清原～枕崎(循環線) | | | A | A | 3.6 | 3.6 | 12.9 | 12.9 | | |
| 鹿児島交通株 | 伊集院高校～加世田～田ノ野～枕崎 | | | A | B | 4.2 | 4.0 | 16.8 | 15.6 | | 値上げを行い増収になったものの、平均賃率の増加に伴い乗車密度が下がったため。 |
| 鹿児島交通株 | 指宿いわさきホテル～指宿～道の駅喜入～知覧～武家屋敷入口 | | | 生産性向上の取組を次年度への持ち越しとした | A | B | 4.1 | 4.0 | 20.5 | | 18.4 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | | | | ⑥事業の今後の改善点 | | |
|-----------|----------------------------|-------------------------|-----------|------------|--------|------|------|------------|--|---|
| | | | | 評価 | 平均乗車密度 | | 輸送量 | | 理由 | |
| | | | | | R03 | 今期 | R03 | | | 今期 |
| 鹿児島交通㈱ | 加世田～津貫～枕崎 | 生産性向上の取組から見直しを実施 | A | B | 4.1 | 3.1 | 16.4 | 12.0 | 運賃改定の平均賃率の増加に伴い乗車密度が下がったため。 | 令和5年10月1日に当該系統を廃止代替系統へ移行した。 |
| 鹿児島交通㈱ | 伊集院高校～伊作～加世田 | | A | B | 3.8 | 3.5 | 18.2 | 16.4 | 値上げを行い増収になったものの、平均賃率の増加に伴い乗車密度が下がったため。 | |
| 鹿児島交通㈱ | 鹿児島～中央駅前～知覧～特攻観音入口 | | A | A | 4.6 | 5.6 | 39.1 | 47.0 | | |
| 鹿児島交通㈱ | 鹿児島駅前～犬迫～伊集院 | | A | A | 4.4 | 4.4 | 35.6 | 35.6 | | 地域ごとに利用促進を進めるために、路線ごとに運行回数の変更や経路見直し、また幹線系統から廃止代替系統への移行等を自治体と協議、検討しながら経費を削減し、路線維持に努める。 |
| 鹿児島交通㈱ | 鹿児島～鹿児島中央駅～谷山駅前～伊作～加世田(急行) | | A | A | 4.7 | 5.2 | 44.6 | 48.8 | | |
| 鹿児島交通㈱ | 鹿児島中央駅～隼人駅・日当山・医療センター～重久車庫 | | A | B | 4.3 | 3.9 | 24.9 | 22.4 | 値上げを行い増収になったものの、平均賃率の増加に伴い乗車密度が下がったため。 | 令和5年10月1日に当該系統を廃止した。 |
| 鹿児島交通㈱ | 鹿児島中央駅～自衛隊・国分～重久車庫 | | A | B | 4.4 | 4.2 | 28.6 | 26.4 | 値上げを行い増収になったものの、平均賃率の増加に伴い乗車密度が下がったため。 | 地域ごとに利用促進を進めるために、路線ごとに運行回数の変更や経路見直し、また幹線系統から廃止代替系統への移行等を自治体と協議、検討しながら経費を削減し、路線維持に努める。 |
| 鹿児島交通㈱ | 鹿児島駅～野田・島平～川内営業所 | | A | B | 3.6 | 3.3 | 12.9 | 11.5 | 値上げを行い増収になったものの、平均賃率の増加に伴い乗車密度が下がったため。 | 令和5年10月1日に当該系統を自主運行へ移行した。 |
| 鹿児島交通㈱ | 鹿児島駅～伊集院・島平～川内営業所 | | A | B | 4.0 | 4.0 | 13.2 | 12.8 | 災害運休などで平均運行回数が減少したことに伴い、輸送量が下がったため。 | |
| 鹿児島交通㈱ | 鹿児島駅～伊集院・島平～串木野 | | A | B | 3.4 | 3.4 | 17.3 | 17.0 | 災害運休などで平均運行回数が減少したことに伴い、輸送量が下がったため。 | 地域ごとに利用促進を進めるために、路線ごとに運行回数の変更や経路見直し、また幹線系統から廃止代替系統への移行等を自治体と協議、検討しながら経費を削減し、路線維持に努める。 |
| 鹿児島交通㈱ | 都城～岩川～野方～県民健康プラザ～鹿屋 | A | A | 3.2 | 3.6 | 13.7 | 15.4 | | | |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | | | | ⑥事業の今後の改善点 | | |
|------------|-------------------------------|---|-----------|------------|--------|-----|------|------------|--|--|
| | | | | 評価 | 平均乗車密度 | | 輸送量 | | 理由 | |
| | | | | | R03 | 今期 | R03 | | | 今期 |
| 鹿児島交通㈱ | 鹿屋～高山～内之浦 | 生産性向上の取組から見直しを実施 | A | B | 2.9 | 2.6 | 11.6 | 10.1 | 値上げを行い増収になったものの、平均賃率の増加に伴い乗車密度が下がったため。 | 令和5年10月1日に当該系統を廃止代替系統へ移行した。 |
| 鹿児島交通㈱ | 鹿屋～平原～吾平～高山 | 生産性向上の取組を次年度への持ち越しとした | A | B | 2.8 | 2.5 | 11.4 | 10.2 | 運賃改定の平均賃率の増加に伴い乗車密度が下がったため。 | |
| 鹿児島交通㈱ | 鹿屋～大根占～根占港～根占 | 生産性向上の取組から見直しを実施 | A | B | 3.1 | 2.9 | 18.6 | 17.1 | 値上げを行い増収になったものの、平均賃率の増加に伴い乗車密度が下がったため。 | |
| 鹿児島交通㈱ | 垂水～垂水港～鹿屋～志布志(普通) | 生産性向上の取組から見直しを実施 | A | A | 3.3 | 3.9 | 26.4 | 30.6 | | 地域ごとに利用促進を進めるために、路線ごとに運行回数の変更や経路見直し、また幹線系統から廃止代替系統への移行等を自治体と協議、検討しながら経費を削減し、路線維持に努める。 |
| 鹿児島交通㈱ | 志布志～岩川～牧之原～桜枝橋～旭通～霧島市役所～鹿児島空港 | 生産性向上の取組から見直しを実施 | A | B | 3.2 | 3.0 | 16.0 | 14.7 | 値上げを行い増収になったものの、平均賃率の増加に伴い乗車密度が下がったため。 | |
| 鹿児島交通㈱ | 志布志～稚児松～松山駅～岩川～中央通り～都城 | 生産性向上の取組を次年度への持ち越しとした | A | B | 3.3 | 3.0 | 10.8 | 9.9 | 値上げを行い増収になったものの、平均賃率の増加に伴い乗車密度が下がったため。 | |
| 種子島・屋久島交通㈱ | 永田～上屋久町役場～いわさきホテル | 令和2年5月1日より、運行経路の変更ならびに運行回数の見直しを行い、見直し内容を継続した。 | A | A | 2.8 | 3.8 | 12.3 | 16.7 | | 生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化(運行回数の見直し、運行時刻の変更など)に取り組み、全体的な収支改善を図ると同時に、自治体などとの協力を図り、利用者利用促進の観点から路線毎の利用に合わせた改善を行う。 |
| 種子島・屋久島交通㈱ | 宮之浦港～安房港～いわさきホテル～粟生橋 | 令和2年5月1日より、運行経路の変更ならびに運行回数の見直しを行い、見直し内容を継続した。 | A | A | 3.8 | 4.3 | 30.4 | 34.4 | | |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | | | | ⑥事業の今後の改善点 | | |
|-----------|----------------------|--|------------------------------|------------|--------|-----|------|------------|---|---|
| | | | | 評価 | 平均乗車密度 | | 輸送量 | | 理由 | |
| | | | | | R03 | 今期 | R03 | | | 今期 |
| 南国交通株 | 佐潟口～出水～水俣車庫 | 当該路線沿線のダイヤ改正を実施したことによる利用状況の改善を図った。 | A 計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 | A | 1.4 | 3.3 | 11.6 | 26.0 | 収支率が改善をしたが、運行維持をした上で、地域状況を鑑みて今後の路線あり方を検討する。運賃改定を実施。改定実施に伴い収支率は改善を見込む。 | |
| 南国交通株 | 車庫前～西方駅～阿久根新港 | | | A | 1.8 | 3.8 | 22.3 | 44.0 | | |
| 南国交通株 | 大口～本城～栗野駅前 | | | A | 3.0 | 5.0 | 9.0 | 15.0 | | |
| 南国交通株 | 大口～針持～宮之城 | | | A | 4.6 | 5.3 | 21.1 | 24.9 | | |
| 南国交通株 | 楠田車庫～帖佐駅～鹿児島空港 | | | A | 2.2 | 4.9 | 11.6 | 25.9 | | |
| 南国交通株 | 阿久根市役所～出水・宮之城～鹿児島空港 | | | A | 1.4 | 3.3 | 14.0 | 29.3 | | |
| 株しまバス | 平田町奥又～秋名～安木屋場 | 大規模な路線再編をR1年10月に実施し、GTFS-JPを活用し利用促進を図った。 | A | B | 3.5 | 2.0 | 26.2 | 15.0 | 新型コロナウイルス感染症の影響の長期化によりバス利用者が減少したため。 | 路線維持を旨に費用削減と更なるバス利用の利便性向上が不可欠。 |
| 株しまバス | せとうち海の駅～奄美パーク～赤木名外金久 | 大規模な路線再編をR1年10月に実施し、GTFS-JPを活用し利用促進を図った。 | A | B | 4.6 | 3.9 | 29.9 | 21.4 | 新型コロナウイルス感染症の影響の長期化によりバス利用者が減少したため。 | 路線維持を旨に費用削減と更なるバス利用の利便性向上が不可欠。具体策としてMaaSやLCCでの航空機利用者からの容易なバスチケット購入策を開始。 |
| 株しまバス | こしゆく第1公園～奄美パーク～奄美空港 | 大規模な路線再編をR1年10月に実施し、GTFS-JPを活用し利用促進を図った。 | A | B | 3.9 | 3.1 | 50.7 | 35.6 | 新型コロナウイルス感染症の影響の長期化によりバス利用者が減少したため。 | 路線維持を旨に費用削減と更なるバス利用の利便性向上が不可欠。具体策としてMaaSやLCCでの航空機利用者からの容易なバスチケット購入策を開始。 |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | | | | ⑥事業の今後の改善点 | |
|-----------|-----------------------------|--|-----------|------------|-----|-----|------|------------|---|
| | | | | 平均乗車密度 | | 輸送量 | | | 理由 |
| | | | | 評価 | R03 | 今期 | R03 | | |
| JR九州バス㈱ | 鹿児島駅～鹿児島中央～薩摩郡山～宮之城 | ・沿線の小学校7校にバスの絵を募集し、路線沿線の小学生がバスをテーマにして描いていただいた絵画を車内に展示した。 | A | A | 4.9 | 6.5 | 36.7 | 48.1 | 引き続き、バスの利用促進活動に取り組む。また、ご利用状況による見直し等、効率的な運行の検討を沿線自治体と連携して持続可能な交通体系を検討していく。 |
| JR九州バス㈱ | 鹿児島駅～川田・岩戸口～薩摩郡山 | ・子供たちにバスに慣れ親しんでもらえるよう、春休み期間中に子供運賃無料の日を設定した。 | A | A | 4.1 | 5.5 | 36.0 | 48.4 | |
| JR九州バス㈱ | 鹿児島駅～鹿児島中央駅・明桜館高校前～薩摩郡山 | ・沿線バス停から最寄りの店舗や施設等とお得な乗車券の情報、時刻表を掲載したパンフレットを沿線住民に配布した。 | A | B | 5.9 | 5.2 | 44.8 | 39.5 | |
| 宮崎交通㈱ | イオン都城～妻ヶ丘・イオンモールミエル・都城駅～川原谷 | ・沿線の学校における通学利用の開拓をするため、都城泉ヶ丘高等学校の郷土探究講座(学生の路線バス利用向上について等)に取り組んでいる。 | A | A | 2.0 | 2.4 | 10.6 | 12.7 | 引き続き、事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。また、沿線の学校における通学利用の開拓を継続していく。 |